

令和元年度
浦安市教育委員会
点検・評価報告書

令和2年9月

浦安市教育委員会

— 目 次 —

第1章 点検・評価の趣旨等	1
第2章 教育委員会について	3
1 教育委員会について（令和元年度）	3
2 教育長および教育委員名簿（令和元年度在籍）	3
3 教育委員会会議での審議状況	4
第3章 施策の実施状況等	5
第1節 確かな学力（知）	
1－1 学びの連続性を重視した教育の推進	
(1) 小中連携・一貫教育の推進	6
(2) 学校種間の連携の推進	7
1－2 学ぶ意欲の育成と確かな学力の形成	
(1) 一人一人に応じたきめ細かい授業の推進	8
(2) 自主的な学習活動の奨励・支援	11
1－3 多様な教育的ニーズに応じた支援の充実	
(1) 特別支援教育の推進	14
(2) 不登校児童生徒への支援の充実	17
(3) 外国籍等の子どもたちの日本語サポート体制の充実	19
1－4 今日的な教育課題に対応する教育の推進	
(1) 教育研究・実践のシステム化	20
(2) 国語教育の充実	21
(3) 理数教育の充実	22
(4) 英語教育の充実	24
(5) 勤労観・職業観をはぐくむ教育の充実	25
(6) 情報教育の充実	25
第2節 豊かな心（徳）	
2－1 豊かな心の育成	
(1) 規範意識の向上及び道徳性の育成	27
(2) 生徒指導機能の向上	29
2－2 情操を豊かにする教育の推進	
(1) 情操教育の推進	31
第3節 健やかな体（体）	
3－1 体力の向上と健康・安全教育の推進	

(1) 体力向上の推進	・ ・ ・ ・ ・	35
(2) 健康・安全教育の推進	・ ・ ・ ・ ・	37
(3) 防災教育の推進	・ ・ ・ ・ ・	39
第4節 豊かなかかわり（参画・交流）		
4-1 社会の一員としての資質の育成		
(1) 体験活動・ボランティア活動の推進	・ ・ ・ ・ ・	40
(2) 環境教育の推進	・ ・ ・ ・ ・	44
4-2 豊かなかかわりとコミュニケーション能力の向上		
(1) 教育活動を通じた豊かな人間関係づくり	・ ・ ・ ・ ・	46
(2) 交流及び協働を通じた豊かなかかわり	・ ・ ・ ・ ・	49
第5節 郷土愛（誇り）		
5-1 ふるさと浦安の歴史・文化への理解の向上		
(1) ふるさと浦安の歴史・文化の理解に関する教育の充実	・ ・ ・ ・ ・	56
(2) 国際理解教育の推進	・ ・ ・ ・ ・	58
(3) 平和教育の推進	・ ・ ・ ・ ・	60
第6節 教育環境の整備・充実の推進		
6-1 地域ぐるみで子どもをはぐくむ仕組みづくり		
(1) 地域ぐるみの教育支援	・ ・ ・ ・ ・	62
(2) 地域に貢献する学校づくり	・ ・ ・ ・ ・	65
(3) 安全・安心な教育環境づくり	・ ・ ・ ・ ・	66
(4) 家庭の教育力の向上	・ ・ ・ ・ ・	70
6-2 開かれた学校づくり		
(1) 開かれた学校づくり	・ ・ ・ ・ ・	73
(2) 教職員の質の向上	・ ・ ・ ・ ・	75
(3) 教員が子どもと向き合う環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	77
6-3 教育環境の整備充実		
(1) 特色ある学校づくりの推進	・ ・ ・ ・ ・	78
(2) 教育施設等の整備充実	・ ・ ・ ・ ・	79
(3) 就学に対する援助の充実	・ ・ ・ ・ ・	81
第7節 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実		
7-1 学習課題に応じた学習機会の充実		
(1) 現代的課題などに対応する学習機会の充実	・ ・ ・ ・ ・	82
(2) 人にやさしい学習機会の充実	・ ・ ・ ・ ・	85
(3) 就労のための学習支援の充実	・ ・ ・ ・ ・	86
7-2 学習情報の提供と学習相談体制の充実		
(1) 市民の学習要求に対応した情報提供の充実	・ ・ ・ ・ ・	87
(2) 学習相談窓口の整備・充実	・ ・ ・ ・ ・	89

7-3	公民館・図書館の運営の充実	
(1)	公民館の運営の充実	89
(2)	公民館施設の整備	90
(3)	図書館の運営の充実	90
(4)	図書館施設の整備	94
第8節	ライフステージに応じた学習機会の提供	
8-1	家庭教育の支援	
(1)	親が学ぶ機会の充実	95
(2)	親子がふれあう機会の充実	96
(3)	家庭における子どもの読書活動の支援	99
8-2	青少年の健全育成の推進	
(1)	体験活動・交流活動の推進	100
(2)	地域教育力の活用	105
(3)	子どもの読書環境の整備	108
(4)	団体の活動支援と指導者育成	110
(5)	青少年相談事業の充実	111
8-3	成人の学習機会の提供	
(1)	多様な学習機会や情報の提供	114
(2)	地域課題に関する学習機会の提供	116
(3)	現代的課題の学習機会の創出	116
(4)	キャリア形成のための学習機会の充実	117
(5)	アクティブシニアの活用と学習支援	118
8-4	高齢者の学習機会の提供	
(1)	世代間交流の推進と社会参加の支援	119
(2)	生きがいと健康づくりの推進	120
第9節	生涯スポーツの振興と健康づくりの推進	
9-1	スポーツを楽しむ機会と情報の提供	
(1)	スポーツ事業の充実	120
(2)	各種体育大会の実施	123
(3)	健康づくりに関する学習機会の充実	125
(4)	スポーツ関連の情報提供	126
9-2	スポーツ推進体制の整備	
(1)	市民スポーツ団体の育成支援と連携強化	126
(2)	地域に根ざしたスポーツ関係団体の支援	127
9-3	スポーツ施設の利用環境の整備	
(1)	施設整備事業	128
(2)	小中学校の体育施設等の有効活用	128

(3) スポーツ施設の効果的・効率的利用	・ ・ ・ ・ ・	129
第10節 ふるさと浦安の芸術・文化の振興		
10-1 芸術文化活動の活性化		
(1) 市民の芸術文化活動の促進と情報提供	・ ・ ・ ・ ・	129
(2) 芸術文化団体等の育成支援と連携強化	・ ・ ・ ・ ・	131
(3) 文化施設などの環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	131
10-2 芸術文化を体験する学習機会の充実		
(1) 市民の自主的な芸術文化活動の推進	・ ・ ・ ・ ・	132
(2) 芸術文化に関する学習機会の提供	・ ・ ・ ・ ・	132
10-3 郷土の歴史・文化の理解を深める		
(1) 郷土博物館運営の充実	・ ・ ・ ・ ・	133
(2) ふるさと浦安の生活文化を知る機会の提供	・ ・ ・ ・ ・	136
(3) ふるさと浦安の伝統文化の保護と継承者の育成	・ ・ ・ ・ ・	138
(4) 文化財の保護と啓発	・ ・ ・ ・ ・	138
第11節 地域に生きる生涯学習活動の支援		
11-1 学習支援のための人材育成と活用		
(1) 地域の学びを支える人材の育成・活用	・ ・ ・ ・ ・	139
(2) 人と地域をつなぐ学びの推進	・ ・ ・ ・ ・	143
11-2 学習成果の活用場の機会の提供		
(1) 学習成果を生かす環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	143
(2) 社会教育関係団体等との連携・協働	・ ・ ・ ・ ・	144
(3) サークル・団体等の活動の支援	・ ・ ・ ・ ・	145
11-3 生涯学習推進体制の充実		
(1) 施設のネットワークの推進	・ ・ ・ ・ ・	146
(2) 職員の資質向上	・ ・ ・ ・ ・	148
(3) 庁内における生涯学習の推進	・ ・ ・ ・ ・	150
第12節 浦安で産み育てたい環境を整える		
12-1 安心して産み育てられる環境をつくる		
(1) 子育てと仕事の両立支援	・ ・ ・ ・ ・	151
(2) 多様なニーズに応じた子育て支援	・ ・ ・ ・ ・	151
12-2 地域ぐるみで子育てを支援する		
(1) 子育て支援のネットワークづくりの推進	・ ・ ・ ・ ・	153
第13節 こどもが元気に成長できる環境を整える		
13-1 こどもの健やかな成長を支える		
(1) 健康づくりの推進	・ ・ ・ ・ ・	154
(2) 障がい児の地域生活や自立の支援	・ ・ ・ ・ ・	155
(3) こどもの安全を守る環境の整備	・ ・ ・ ・ ・	157

1 3 - 2 豊かな心を育む	
(1) 心を育む遊び環境の整備 160
(2) こどもを育む親力・地域力の向上 160
(3) 幼児期の学びの環境の整備 161
(4) 自分を大切にする気持ちを育てる 163
第4章 有識者からの意見 165

第1章 点検・評価の趣旨等

1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と定められています。

この報告書は、平成22年度に策定し平成27年4月に改訂を行った浦安市教育ビジョン後期基本計画と、平成25年3月に策定した浦安市生涯学習推進計画、また、浦安市基本計画の3つの計画から教育委員会が事業を抽出し決定した「平成31年（2019年）度教育施策」を基に作成しています。

令和元年度の施策や事業を、教育委員会事務局が適切に執行しているかどうかについて、教育委員会自らがチェックし、地域住民に説明責任を果たすため、点検・評価を行うものです。

2 点検・評価の方法

(1) 点検・評価の対象

令和元年度に教育委員会が実施した施策や事業について、「平成31年（2019年）度教育施策」を基に振り返るとともに、それぞれの推進施策ごとに、教育委員会自らが事務の進捗状況について点検・評価したものです。

なお、教育委員会以外の部署が実施した事業で「平成31年（2019年）度教育施策」に記載のある事業については、本報告書において点検・評価するものではなく、令和元年度の実績を記載し報告するものです。

(2) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定では、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」と規定されています。

このため、点検・評価にあたっては、「教育委員会の点検・評価報告書に係る有識者懇談会」を設置し、点検・評価に関するご意見をうかがいました。なお、懇談会有識者の方は次項のとおりです。また、有識者の方からの主なご意見を「第4章」（165～185ページ）に記載しました。

・有識者名簿

(職等については、令和2年4月1日現在)

氏名	職等
越村 康英	千葉大学・日本体育大学他非常勤講師、 浦安市公民館運営審議会委員
高橋 光法	元浦安市教育委員会教育総務部次長、 元浦安市立高洲小学校校長
須田 哲史	(株)サイバー・コミュニケーションズ 創業役員、 元明海中学校PTA会長

・懇談会

7月28日・8月21日開催

3 点検・評価の概要

(1) 教育委員会について

教育委員会会議での審議状況等について記載しました。

(2) 施策の実施状況等

「平成31年(2019年)度教育施策」に掲げる施策ごとに事業の実績と今後の方向性を記載しました。

第2章 教育委員会について

1 教育委員会について（令和元年度）

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地域の学校教育や文化・スポーツなどを含む社会教育に関する事務を管理・執行する行政委員会です。

教育長を代表者とし、他4人の委員で組織され、教育委員会の権限に属する事務を処理するため事務局が置かれています。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。任期は3年です。

教育委員は、市長が議会の同意を得て任命し、任期は4年です。

浦安市では教育総務部に、教育総務課・教育政策課・教育施設課・学務課・指導課・保健体育安全課などが、生涯学習部に、生涯学習課・市民スポーツ課などの各課が置かれています。

2 教育長および教育委員名簿（令和元年度在籍）

（令和2年3月31日現在）

職名	氏名	任期
教育長	すずき ただよし 鈴木 忠吉	平成30年4月1日～令和3年3月31日
委員 （教育長職務代理）	みやじ ちから 宮道 力	平成29年11月9日～令和3年11月8日 （令和元年10月5日～令和3年11月8日 教育長職務代理者）
委員	みやざわ ミシエル 宮澤 ミシエル	平成22年2月26日～平成24年9月30日 平成24年10月1日～平成28年9月30日 平成28年10月1日～令和2年9月30日
	たち さとえ 館 里枝	平成28年10月1日～令和2年9月30日
	よしの のりこ 吉野 則子	令和元年10月5日～令和5年10月4日

3 教育委員会会議での審議状況

教育委員会会議は、毎月1回を定例会（第2木曜日）の開催とし、必要に応じて、臨時会を開催し、議案や教育課題などに対して、多面的な角度よりご意見をいただき適切な会議の運営が図られました。また、会議録を作製し、市ホームページ等で公表を行いました。

区分	回数	議案数	協議数	報告数	傍聴者数
定例会	12回	46件	9件	149件	60人
臨時会	1回	3件	0件	1件	1人
計	13回	49件	9件	150件	61人

議案の性質別件数は次のとおりです。

項 目	件数
教育行政の運営に関する基本方針の決定	8
教育委員会規則・訓令の制定・改廃	9
管理職以上の職員の任免	3
附属機関の委員の任命・委嘱	10
教育功労者の決定	1
当初・補正予算審議	4
その他	14
計	49

第3章 施策の実施状況等

施策・事業名・・・平成31年（2019年）度教育施策に沿った施策・事業の体系で構成

第1節～第6節：改訂「浦安市教育ビジョン」後期基本計画の施策・事業

第7節～第11節：浦安市生涯学習推進計画の施策・事業

第12節・第13節：浦安市基本計画の施策・事業

実績・・・・・・・・・・令和元年度の事業実績を記載

今後の方向性・・・事業ごとに令和2年度以降の取り組みの方向性を記載

参考指標・・・・・・・・浦安市学校教育推進計画、第2次浦安市生涯学習推進計画、浦安市生涯スポーツ推進計画において、各施策事業に設定している指標を参考指標として記載（平成30年度の実績を基準年として記載）

・同じ事業が再度掲載されている場合、事業名に【再掲】と表示しています。

【計画の策定について】

事業名・担当部署		
教育ビジョン策定事業 /教育政策課	令和元年度 実績	
	<p>国の「第3期教育振興基本計画」を参酌するとともに、令和2年度を始期とする「浦安市総合計画」と整合を図りながら、学校教育分野と生涯学習分野、生涯スポーツ分野を包含した計画として、「浦安市教育振興基本計画」を策定し、今後、10年間を見据えた浦安市における教育のあり方や基本理念及び施策の方向性等を示しました。</p> <p>また、「浦安市教育振興基本計画」が掲げる基本理念、基本目標に基づき、これまでの取り組みの成果と課題、子どもたちや学校を取り巻く環境の変化、市民ニーズ等を踏まえ、幼稚園・認定こども園、保育園、小・中学校における教育のさらなる充実・発展を目指し、基本的な考え方や施策、具体的な取り組みを示すため、「浦安市学校教育推進計画」を策定しました。</p>	
	今後の方向性	
	<p>「浦安市学校教育推進計画」に掲げる基本目標と目指す子ども像の実現に向けて、教育委員会及び市長部局、関係機関が連携・協力しながら施策を推進していきます。</p> <p>また、令和2年度より具体的な指標設定の確認や見直し等を行い、取り組みの進捗管理及び評価をし、PDCAサイクルの下、必要な修正を行うことで、施策をより実りあるものとしていきます。</p>	
	参考指標	
***	H30年度	***
	4年度までに	***
	6年度までに	***

第2次生涯学習推進計画策定事業 /生涯学習課	令和元年度 実績							
	生涯学習推進計画策定委員会や生涯学習推進計画策定懇談会等の会議を行うとともに、パブリックコメントを行い、令和2年3月に、市民が生涯にわたり学習し、学習の成果を生かして豊かなまちづくりにつながる生涯学習社会の実現を目指す「第2次浦安市生涯学習推進計画」と、市民がスポーツに親しみ、スポーツによる地域での交流などを通して豊かなまちづくりの実現を目指す「浦安市生涯スポーツ推進計画」を策定しました。 *パブリックコメント：意見募集期間 12/1～1/6、提出意見数0件。							
	今後の方向性							
	第2次生涯学習推進計画及び生涯スポーツ推進計画に基づき、生涯学習施策及び生涯スポーツ施策を、計画期間の令和2年度(2020年度)から令和11年度(2029年度)までの10年間、PDCAサイクルにより進行管理を行いながら推進します。							
	参考指標							
	***	<table border="1"> <tr> <td>H30年度</td> <td>***</td> </tr> <tr> <td>4年度までに</td> <td>***</td> </tr> <tr> <td>6年度までに</td> <td>***</td> </tr> </table>	H30年度	***	4年度までに	***	6年度までに	***
H30年度	***							
4年度までに	***							
6年度までに	***							

第1節 確かな学力（知）

1-1 学びの連続性を重視した教育の推進

1-1-1 小中連携・一貫教育の推進

事業名・担当部署	令和元年度 実績
小中連携・一貫教育の推進 /教育政策課・指導課 【再掲】2-1-2、4-2-1	<p>【教育政策課】</p> <p>「うらやす幼・保・小・中連携の日」をはじめとする各中学校区の研修を支援し、重点目標、取り組み状況、成果の把握を行いました。各学校は、小中連携の取り組みについて自己評価し、それをもとに学校関係者評価委員会の意見等も参考にしながら、次年度に向けた取り組みを検討しました。</p> <p>令和元年度「小中連携」についての自己評価 A（十分に成果が見られた）5校 B（成果が見られた）21校 C（成果があまり見られなかった）0校 D（成果が見られなかった）0校</p> <p>【指導課】</p> <p>浦安市小中連携・一貫教育推進会議を開催し、「学びをつなぐ『カリキュラムの指針』」「小学校外国語活動への取組」「教職員による相互の保育・授業参観」「小学校高学年での一部教科担任制の実施」「園児・児童・生徒の交流」等について、各中学校区や各学校の実態及び支援方法等を検討し、今後の効果的な推進のための見直しを行いました。</p> <p>また、各種研修会や学校訪問などを通して、「カリキュラムの指針」等の活用について指導・助言しました。</p>

	今後の方向性	
	<p>【教育政策課】</p> <p>中学校区ごとの幼稚園・認定こども園・保育園・小学校・中学校の連携をさらに推進し、就学前から義務教育9年間を通じた教育活動を展開することで、学力向上や自尊感情の育成、不登校やいじめの解消等を図ります。</p> <p>また、中学校区のランドデザインの作成・活用を推進し、連携ある指導に生かすとともに、保護者や地域に対しても、園小中連携・一貫教育を理解してもらう手立てとして活用していきます。</p> <p>公民館等地域の社会教育資源（人材も含めた）の効果的な活用を含め、学校と地域との連携の充実を図ります。</p> <p>【指導課】</p> <p>令和3年4月の中学校での新学習指導要領の全面実施にあわせて、児童生徒の学びをつなぐ「浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムの指針」の見直しを行い、改訂版を令和2年12月までに作成します。各種研修会や学校訪問を通じて同指針の一層の活用について助言・指導するとともに、各種調査等の結果からその効果を検証し、各研修会や会議等で周知していきます。</p>	
	参考指標	
	「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「日頃の授業で学びの系統性や連続性を意識しているか」に「とても心がけている」と回答した教員の割合	H30年度 31.5%
		4年度までに 50%
		6年度までに 70%

1-1-2 学校種間の連携の推進

事業名・担当部署		
幼・保・小・中連携教育の推進 /指導課・保育幼稚園課 【再掲】4-2-1	令和元年度 実績	
	<p>【指導課・保育幼稚園課】</p> <p>平成28年度に作成した「浦安市幼・保・小連携アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」のリーフレットを活用し、各学校、園で接続期カリキュラムを作成し、学校種間連携教育を推進しました。</p> <p>また、浦安市子ども作品展を活用し、学びの連続性を大切にされた発達段階に応じた表現や鑑賞ができました。中学校区において、園児と児童、生徒との交流や教師間の情報交換を行いました。</p>	
	今後の方向性	
	<p>幼・保・小・中連携教育の推進については、学校訪問や各研修会、会議等を通じて周知し、それぞれの子どもの発達段階に応じて、中学校区ごとの連携教育を推進します。</p>	
	参考指標	
	「浦安市小・中学生生活実態調査」で、中学校生活について不安や心配に感じている	H30年度 59%
		4年度までに 55%

	ことが「勉強」であると答えた小学校6年生の割合	6年度までに	50%
	「浦安市小・中学生生活実態調査」で、幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について心配していたことは「勉強」だったと答えた小学校1年生の割合	H30年度	33.8%
		4年度までに	32%
		6年度までに	30%
中・高連携教育の推進 /指導課 【再掲】4-2-1	令和元年度 実績		
	県事業「小・中・高連携の特別授業」について、市立各小・中学校に周知し、連携を推進しました。東海大浦安高校・市立見明川中学校では、高校生が数学の補習をボランティアで行うなど、生徒同士の交流を図りました。		
	今後の方向性		
	中・高連携教育の推進については、前年度の実績について周知し、県の「小・中・高連携の特別授業」事業等をとおして、中・高の連携を一層推進します。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	

1-2 学ぶ意欲の育成と確かな学力の形成

1-2-1 一人一人に応じたきめ細かい授業の推進

事業名・担当部署	
少人数教育推進事業 /学務課・指導課	令和元年度 実績
	【学務課】 延べ51名の少人数教育推進教員を全小・中学校に配置しました。
	【指導課】 延べ51名の少人数教育推進教員を対象に教員研修を年5回実施し、個に応じたきめ細かい指導の充実を図りました。研修会では、身近な事例や様々な観点に基づき、中学校区ごとの小グループや教科ごとのグループで検討するなどして、個々の指導方法の確立を推進しました。
	今後の方向性
【学務課】 少人数教育の推進を含め、よりきめ細かい指導を推進するため、令和2年度に少人数教育推進教員の役割等を見直し、令和3年度より、新たな枠組みで実施していきます。	【指導課】 少人数教育推進事業は、学校訪問や授業参観等で指導・助言を行い、少人数教育推進教員の指導力向上のための実践的な研修をより充実させ、きめ細かい指導の充実に向けて、推進を強化していきます。

	参考指標		
	少人数教育推進教員の年度末の充足率	H30 年度	95%
		4 年度までに	100%
		6 年度までに	100%
	「浦安市小・中学生生活実態調査」で「授業中に、先生が 2 人以上で教えてくれる学習はわかりやすい」の肯定的回答の割合	H30 年度	小 80.5% 中 70.9%
		4 年度までに	小 85% 中 75%
6 年度までに		小 90% 中 80%	
学力調査の活用推進 /指導課 【再掲】 1-4-1、6-2-2	令和元年度 実績		
	<p>浦安市と全国の設問ごとの平均正答率の比較だけでなく、無答率の状況や誤答分析を行い、浦安市の課題と改善例をまとめたリーフレットを作成しました。全職員に周知する目的で、一人一枚配付しました。</p> <p>全小・中学校の学力調査担当者を対象に、学力分析や活用の仕方について年 2 回の会議を開催し、教育実践の共有化を図りました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>令和 2 年度より小学校、3 年度より中学校で新学習指導要領が全面実施となることにより、評価の観点が変わったことを踏まえ、学力調査の内容や方法、活用等を令和 2 年 8 月までに検討します。</p> <p>また、学力調査に係る会議を年 1 回実施し、授業改善、指導法に関する講演や協議を行うことで、市内各校の学力の向上を図ります。</p>		
	参考指標		
	「全国学力・学習状況調査」学校質問紙で学力調査の結果について学校教育活動を改善するために「よく活用した」と回答した割合	H30 年度	小 29.4% 中 0%
4 年度までに		小 35% 中 20%	
6 年度までに		小 40% 中 30%	
小学校高学年における一部教科担任制の導入 /学務課・指導課	令和元年度 実績		
	<p>【学務課】</p> <p>豊かな経験と実績のある退職教員 3 名（特別支援 1 名、道徳 2 名）を市費非常勤職員の特任教員として小学校に配置し、効果的な授業を実践するとともに教員の指導力の向上を図りました。特に、道徳に関しては小中連携もふまえ、中学校への指導も実施しました。</p> <p>【指導課】</p> <p>算数の少人数指導以外にも、市内の小学校、音楽 17 校、家庭科 13 校、書写 11 校、理科 8 校、図画工作 4 校、社会 5 校、外国語活動 10 校、体育 5 校、道徳 2 校で一部教科担任制が実施されました。研修会や学校訪問等で</p>		

	取組状況を周知しました。		
	今後の方向性		
	<p>【学務課】 小学校における教科分担制を目指し、特任教員の配置を、今後も引き続き実施していきます。</p> <p>【指導課】 小学校高学年における一部教科担任制の導入については、教師が専門性を生かした指導を実践するよう、引き続き推進していきます。</p>		
	参考指標		
	一部教科担任制の実施率 (実技教科及び書写を除く)	H30年度	69%
		4年度までに	75%
		6年度までに	75%
情報教育推進事業 /指導課 【再掲】 1-4-6	令和元年度 実績		
	<p>情報教育環境を有効に活用するためのサポートとして、小・中学校全校で、指導者用デジタル教科書の活用やタブレット端末を活用した授業実践に向けてICT活用研修を実施しました。</p> <p>さらに、授業支援としてICT支援員を週1回市立各小中学校に派遣しました。</p> <p>小学校プログラミング教育の実施に向け、具体的な授業案をまとめたリーフレットを小学校の全教諭に配付しました。</p> <p>また、夏季休業中にタブレット端末などの活用方法、プログラミング学習を内容とするICT講座を実施し、延べ51名の教員が参加しました。各学校では、ICT機器を活用し、動画や画像を見せることで具体的なイメージを児童生徒に持たせ、興味関心を高める取り組みが行われました。子どもが自ら考え、理解したことを実感できる「わかる授業」を実践し、子どもたちの情報活用能力の育成を図りました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>情報教育推進事業については、教員のICT活用力を向上させ、わかる授業の実践に向けて、夏季ICT活用講座（令和2年8月開催）を実施します。</p> <p>また、デジタル教科書やタブレット端末を活用した授業実践に向けて、市内小・中学校ごとの集合研修を実施します。教員のICT活用を推進し、子どもにとってよりわかる授業の実践を支援するために、ICT支援員派遣を各校週1回継続して行います。</p>		
	参考指標		
		「浦安市児童生徒情報教育実態調査」で「コンピュータを使った学習はわかりやすい」の肯定的回答の割合	H30年度
	4年度までに		小 80% 中 75%

		6年度までに	小 85% 中 80%
I C T 環境の整備及び効果的な活用 /指導課 【再掲】 1-4-6、6-3-2	令和元年度 実績		
	<p>「浦安市教育の情報化推進計画」に基づき機器の整備を行いました。小学校には、全学級にプロジェクターと実物投影機を整備しました。中学校にも全学級にプロジェクターを整備し、実物投影機については3学級に1学級分の整備を行いました。パソコン室は16校の更新を行いました。これまではデスクトップ型のパソコンを整備していましたが、持ち運びのできるタブレット型のパソコンを整備しました。タブレット型のパソコンの台数の増加により、児童生徒が授業に活用する場面が増えました。学校での活用の仕方に合わせて、I C T機器が利用できるように推進しました。これからも求められるI C T環境が年々変化していくことが考えられるため、常にニーズに合った環境整備を心がけていきます。</p>		
	今後の方向性		
	<p>I C T環境の整備及び効果的な活用については、文部科学省が提示したG I G Aスクール構想の実現を目指し、令和2年10月までに「浦安市教育の情報化推進計画」の見直しを図り、整備・活用を進めていきます。</p>		
	参考指標		
	児童生徒用タブレットの整備状況	H30年度	6.9人に1台
		4年度までに	2020年度に1人に1台整備する
6年度までに			
「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「コンピュータやプロジェクタ、電子黒板などのI C T機器を活用している」の教員の肯定的回答の割合	H30年度	小 74.2% 中 55.7%	
	4年度までに	小 80% 中 60%	
	6年度までに	小 85% 中 65%	

1-2-2 自主的な学習活動の奨励・支援

事業名・担当部署	
家庭学習習慣の奨励 /指導課	令和元年度 実績
	<p>発達段階に応じた家庭学習を行う習慣の必要性について、学校訪問や各種研修会で指導しました。</p> <p>また、県教育委員会発行の「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の事例集」、県教育委員会事業「ちばのやる気」学習ガイドを周知し、家庭学習の推進に活用するように助言しました。</p>
	今後の方向性

	<p>家庭学習習慣の奨励については、各学校の取り組みについて情報交換の時間等を設定するなどし、各学校での見直しを促し、家庭に対して具体的に働きかけられるようにします。</p> <p>また、e ライブラリ等、ICT機器を用いた家庭学習についてもより一層推奨していきます。</p>		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
6 年度までに		***	
浦安市児童生徒科学作品展の 開催 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>令和元年度は小学校 17 校、中学校 9 校から 144 点の出品があり、そのうち 19 点を特選としました。タブレットや大型モニターを用いた映像(動画)による作品紹介を行い、当日は延べ 744 名が来場しました。</p> <p>また、理科センターでは、夏休みに科学作品・科学論文相談会を行い、子ども達が自主的に制作を進められるよう支援しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>令和 2 年度の浦安市児童生徒科学作品展の開催については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から審査会を中止し、作品展示のみとしました。令和 3 年度は、理科センター事業である科学工夫作品・科学論文相談会を年 2 回、小学生向けの理科講座を夏休みに 1 回行うことで理科の楽しさを伝えながら、自由研究のヒントとなるような助言を行います。</p>		
	参考指標		
	科学工夫作品・科学論文相談会への児童生徒参加者数	H30 年度	20 人
4 年度までに		30 人	
6 年度までに		40 人	
浦安市児童生徒科学作品展への出品数	H30 年度	小 108 点 中 36 点	
	4 年度までに	小 115 点 中 38 点	
	6 年度までに	小 120 点 中 40 点	
ふるさと浦安作品展 /郷土博物館 【再掲】2-2-1、5-1-1、 10-3-2	令和元年度 実績		
	<p>「ふるさと浦安」に関する作品制作や研究により、ふるさとを愛する気持ちを育てるため、作品展を開催しました。小学生 376 点、中学生 1,333 点の合計 1,709 作品の出展がありました。16 日間で 4,230 名の入場者がありました。</p>		
	今後の方向性		

	<p>ふるさと浦安作品展については、郷土博物館活用推進委員会をはじめ、各学校と連携し、内容の充実・参加の促進に努めていきます。</p> <p>また、浦安に関する理解を図ることを目的として開催する企画展「もっと知りたいふるさと浦安」と作品制作や研究をサポートする「ふるさと浦安相談会」を充実させ、児童生徒が主体的な学び、浦安の理解を深め、郷土愛を育んでいきます。</p>		
	参考指標		
	市内全児童生徒数に対する、作品展参加人数の割合	H30年度	8.5%
		4年度までに	10%
		6年度までに	12%
	奨励賞以上の作品の内容のうち、市民生活の進歩や発展に向けた考えが表現されている作品の割合	H30年度	18%
4年度までに		30%	
6年度までに		50%	
青少年自立支援未来塾 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	<p>学習の遅れがちな中学生に対して、学習習慣の確立や基礎的な学力を身につけさせるなど、学力の向上を図ることを目的に教員OBや大学生など地域住民の協力を得て学習支援を行いました。</p> <p>令和元年度は、英語教室を新たに創設し、7月から8月の夏季休業中に延べ12回行い、延べ262人の中学生が参加しました。また、数学教室を9月から2月にかけて延べ180回行い、延べ1,808人の中学生が参加しました。本事業の周知や実施期間中の生徒へのフォローなど各中学校との連携強化を図ることで、生徒や家庭の実態に即したきめ細やかな学習支援を行いました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>教育委員会内に組織してある青少年自立支援未来塾運営委員会にて、生徒の実態や学習課題等の把握に努め、生徒や家庭の困り感に寄り添った放課後の学習支援を行います。</p> <p>また、各中学校との連携をより強化し、個別の学習支援を必要とする生徒に学習機会を確実に提供するなどアウトリーチ策を検討していきます。</p>		
	参考指標		
	未来塾で学習を支える人材の数	H30年度	31人
		4年度までに	—
		6年度までに	40人
未来塾の教室数/実施回数（教室/回）	H30年度	12/192	
	4年度までに	12/195	
	6年度までに	14/210	

1-3 多様な教育的ニーズに応じた支援の充実

1-3-1 特別支援教育の推進

事業名・担当部署	
<p>まなびサポート事業の推進 /教育研究センター・学務課</p> <p>【再掲】4-2-2、13-1-2</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度 実績</p> <p>【教育研究センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなびサポートチーム員（医師2名、スーパーバイザー1名、指導主事等4名、臨床心理士4名、言語聴覚士2名、理学療法士、作業療法士、特別支援教育指導員各1名）により、学校・保護者からの相談や、特別な教育的支援が必要な子どもの就学に関する相談・助言を行いました。 ・令和元年度の保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校等の保護者からの個別相談は223件。その内、就学に向けた相談は、126件でした。また、園・学校等への訪問による相談は、493件実施しました。 ・学校支援として、特別支援教育の体制整備、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成や活用、合理的配慮の提供に向けた相談など、一人一人の教育的ニーズに応じた支援が実施できるよう学校への指導・助言を行いました。 ・教職員育成として、全校体制で取り組む特別支援教育の実現に向けてのそれぞれの役割やニーズに応じた研修会を実施（24回）し、専門性や指導力の向上を図りました。また、心身障がい児支援員を16名配置し、「障がいや子どもの状態に応じた支援について」心身障がい児補助教員と合同の研修会を行い、効果的な支援の充実を図りました。さらに、「どの子どもわかる授業づくり」や「どの子ども安心して居場所のある学級づくり」、「計画的な交流及び共同学習」ができるよう指導・助言を行うとともに「実践マニュアル」等を作成し学校への周知を図りました。 ・市立小・中学校に在籍する医療的ケアを必要とする子ども2名に対し、市の委託を受けた訪問看護ステーションの看護師が巡回訪問をしてケアを実施しました。 <p>【学務課】</p> <p>延べ122名の心身障がい児補助教員を全小・中学校に配置し、特別支援教育を推進しました。</p>
	<p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <p>【教育研究センター】</p> <p>特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握し、能力や可能性を最大限に伸ばせるよう個に応じた適切で多様な学びの場の充実を図ります。</p> <p>令和2年度には特別支援学級全校設置に向け、未設置校の内1校に特別支援学級を開級します。通級指導教室では巡回による指導の拡充に向け、巡回校をさらに1校増やします。</p> <p>また、特別支援教育に関する専門性を育成するための研修会を新たに実施します。また、連続した切れ目ない支援の充実を図るため、こども発達セン</p>

	<p>ターと計画的に打ち合わせを行い、教育と福祉の連携に努めます。</p> <p>【学務課】</p> <p>個に応じた指導の一層の充実のため、令和2年度に心身障がい児補助教員の役割等を見直し、令和3年度より、新たな枠組みで実施していきます。</p>		
	参考指標		
	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成率	H30年度	96%
		4年度までに	100%
		6年度までに	100%
<p>学習支援室活用の推進 /教育研究センター</p>	令和元年度 実績		
	<p>全小・中学校に設置している学習支援室を活用して子どもの教育的ニーズに応じた個別学習などが行えるように、活用状況を調べたり、学校への助言や支援を行ったりしました。各学校の活用状況調査からは、学習支援室を個別または少人数で落ち着いて学習を積み重ねられる場、情緒の調整（クールダウン）等を行う場としての活用が定着していることがわかりました。今後は、より効果的に学習支援室が活用できるよう人的活用のあり方の検討も進めていきます。</p>		
	今後の方向性		
	<p>学習支援室活用の推進については、子どもの教育的ニーズに応じた個別学習などが行えるように、活用状況等を確認しながら、学校への助言や支援を行っていきます。</p> <p>さらに、心身障がい児補助教員等による人的支援を生かした学習支援室の効果的な活用方法について、令和2年度は小学校1校でモデルとなる取り組みを実施し、運用マニュアル等を作成します。</p>		
	参考指標		
	学習支援室の有効活用 自校評価率	H30年度	65%
		4年度までに	80%
		6年度までに	100%
<p>ハンディキャップサービス事業 /中央図書館 【再掲】 2-2-1、7-3-3</p>	令和元年度 実績		
	<p>図書館への来館が困難な方への宅配サービスを284件実施したほか、活字資料をそのままの形では利用できない利用者向けの資料を作成しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>活字の図書を読むことが難しい方のための録音資料等の製作や対面朗読及び宅配、入院している方のための病院サービス等を継続していきます。</p> <p>また、製作技術の維持向上のため、令和2年度にハンディキャップサービス協力者の養成講習会を実施します。</p>		
	参考指標		
	***	H30年度	***
		4年度までに	***

		6年度までに	***
サポートファイル事業の活用 の推進 /教育研究センター、障がい事業課	令和元年度 実績		
	<p>【教育研究センター】</p> <p>サポートファイルの活用が図られるように、就学説明会で保護者に使い方を説明するとともに、まなびサポート研修会や特別支援教育コーディネーター研修会で教職員に「サポートファイル」を紹介し、保護者との面談や引継ぎ場面での活用を図るよう周知しました。</p> <p>【障がい事業課】</p> <p>障がい事業課、障がい福祉課、こども発達センター及び市内の相談支援事業所において、希望者 76 名へサポートファイルを配付し、イベント等でも周知を図りました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【教育研究センター】</p> <p>まなびサポートによる就学相談の際に、サポートファイルを活用し、関係機関と連携した相談を進めます。</p> <p>【障がい事業課】</p> <p>支援を必要とする方が、乳幼児期から成人期までのライフステージにおいて、一貫した支援を継続的に受けられるよう、今後もサポートファイルの周知を進めていくとともに、活用の促進に向けて関係機関との連携を図ります。</p>		
	参考指標		
	サポートファイルの配布数	H30 年度	110 冊
	4 年度までに	110 冊	
	6 年度までに	110 冊	
青少年発達サポートセンター /障がい事業課	令和元年度 実績		
	<p>発達障がいのある方等への相談支援や療育支援などを行っており、利用者のニーズに沿った支援の結果、登録者数は 676 名（令和 2 年 3 月末現在）にまで増加しました。</p> <p>また、先生からのお問い合わせや施設職員が学校への訪問を行ったことにより、学校と良い関係を築くことができました。</p>		
	今後の方向性		
	引き続き、発達障がいのある方等への相談支援や療育支援などを行い、日常生活又は社会生活を円滑に営むことができるよう支援を行っていきます。		
	参考指標		
	個別療育・集団療育件数	H30 年度	3,031 件
	4 年度までに	支援を必要とする方に実施	
	6 年度までに	支援を必要	

			とする方に 実施
特別支援教育のあり方検討事業 /教育政策課	令和元年度 実績		
	<p>これまで本市が取り組んできた特別支援教育について振り返り、今後の特別支援教育の方向性等について検討するために、特別支援教育のあり方検討委員会を設置し、年5回の会議を開催しました。</p> <p>保護者や教員を対象とした意識調査や関係団体のヒアリング調査等を行い、今までの特別支援教育の成果と課題を検証し、通常の学級に在籍している児童生徒も含めた全ての子どもたちを対象とした特別支援教育の推進のための方向性を「特別支援教育のあり方検討報告書」としてまとめました。</p> <p>また、県立特別支援学校の誘致について、転用可能となった校舎の利用の可能性は残しつつ、空き教室を活用する既存校との併設型も視野に入れ、千葉県と協議を進めました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>「特別支援教育のあり方検討報告書」を基に、子どもたち一人一人の教育的ニーズに沿った支援体制の整備等を行い、より一層充実した特別支援教育の推進を図っていきます。</p> <p>特別支援学校の誘致については、学校統合により転用可能となった校舎の利用の可能性は残しつつ、小規模校における空き教室の活用や市内の公共施設を活用することも加味することとし、小学部及び中学部と高等部を分散し段階的に誘致を行うことも含めて、令和2年度より千葉県と具体的な協議を進めていきます。</p> <p>また、県立特別支援学校誘致推進委員会を設置し、どのように誘致を進めていくのかについて具体的に検討、協議します。</p>		
	参考指標		
	市川・浦安地区への特別支援学校の分校等の誘致	H30年度	—
4年度までに		誘致に向けた具体案を取りまとめる	
	6年度までに	誘致の見通しを立てる	

1-3-2 不登校児童生徒への支援の充実

事業名・担当部署	
教育相談推進事業 /指導課 【再掲】2-1-2、13-2-4	令和元年度 実績
	<p>全小・中学校に26名のスクールライフカウンセラーを配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見や相談に対応し、健やかな学校生活が送れるように支援しました。</p> <p>小学校では、スクールライフカウンセラーが週に4日間、全中学校と小学</p>

	<p>校2校では、スクールライフカウンセラーに加え、県が配置しているスクールカウンセラーが週1日勤務しています。そのため、9校では、カウンセラーが常駐している状態となっています。</p>	
	<p>相談件数は、小学校で9,185件、中学校では3,770件でした。小学校では、性格・身体問題についての悩みが最も多く、3,239件、次いで対人関係が1,862件、不登校が1,166件、家庭・親子問題が1,034件、学業・進路が805件でした。小学校での好転解消件数は、6,210件でした。</p>	
	<p>中学校では、性格・身体問題についての悩みが最も多く、1,611件、不登校が735件、対人関係が400件、家庭・親子問題が337件、学業・進路が277件でした。</p>	
	<p>また、中学校での好転解消件数は953件でした。きめ細かく相談できる学校環境にすることで、虐待の早期発見、いじめや不登校についての対策・未然防止にも役立っています。特に、家庭環境との関連が深い相談に対しては、こども家庭支援センターやいちょう学級、スクールソーシャルワーカー等と連携し対応しています。</p>	
	<p>今後の方向性</p>	
	<p>教育相談推進事業については、スクールライフカウンセラーを全小・中学校に各1名配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見、相談、解消のために適切な援助・助言を継続していきます。また、児童生徒や家庭の悩みについての保護者からの相談に対しても、カウンセリングを継続していきます。</p>	
	<p>参考指標</p>	
	<p>「浦安市小・中学生生活実態調査」の「学校に行くのは楽しいですか」の質問に対する否定的な回答の割合</p>	<p>H30年度 小9.8% 中8.3%</p>
		<p>4年度までに 小9% 中7.9%</p>
		<p>6年度までに 小8.8% 中7.7%</p>
<p>適応指導教室における教育機能の充実（不登校対策支援事業による訪問相談の拡充） /教育研究センター</p>	<p>令和元年度 実績</p>	
	<p>不登校やひきこもり傾向にある児童生徒についての家庭や学校からの相談に対し、個に応じたきめ細かな指導・援助を行うとともに、児童生徒に対しては、小集団での活動を通して、ゆるやかな学校復帰を図りました。</p>	
	<p>いちょう学級延べ利用人数は猫実で1,058名、入船で2,054名、合計3,112名でした。</p>	
	<p>また、いちょう学級の学習支援部門の通級者は猫実30名、入船34名、合計64名でした。教育相談における相談は延べ3,478回、訪問相談は延べ2,227回行いました。</p>	
	<p>成果としては、学校に復帰できるようになったケースだけでなく、いちょう学級で活動及び学習する時間が増えたり、訪問相談でかかわっていた児童生徒がいちょう学級を利用したり、学習支援部門に通えるようになったりするなど、いちょう学級を利用して好転した児童生徒は95名でした。</p>	

*適応指導教室は、令和2年1月にいちよう学級に名称変更しました。		
今後の方向性		
<p>いちよう学級における教育機能の充実（不登校対策支援事業による訪問相談の拡充）については、統括訪問相談員によるひきこもり傾向のある児童生徒の家庭や学校に対しての働きかけとともに、個に応じたきめ細かな指導・援助を推進し、関係諸機関との連携による児童生徒の学校復帰・社会復帰の支援を継続して行います。</p> <p>また、いちよう学級猫実、いちよう学級入船において、電話や来室等での教育相談、及び訪問相談の中でカウンセリングを行い、自己決定力の育成を支援します。さらに、まなびサポートチームの医師相談等も活用するとともに特別支援教育の視点を生かした不登校支援・相談業務の充実を図ります。</p>		
参考指標		
学校に登校しない、登校できない児童生徒の学校生活等への復帰率	H30年度	77.9%
	4年度までに	80%
	6年度までに	90%

1-3-3 外国籍等の子どもたちの日本語サポート体制の充実

事業名・担当部署			
日本語指導員の派遣 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>10人の日本語指導員を派遣し、39名の児童生徒に学習支援を行いました。また、日本語指導員の指導力向上と指導法や教材等についての意見交換のため、研修会を年1回開催しました。</p> <p>【派遣実績】浦安小5名、南小5名、北部小2名、美浜南小1名、舞浜小3、美浜北小1名、日の出小1名、明海小4名、高洲小7名、日の出南小2、高洲北小2名、入船小2名 小学校合計35名、浦安中2名、堀江中1名、入船中1 中学校合計4名 総計39名</p>		
	今後の方向性		
	<p>日本語指導員の派遣については、今後も小・中学校において、転入学や諸外国から編入学してきた児童生徒で日本語指導を必要とする児童生徒（令和2年6月現在39名）に対して日本語指導員（令和2年6月現在14名）を派遣し、学校生活への適応を図ります。また、年に1回以上日本語指導員研修会を実施し、指導力の向上を図ります。</p>		
	参考指標		
	日本語指導員の充足率	H30年度	85.2%
		4年度までに	90%
6年度までに		100%	
日本語指導員の年間研修会の回数	H30年度	1回	
	4年度までに	2回	
	6年度までに	3回	

1-4 今日的な教育課題に対応する教育の推進

1-4-1 教育研究・実践のシステム化

事業名・担当部署			
研究指定校・研究奨励校の指定事業 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>本市教育振興のため、指定校への指導・助言を行い、先進的な研究の推進を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程特例校〈1～2年生外国語活動〉(小学校 17 校) ・オリンピック・パラリンピック教育推進校 (小学校 1 校) ・学校体育研究推進校 (小学校 1 校) ・福祉教育推進校 (小学校 2 校、中学校 1 校) ・幼保小中連携教育教科推進校〔道徳〕(幼稚園 1 園、小学校 2 校、中学校 1 校) ・小中連携教育教科推進校〔理科〕(小学校 1 校、中学校 1 校) ・小中連携教育教科推進校〔算数・数学〕(小学校 1 校、中学校 1 校) ・小中連携教育教科推進校〔表現〕(小学校 2 校、中学校 1 校) ・体力向上推進校 (小学校 4 校、中学校 2 校) ・浦安市理科センター校 (小学校 1 校) 		
	今後の方向性		
	<p>幼小中学校の連携を意識し、つながりのある教育を目指し、学校訪問や各研修会を通じて助言を行うなど、中学校区を基本に特色のある研究を推進できるよう支援していきます。</p>		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
校内研究の奨励・支援 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>幼稚園・認定こども園、小・中学校の各教科等における研修を支援するため、要請に応じて年間延べ 288 回訪問し、指導法の工夫・改善を中心に指導・助言を行い、教員の授業力の向上を支援しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>研究指定校・研究奨励校の指定事業及び校内研究の奨励・支援については、幼稚園・認定こども園、小・中学校の各教科等における研修において、年間を通じて要請訪問や学校訪問、各研修会で指導・助言を行い、支援していきます。</p>		
	参考指標		
	自校の校内研究の結果を数値で評価し、成果を可視化する。	H30 年度	—
4 年度までに		成果指標を完成させる	
6 年度までに		成果指標を	

			完成させる
学力調査の活用推進 /指導課 【再掲】 1-2-1、6-2-2	令和元年度 実績		
	全小・中学校の学力調査担当者を対象に学力分析や活用の仕方について年2回の会議を開催し、教育実践の共有化を図りました。		
	今後の方向性		
	令和2年度より小学校、3年度より中学校で新学習指導要領が全面实施となることより、評価の観点が変わったことを踏まえ、学力調査の内容や方法、活用等を令和2年8月までに検討していくとともに、学力調査の活用推進において、年1回学力調査に係る会議を開催し、市内各校の学力向上のための協議を行います。		
	参考指標		
「全国学力・学習状況調査」学校質問紙で学力調査の結果について学校教育活動を改善するために「よく活用した」と回答した割合	H30年度	小 29.4%	中 0%
	4年度までに	小 35%	中 20%
	6年度までに	小 40%	中 30%

1-4-2 国語教育の充実

事業名・担当部署	
浦安市子ども読書活動推進事業 /指導課・中央図書館 【再掲】 2-2-1、4-2-1、8-2-3	令和元年度 実績
	【指導課】 全小・中学校に26名の司書を配置するとともに、読書活動推進と図書室利用の促進を図りました。調べ学習や読書活動による図書館の利用時間は、市内全小・中学校を合わせて、年間10,009時間、館外での図書資料利用冊数は584,631冊と、各校の図書資料が有効に活用されています。 また、平成31年度の浦安市学力調査の生活行動・学習活動調査によると、本を読んでいる児童生徒は、7割を超えていました。
	【中央図書館】 園や小学校に出向いて行う読み聞かせ等は、年間で683回、延べ15,542名の子どもたちに実施しました。図書館職員が出向くことで、子どもたちが図書館に親しみを感じ、来館者が増えています。 また、団体貸出による、学校図書館等への資料の援助を行いました。
	今後の方向性
【指導課、中央図書館】 浦安市子ども読書活動推進事業については、「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」を9月に策定する予定です。これに基づき、今後もより一層小・中学校の学校図書館の環境整備と図書資料の充実や学校司書の資質向上に努めます。	

	また、中央図書館と学校図書館の連携を推進し、様々な図書資料から情報を得て活用できる子どもたちの育成を目指します。		
	参考指標		
幼稚園・認定こども園・保育園・小学校に出向き、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングを実施した回数	H30年度	761回	
	4年度までに	780回	
	6年度までに	800回	

1-4-3 理数教育の充実

事業名・担当部署			
理科教育推進教員配置事業 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>小学校 17 校に各 1 名の市費非常勤職員を配置し、小学校の理科授業におけるティーム・ティーチングによる指導、観察や実験等の事前準備や後片付け、学習計画の立案や教材開発の支援、理科実験用薬品や備品等の管理補助を行いました。平成 30 年度より、理科支援ティーチャーから理科教育推進教員に名称を変更し、全ての小学校に配置しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>理科教育推進教員配置事業については、効果的・効率的に実施していくため、取り組んだ内容について、学校による評価の実施、事業効果の検証を進めます。</p> <p>また、本市における理科教育の推進と授業の質的向上を図るため、理科教育推進教員の研修会を年 8 回実施します。</p> <p>令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から 9 月までの研修会を中止にしました。10 月以降の研修会については、状況を判断して検討していきます。</p>		
	参考指標		
	「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問紙で、「理科の観察・実験が好き」の質問に「あてはまる」と回答した児童の割合	H30 年度	小 29.4% 中 0%
4 年度までに		小 35% 中 20%	
6 年度までに		小 40% 中 30%	
理科センター事業の充実 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>各小・中学校より選出された理科センター協力員の協力を得て、教員の理科実技研修 1 回（26 名）、小学生のための理科講座 1 回（86 名）等を実施しました。また、児童生徒科学作品展では、延べ 744 名が来場しました。144 点の出品があり、そのうち 19 点を特選としました。</p> <p>理科センターは入船小学校内に設置され、理科センター所長は、入船小学校長が兼務しています。</p>		

	今後の方向性		
	<p>理科センター事業の充実については、理科教育の推進と質的向上を図るため、研修・教育振興行事等を、円滑、効果的に実施するように進めます。小中連携教育理科推進校である入船小学校をセンター校とし、教員向けの研修を年1回、児童生徒向けの講座を年1回、継続して進めます。</p> <p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から「小中合同授業研究会」「小学生のための理科講座」「科学工夫作品・科学論文相談会」「理科実技研修会」を中止にしました。</p>		
	参考指標		
	「小学生のための理科講座」への参加人数	H30年度	90人
		4年度までに	100人
		6年度までに	120人
浦安市児童生徒科学作品展への出品数	H30年度	小108点 中36点	
	4年度までに	小115点 中38点	
	6年度までに	小120点 中40点	
世界一行きたい科学広場 i n 浦安 /生涯学習課・指導課・ 中央図書館	令和元年度 実績		
	<p>【生涯学習課】</p> <p>科学への関心や科学的に考える力の衰えに危機感を抱いている研究者や教育関係者が集い行われているイベントで、平成24年度から実施しており、令和元年度で8回目を迎えました。令和元年11月16日(土)、10:00～16:00、東海大学付属浦安高等学校・中等部を会場に実施しました。行政や大学、企業や地域住民などの人々の連携によるサイエンスショーや科学実験を行いました。</p>		
	<p>【指導課】</p> <p>科学への関心や科学的に考える力の衰えに危機感を抱いている研究者や教育関係者が集い行われているイベントで、平成24年度から実施しており、平成31年度で8回目を迎えました。東海大学付属浦安高等学校・中等部松前記念体育館で開催され、浦安市児童生徒科学作品展で特選作品・論文を展示しました。</p>		
	<p>【中央図書館】</p> <p>紙コップを使ったUFO作りと関連資料の展示及び図書目録を配布しました。大人、子どもあわせて98名の参加がありました。</p>		
今後の方向性			
<p>【生涯学習課・中央図書館】</p> <p>「世界一行きたい科学広場 i n 浦安」実行委員会の実行委員として、子どもたちの好奇心や想像力を育み、科学的な見方・考え方を育めるような、地</p>			

	域教育力を活かした企画・運営を目指します。	
	【指導課】	
	子どもたちの好奇心や想像力を刺激し、科学的な見方・考え方を育めるような、地域教育力を活かした企画・運営を目指します。	
	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策の影響により中止となりました。	
	参考指標	
	来場者数	H30年度
4年度までに		2,500人
6年度までに		2,700人
参加団体数	H30年度	40団体
	4年度までに	45団体
	6年度までに	50団体

1-4-4 英語教育の充実

事業名・担当部署		
外国語教育推進事業 (英語教育推進事業) /指導課 【再掲】5-1-2	令和元年度 実績	
	<p>各小・中学校に23名の外国語指導助手(ALT)を派遣しました。また、ALTコーディネーター1名、外国語活動等指導員1名による授業参観を各校月に1～2回実施し、担任、授業者、ALTの指導力向上に努めるだけでなく、児童生徒の多文化理解及び英語によるコミュニケーション能力の育成を図りました。</p> <p>小学校1・2年生では、年間14時間の外国語活動を実施する特別な教育課程を編成し、浦安市外国語活動学習活動プログラムを用いた外国語教育推進を図りました。</p> <p>3・4年生では、文部科学省作成外国語活動教材「Let's Try!」、5・6年生では、「We Can!」を活用し、学級担任、英語専科教員、ALTとともに、外国語によるコミュニケーション活動を行いました。</p>	
	今後の方向性	
	<p>英語教育推進事業については、今後もALTを全小・中学校に配置し、外国語(英語)教育をより一層推進します。</p> <p>また、新学習指導要領の内容に即した外国語教育研修会を年1回、外国語活動等指導員1名による授業参観を各校月に1～2回実施し、教員の指導力向上を図ります。</p>	
	参考指標	
	「英語教育実施状況調査」においてCEFR A1レベル相当以上の英語力があると報告された中学校3年生の割合	H30年度
	4年度までに	75%
	6年度までに	80%

1-4-5 勤労観・職業観をはぐくむ教育の充実

事業名・担当部署			
キャリア教育の推進 /指導課 【再掲】4-1-1、8-2-1	令和元年度 実績		
	キャリア教育研修会を年2回実施しました。第1回は講師を招へいし、キャリア教育の重要性・必要性について、第2回は指導課職員が令和2年度から始まる「キャリア・パスポート」の活用についての研修を行いました。研修の対象は、小中学校キャリア教育担当教員です。 また、各小・中学校においては、中学校区ごとに、小・中学校の学びの連続性を意識したキャリア教育モデルプランに基づき、職業調べや職場見学、職場体験学習等を実施しました。多くの中学校において、2日間の日程で、市内の事業所を中心に、職場体験を実施しました。		
	今後の方向性		
	キャリア教育の推進については、中学校区ごとのモデルプランの見直しを行い、令和3年2月実施のキャリア教育研修会でとりまとめ、小・中学校の連携を図っていきます。		
	参考指標		
	キャリア教育に関わる体験学習実施校（26校中）	H30年度	22校
	4年度までに	26校	
	6年度までに	26校	

1-4-6 情報教育の充実

事業名・担当部署			
情報教育推進事業 /指導課 【再掲】1-2-1	令和元年度 実績		
	情報教育環境を有効に活用するためのサポートとして、小・中学校全校で、指導者用デジタル教科書の活用やタブレット端末を活用した授業実践に向けてICT活用研修を実施しました。 さらに、授業支援としてICT支援員を週1回市立各小中学校に派遣しました。 小学校プログラミング教育の実施に向け、具体的な授業案をまとめたリーフレットを小学校の全教諭に配付しました。 また、夏季休業中にタブレット端末などの活用方法、プログラミング学習を内容とするICT講座を実施し、延べ51名の教員が参加しました。各学校では、ICT機器を活用し、動画や画像を見せることで具体的なイメージを児童生徒に持たせ、興味関心を高める取り組みが行われました。子どもが自ら考え、理解したことを実感できる「わかる授業」を実践し、子どもたちの情報活用能力の育成を図りました。		
	今後の方向性		
	情報教育推進事業については、教員のICT活用力を向上させ、わかる授業の実践に向けて、夏季ICT活用講座（令和2年8月開催）を実施しま		

	<p>す。</p> <p>また、デジタル教科書やタブレット端末を活用した授業実践に向けて、市内小・中学校ごとの集合研修を実施します。教員のICT活用を推進し、子どもにとってよりわかる授業の実践を支援するために、ICT支援員派遣を各校週1回継続して行います。</p>		
	参考指標		
	「浦安市児童生徒情報教育実態調査」で「コンピュータを使った学習はわかりやすい」の肯定的回答の割合	H30年度	小 74.8% 中 71.9%
		4年度までに	小 80% 中 75%
		6年度までに	小 85% 中 80%
ICT環境の整備及び効果的な活用 /指導課 【再掲】1-2-1、6-3-2	令和元年度 実績		
	「浦安市教育の情報化推進計画」に基づき機器の整備を行いました。小学校には、全学級にプロジェクターと実物投影機を整備しました。中学校にも全学級にプロジェクターを整備し、実物投影機については3学級に1学級分の整備を行いました。パソコン室は16校の更新を行いました。これまではデスクトップ型のパソコンを整備していましたが、持ち運びのできるタブレット型のパソコンを整備しました。タブレット型のパソコンの台数の増加により、児童生徒が授業に活用する場面が増えました。学校での活用の仕方に合わせて、ICT機器が利用できるように推進しました。これからも求められるICT環境が年々変化していくことが考えられるため、常にニーズに合った環境整備を心がけていきます。		
	今後の方向性		
	ICT環境の整備及び効果的な活用については、文部科学省が提示したGIGAスクール構想の実現を目指し、令和2年10月までに「浦安市教育の情報化推進計画」の見直しを図り、整備・活用を進めて行きます。		
	参考指標		
	児童生徒用タブレットの整備状況	H30年度	6.9人に 1台
4年度までに		2020年度 に1人に1 台整備する	
6年度までに			
「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「コンピュータやプロジェクタ、電子黒板などのICT機器を活用している」の教員の肯定的回答の割合	H30年度	小 74.2% 中 55.7%	
	4年度までに	小 80% 中 60%	
	6年度までに	85% 65%	

第2節 豊かな心（徳）

2-1 豊かな心の育成

2-1-1 規範意識の向上及び道徳性の育成

事業名・担当部署			
人権啓発推進事業 /男女共同参画センター（現： 多様性社会推進課）・指導課	令和元年度 実績		
	<p>【男女共同参画センター・指導課】</p> <p>人権問題についての理解を深め、人権感覚を高めることを目的に、年間3回の作成会議を開催して「人権・公民ノート」を作成し、市立中学校3学年全生徒に配付しました。</p> <p>生徒が作成したコラムには、女性の社会進出、インターネットを悪用した人権侵害など、身近な人権課題についての問題提起を掲載することで、社会科や道徳等で取り上げられるようにしました。</p> <p>また、人権教室を小学校2校で、人権講演会を中学校3校で実施し、児童生徒への人権意識の醸成を図りました。</p> <p>「人権週間」には、市内中学校の生徒、15名が参加し、街頭キャンペーンを行いました。</p> <p>夏休み前には、各小・中学校へ人権ポスターや人権作文の募集を呼びかけ、人権作文1,153編、人権ポスター61点の応募があり教職員、児童生徒への人権啓発を推進しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度の人権啓発推進事業については、「人権・公民ノート」の作成及び配付等を行い、人権啓発を推進していきます。また、令和3年度以降は、例年どおり「人権・公民ノート」の作成・配付や小学2、3年生を対象とした人権教室各2回（年2校）、中学生を対象とした人権講演会3回（年3校）、人権週間街頭キャンペーン等を行い、教職員ならびに児童生徒の人権啓発を推進する予定ですが、感染症の状況に応じ実施していきます。</p>		
	参考指標		
ボランティア活動推進事業 /指導課 【再掲】 2-2-1、4-1-1、 5-1-1、6-1-2	「人権・公民ノート」を授業で活用している又は活用する予定の中学校数（9校中）	H30年度	7校
		4年度までに	8校
		6年度までに	9校
令和元年度 実績			
<p>小・中学校の児童生徒が、地域社会の一員として、地域の方とともに学区の清掃活動を行ったり、吹奏楽部や合唱部の児童生徒が地域のお祭りで演奏したりすることを通して、豊かな心を育みました。</p>			
今後の方向性			

	<p>ボランティア活動推進事業については、各小中学校がどのような取組を行っているのか実施状況を把握し、「豊かな心」をさらに育むことができるように、総合的な学習の時間や道徳教育、キャリア教育等の取組の中で実施していきます。</p>		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
		6 年度までに	****
<p>道徳教育・人権教育の推進 /指導課 【再掲】 4-2-1</p>	令和元年度 実績		
	<p>「特別の教科道徳」の全面実施に向け、新学習指導要領を踏まえた道徳教育を推進するため、年 2 回研修会を開催しました。</p> <p>年 1 回の人権教育研修会を行い、子どもへの支援を中心とした今日的課題に対する人権意識の向上を図りました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>道徳教育・人権教育の推進については、道徳の教科化に伴い、その趣旨や評価等に関する周知、教員の指導力向上のための実践的な研修（令和 3 年 2 月実施予定）を行うとともに、学校訪問を通じて道徳の授業について助言を行います。人権教育では、研修会を通じて児童生徒や教職員の人権意識を高める研修を行っていきます。</p>		
	参考指標		
	「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「道徳教育・人権教育に満足している」と答えた保護者の割合	H30 年度	64%
4 年度までに		67%	
6 年度までに		70%	
<p>障がい者福祉推進事業 /障がい事業課</p>	令和元年度 実績		
	<p>小学校 4 年生が受講する福祉体験教室を中心に、「こころのバリアフリーハンドブック」を市内小学校 17 校の児童生徒等へ 2,506 部配布しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>引き続き、小学校全校へ「こころのバリアフリーハンドブック」の配布を行い、障がいへの理解を促進していきます。</p>		
	参考指標		
	「うらやすこころのバリアフリーハンドブック」の配布数	H30 年度	2,247 冊
4 年度までに		2,300 冊	
6 年度までに		2,300 冊	

2-1-2 生徒指導機能の向上

事業名・担当部署			
生徒指導推進事業 /指導課 【再掲】13-2-4	令和元年度 実績		
	<p>各小・中学校の生徒指導担当教諭を対象に年間3回の研修会を実施し、いじめに対する対応や、具体的な事例をもとに問題点を検証する等、生徒指導体制の充実を図りました。</p> <p>また、各学校における生徒指導状況を毎月確認し、いじめの早期認知を含む、生徒指導上の諸問題の把握と早期解消に向けた取り組みを推進しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>生徒指導推進事業については、各学校における生徒指導状況を的確に把握するとともに、いじめの早期認知を含む、生徒指導上の諸問題の早期解消に向けた取り組みをさらに推進します。</p> <p>また、生徒指導の機能を重視した「わかる授業」の展開や、どの子ども安心していただける「居場所づくり」と互いに認め合える「絆づくり」等の積極的な生徒指導を、総合的かつ効果的に推進することで、いじめや生徒指導上の諸問題の未然防止に努めます。</p> <p>その他、浦安市いちょう学級の活用を推進し、不登校対策や教育相談活動の充実を図ります。さらに、児童生徒個々の課題に応じて、こども家庭支援センターや浦安警察署生活安全課との連携を図り、情報共有と指導体制の確立を行い、問題行動等の早期解消、児童虐待の防止・早期発見に努めます。</p>		
	参考指標		
	生徒指導対策会議の実施中学校区数 (9中学校区中)	H30年度	4中学校区
	4年度までに	7中学校区	
	6年度までに	9中学校区	
いじめの解消率(年度末)	H30年度	73.7%	
	4年度までに	80%	
	6年度までに	85%	
教育相談推進事業 /指導課 【再掲】1-3-2、13-2-4	令和元年度 実績		
	<p>全小・中学校に26名のスクールライフカウンセラーを配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見や相談に対応し、健やかな学校生活が送れるように支援しました。</p> <p>小学校では、スクールライフカウンセラーが週に4日間、全中学校と小学校2校では、スクールライフカウンセラーに加え、県が配置しているスクールカウンセラーが週1日勤務しています。そのため、9校では、カウンセラーが常駐している状態となっています。</p> <p>相談件数は、小学校で9,185件、中学校では3,770件でした。小学校では、性格・身体問題についての悩みが最も多く、3,239件、次いで対人関係が1,862件、不登校が1,166件、家庭・親子問題が1,034件、学業・進路が</p>		

	<p>805 件でした。小学校での好転解消件数は、6,210 件でした。</p> <p>中学校では、性格・身体問題についての悩みが最も多く、1,611 件、不登校が 735 件、対人関係が 400 件、家庭・親子問題が 337 件、学業・進路が 277 件でした。また、中学校での好転解消件数は 953 件でした。</p> <p>きめ細かく相談できる学校環境にすることで、虐待の早期発見、いじめや不登校についての対策・未然防止にも役立っています。特に、家庭環境との関連が深い相談に対しては、こども家庭支援センターやいちょう学級、スクールソーシャルワーカー等と連携し対応しています。</p>		
	今後の方向性		
	<p>教育相談推進事業については、スクールライフカウンセラーを全小・中学校に各 1 名配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見、相談、解消のために適切な援助・助言を継続していきます。</p> <p>また、児童生徒や家庭の悩みについての保護者からの相談に対しても、カウンセリングを継続していきます。</p>		
	参考指標		
	「浦安市小・中学生生活実態調査」の「学校に行くのは楽しいですか」の質問に対する否定的な回答の割合	H30 年度	小 9.8% 中 8.3%
		4 年度までに	小 9% 中 7.9%
		6 年度までに	小 8.8% 中 7.7%
<p>小中連携・一貫教育の推進 /指導課 【再掲】 1-1-1、4-2-1</p>	令和元年度 実績		
	<p>浦安市小中連携・一貫教育推進会議を開催し、「学びをつなぐ『カリキュラムの指針』」「小学校外国語活動への取組」「教職員による相互の保育・授業参観」「小学校高学年での一部教科担任制の実施」「園児・児童生徒の交流」等について、各中学校区や各学校の実態及び支援方法等を検討し、今後の効果的な推進のための見直しを行いました。</p> <p>また、各種研修会や学校訪問などを通して、「カリキュラムの指針」等の活用について指導・助言しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>令和 3 年 4 月の中学校での新学習指導要領の全面実施にあわせて、児童生徒の学びをつなぐ「浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムの指針」の見直しを行い、改訂版を令和 2 年 12 月までに作成します。各種研修会や学校訪問を通じて同指針の一層の活用について助言・指導するとともに、各種調査等の結果からその効果を検証し、各研修会や会議等で周知していきます。</p>		
	参考指標		
	「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「日頃の授業で学びの系統性や連続性を意識しているか」に「とても心がけている」と回答した教員の割合	H30 年度	31.5%
		4 年度までに	50%
		6 年度までに	70%

2-2 情操を豊かにする教育の推進

2-2-1 情操教育の推進

事業名・担当部署			
文化・芸術活動体験の推進 /指導課・教育研究センター	令和元年度 実績		
	<p>【指導課】 小学校対象の「こころの劇場」、小・中学校対象の「音楽鑑賞教室」及び「音楽会」を開催し芸術活動体験を推進し豊かな情操の育成を図りました。</p> <p>【教育研究センター】 交流と個々の伸長を図るため、はっぴい発表会を11月9日（土）に文化会館大ホールで実施しました。参加者は184名（昨年度は167名）、参観者は1,371名（昨年度は1,315名）で、昨年度より参観者が50名以上増えました。各学級とも、学習の成果を生かした特色のある発表が多く、県立特別支援学校の児童が居住地校交流の一環で参加したり、交流学級の児童が歌を歌ったり、日頃から計画的に取り組んでいる交流及び共同学習の成果を発表している学校もありました。中学校に関しては、複数の学校が合同でソーラン節を披露し、迫力ある発表となりました。</p> <p>また、今年度、初めて浦安市の手話通訳者の派遣を依頼しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【指導課】 文化・芸術活動体験の推進について、令和2年度は「こころの劇場」「音楽鑑賞教室」「小・中学校音楽会」が新型コロナウイルス感染症により中止となりました。令和3年度は、劇団四季による「こころの劇場」は既に中止が決定しています。千葉交響楽団による「音楽鑑賞教室」は実施し、プロによる優れた芸術にふれることで豊かな感性を育むとともに、「小・中学校音楽会」では日頃の文化活動の成果を発表し、文化・芸術体験の推進を図っていきます。</p> <p>【教育研究センター】 はっぴい発表会については、今後も日頃の学習活動を生かした発表、他校の発表の鑑賞を通して、児童生徒の個々の能力の伸長を図っていきます。</p> <p>また、この発表会を通して、地域社会の理解や共感の輪を広げ、特別支援学級の児童生徒の交流を深める場となるよう令和2年度浦安市特別支援教育研究連盟の会議にて確認します。</p>		
	参考指標		
部活動推進事業 /保健体育安全課 【再掲】 3-1-1、6-1-1、13-1-1	令和元年度 実績		
	<p>部活動指導者を小学校15校に60名、中学校9校に126名派遣することにより、児童生徒の技能の向上を図ることができました。</p> <p>浦安市部活動の在り方検討委員会を2回開催し、本市ガイドライン（改訂</p>		

	版)の策定等を行いました。		
	今後の方向性		
	<p>部活動推進事業については、心豊かでたくましい児童生徒を育成するため、市民スポーツ課やスポーツ関係団体と連携して外部指導員の確保に努めるなど、部活動の強化を図ります。</p> <p>また、平成30年度に策定した「安全で適切な部活動運営の指針(改訂版)」をもとに、今後の部活動の在り方及び学校職員としての部活動指導員の導入について検討を進めます。</p>		
	参考指標		
	部活動指導者派遣事業等の実施継続	H30年度	実施中
4年度までに		継続	
6年度までに		継続	
<p>ふるさと浦安作品展 /郷土博物館 【再掲】1-2-2、5-1-1、 10-3-2</p>	令和元年度 実績		
	<p>「ふるさと浦安」に関する作品制作や研究により、ふるさとを愛する気持ちを育てるため、作品展を開催しました。小学生376点、中学生1,333点の合計1,709作品の出展がありました。16日間で4,230名の入場者がありました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>ふるさと浦安作品展については、郷土博物館活用推進委員会をはじめ、各学校と連携し、内容の充実・参加の促進に努めていきます。</p> <p>また、浦安に関する理解を図ることを目的として開催する企画展「もっと知りたいふるさと浦安」と作品制作や研究をサポートする「ふるさと浦安相談会」を充実させ、児童生徒が主体的な学び、浦安の理解を深め、郷土愛を育んでいきます。</p>		
	参考指標		
	市内全児童生徒数に対する、作品展参加人数の割合	H30年度	8.5%
		4年度までに	10%
6年度までに		12%	
奨励賞以上の作品の内容のうち、市民生活の進歩や発展に向けた考えが表現されている作品の割合	H30年度	18%	
	4年度までに	30%	
	6年度までに	50%	
<p>浦安市子ども読書活動推進事業 /指導課・中央図書館 【再掲】1-4-2、4-2-1、 8-2-3</p>	令和元年度 実績		
	<p>【指導課】</p> <p>全小・中学校に26名の司書を配置するとともに、読書活動推進と図書室利用の促進を図りました。調べ学習や読書活動による図書館の利用時間は、市内全小・中学校を合わせて、年間10,009時間、館外での図書資料利用冊数は584,631冊と、各校の図書資料が有効に活用されています。</p> <p>また、平成31年度の浦安市学力調査の生活行動・学習活動調査によると、本を読んでいる児童生徒は、7割を超えていました。</p>		

	<p>【中央図書館】</p> <p>園や小学校に出向いて行う読み聞かせ等は、年間で 683 回、延べ 15,542 名の子どもたちに実施しました。図書館職員が出向くことで、子どもたちが図書館に親しみを感じ、来館者が増えています。</p> <p>また、団体貸出による、学校図書館等への資料の援助を行いました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【指導課、中央図書館】</p> <p>浦安市子ども読書活動推進事業については、「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」を9月に策定する予定です。これに基づき、今後もより一層小・中学校の学校図書館の環境整備と図書資料の充実や学校司書の資質向上に努めます。</p> <p>また、中央図書館と学校図書館の連携を推進し、様々な図書資料から情報を得て活用できる子どもたちの育成を目指します。</p>		
	参考指標		
	幼稚園・認定こども園・保育園・小学校に出向き、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングを実施した回数	H30 年度 4 年度までに 6 年度までに	761 回 780 回 800 回
<p>ボランティア活動推進事業 /指導課</p> <p>【再掲】 2-1-1、4-1-1、5-1-1、6-1-2</p>	令和元年度 実績		
	<p>学校訪問等を通じて、地域行事への参加等、ボランティア活動推進の指導・助言を行いました。小・中学校の児童生徒が、地域社会の一員として、清掃活動を行ったり、吹奏楽部や合唱部の児童生徒が地域の行事等で演奏をしたりすることを通して、豊かな心を育みました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>ボランティア活動推進事業については、総合的な学習の時間や道徳教育、キャリア教育等の取り組み、学校行事等を通して実施していきます。</p>		
	参考指標		
小・中学校生活実態調査で「地域の活動に参加している」に「とてもしている」「まあまあしている」と回答した児童生徒の割合	H30 年度 4 年度までに 6 年度までに	小 67.1% 中 53.8% 小 70% 中 55% 小 72% 中 58%	
<p>児童サービス事業 /中央図書館</p> <p>【再掲】 7-3-3、8-2-3</p>	令和元年度 実績		
	<p>図書館全体の年間貸出数は 1,394,341 点で、そのうち児童書は 299,517 点を貸出しました。</p> <p>また、幼稚園・認定子ども園・保育園・小学校において、15,542 名の子どもたちに読み聞かせ等を行いました。年1回の推薦図書リストの発行、小学校および中学校の新1年生への図書館利用案内の配布を行いました。</p>		

	今後の方向性		
	園、小・中学校と連携しながら、児童に対するサービスを推進します。中央図書館・各分館で借りた図書の記録を印字することができる読書通帳機を導入して、児童の図書館利用の推進を図ります。		
	参考指標		
	児童書の貸し出し冊数	H30 年度	367,898 冊
4 年度までに		420,000 冊	
6 年度までに		500,000 冊	
児童集会事業 /中央図書館 【再掲】7-3-3、8-1-2、 8-1-3、8-2-3	令和元年度 実績		
	中央図書館大規模改修工事休館中は、分館において「えほんのじかん」や「としょかんのちいさなおたのしみ会」等を開催し、3,319 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子どもたちや、子どもに関わる大人たちに読書の大切さを伝える集会事業を実施し、子どもたちの読書活動を推進します。		
	参考指標		
「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「図書館クラブ」など、児童集会事業への参加者数	H30 年度	5,653 人	
	4 年度までに	6,000 人	
	6 年度までに	6,500 人	
ハンディキャップサービス事業 /中央図書館 【再掲】1-3-1、7-3-3	令和元年度 実績		
	図書館への来館が困難な方への宅配サービスを 284 件実施したほか、活字資料をそのままの形では利用できない利用者向けの資料を作成しました。		
	今後の方向性		
	活字の図書を読むことが難しい方のための録音資料等の製作や、対面朗読及び宅配、入院している方のための病院サービス等を継続していきます。 また、製作技術の維持向上のため、令和 2 年度に製作協力者の養成講習会を実施します。		
	参考指標		
***	H30 年度	***	
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
ふれあい体験事業 /児童センター	令和元年度 実績		
	小学校 5、6 年生から中学生、高校生世代を対象に夏休みに 7 回実施しました。まず助産師から「命の大切さ」、妊娠出産、育児に関する正しい知識についてご指導いただき、その後児童センターの子育て支援事業「赤ちゃんサロン」に参加して赤ちゃんに触れ合い、子育て中の母親から話を聞くことで将来の自分について考える機会を提供しました。合計 51 名の参加がありました。		
	今後の方向性		

	少子化対策基金の終了に伴い、助産師を招かず、職員のみで事業を行い、かつ1回の参加人数を15人から5人に減らし、開催期間を延ばすことや、対象年齢を広げることでより参加しやすく設定します。		
	参考指標		
	赤ちゃんとの触れ合い体験の実施回数	H30年度	7回
		4年度までに	継続
6年度までに	継続		
交通公園動物運営事業 /交通公園	令和元年度 実績		
	小学生以下の子どもたちを対象に、動物愛護精神の育成や情操教育の一助とするために、動物の展示や動物とのふれあいを実施しました。動物ふれあいの利用者数は、41,338人でした。		
	今後の方向性		
	交通公園動物運営事業では、モルモットやポケットモンキーのえさやり、ポニー乗馬及びヤギ・カンガルー・カピバラ・魚類・爬虫類などの展示をすることにより、情緒豊かな優しい心を育むための手助けをします。		
	参考指標		
	動物との触れ合い体験の参加者数	H30年度	46,622人
4年度までに		47,000人	
6年度までに		47,000人	

第3節 健やかな体（体）

3-1 体力の向上と健康・安全教育の推進

3-1-1 体力向上の推進

事業名・担当部署			
体力向上推進事業 /保健体育安全課 【再掲】13-1-1	令和元年度 実績		
	体力向上推進校として小学校4校、中学校2校を指定しました。各学校がそれぞれの体力向上推進計画に沿った取り組みを実施しました。推進校との情報共有を行うことで、さらに指導法の工夫改善に努めることができました。		
	今後の方向性		
	体力向上推進事業については、引き続き体力向上推進校の指定を行い、学校体育に係る研究を推進して、各学校間の情報共有を密にし、各小・中学校の児童生徒の一層の体力の向上を図ります。		
	参考指標		
	新体力テストにおける、各種目の全国平均を上回る割合（達成率） （小学校学年数6、中学校学年数3、男女別、種目数8）	H30年度	小45.8% 中54.1%
4年度までに		小60.0% 中60.0%	
6年度までに		小80.0%	

			中 80.0%
部活動推進事業 /保健体育安全課 【再掲】2-2-1、6-1-1、 13-1-1	令和元年度 実績		
	部活動指導者を小学校 15 校に 60 名、中学校 9 校に 126 名派遣することにより、児童生徒の技能の向上を図ることができました。 浦安市部活動の在り方検討委員会を 2 回開催し、本市ガイドライン（改訂版）の策定等を行いました。		
	今後の方向性		
	部活動推進事業については、心豊かでたくましい児童生徒を育成するため、市民スポーツ課やスポーツ関係団体と連携して外部指導員の確保に努めるなど、部活動の強化を図ります。 また、平成 30 年度に策定した「安全で適切な部活動運営の指針（改訂版）」をもとに、今後の部活動の在り方及び学校職員としての部活動指導員の導入について検討を進めます。		
	参考指標		
	部活動指導者派遣事業等の実施継続	H30 年度 4 年度までに 6 年度までに	実施中 継続 継続
浦安スポーツフェア /市民スポーツ課 【再掲】9-1-1、9-1-3	令和元年度 実績		
	台風 19 号の影響で中止となりました。		
	今後の方向性		
	浦安スポーツフェアについては、延期となった東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技種目を取り入れるなど、機運の醸成に努めながら、スポーツの振興と市民相互の親睦を図ります。		
	参考指標		
	浦安スポーツフェアでの体験者数	H30 年度 4 年度までに 6 年度までに	12,674 人 — 13,000 人
東京ベイ浦安シティマラソン /市民スポーツ課 【再掲】9-1-1、9-1-2	令和元年度 実績		
	東京ベイ浦安シティマラソンについては、3 km、10km、ハーフの部を実施しました。 7,176 名の方々にエントリーいただき、6,699 名が出走しました。ハーフの部では、シンボルロード沿いの学校及び商業施設や居住地に対する影響が少ないコースとするため、一部コースを変更しました。 また、ゲストランナーとして猫ひろし氏を招へいするなど、多くの方々に楽しんでいただき、スポーツの振興、体力づくりのきっかけとすることができました。		
	今後の方向性		

	<p>主会場の装飾を含め、参加者や観客の満足度を更に高めるとともに、コース沿道の住民や商業施設を巻き込んで、沿道を盛り上げるなど、市民に親しんでもらえる大会となるよう検討していきます。</p> <p>また、エントリー条件の見直し、スタート時の安全性の確保や棄権者の対応方法など、より成熟した大会となるよう、引き続き、検討していきます。</p>		
	参考指標		
	東京ベイ浦安シティマラソンにエントリーした人の当日参加率	H30 年度	88.8%
		4 年度までに	—
6 年度までに		90%以上	

3-1-2 健康・安全教育の推進

事業名・担当部署			
保健教育の充実 /保健体育安全課	令和元年度 実績		
	保健教育の充実に向け、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・各専門家等との連携を図りました。いのちの教育を推進し、市内小・中学校にて専門家の講話により、児童生徒が「いのち」や自分自身を大切にする意識の向上を図りました。(23 校実施。臨時休業により、3 校未実施)		
	今後の方向性		
	発達段階に応じた性と生命に関わる講話を行うことで、将来に向けての「いのち」や自分自身を大切にする意識の向上・受容を促せるように引き続き実施していきます。		
	参考指標		
	いのちの教育を実施している小・中学校数 (26 校中)	H30 年度	25 校
		4 年度までに	26 校
6 年度までに		26 校	
学校保健委員会を実施している小・中学校数 (26 校中)	H30 年度	26 校	
	4 年度までに	26 校	
	6 年度までに	26 校	
食育の推進 /学校給食センター	令和元年度 実績		
	栄養教諭及び学校栄養職員が、学校と連携して、子どもたちの発達段階に応じた食育のサポートと授業を行いました。(実績：小学校 4 校 5 回/中学校 1 校 3 回)		
	今後の方向性		
	食育の推進については、各学校が主体的に学校給食を活用した食育の促進が図れるよう、引き続き栄養教諭等が学校と連携して食に関する学習支援に取り組みます。		
	参考指標		
	栄養教諭を活用した食育に関する授業を実施している小・中学校数 (26 校中)	H30 年度	11 校(小 10・中 1)

		4年度までに	14校(小 12・中2)
		6年度までに	17校(小 14・中3)
交通事故防止対策の充実 /保健体育安全課・市民安全課 【再掲】6-1-3、13-1-3	令和元年度 実績		
	<p>【保健体育安全課】</p> <p>交通整理員を通学路の交差点9か所に14名配置しました。小学校1年生対象の交通安全教室を17回、小学校3年生対象の自転車交通安全教室を17回実施しました。通学路の安全確保のため、通学路検討会を2回実施しました。</p> <p>また、小学校新1年生に黄色いワッペン及びランドセルカバーを配付し、交通事故の防止を図りました。</p> <p>【市民安全課】</p> <p>警察等と連携し、小学1年生対象の交通安全教室と小学3年生対象の自転車交通安全教室を17校で実施しました。</p> <p>また、入船中学校では、VRゴーグル・自転車シミュレータを活用した自転車交通安全教室を実施しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【保健体育安全課】</p> <p>交通事故防止対策の充実については、通学路の安全対策として、引き続き、交通安全上配慮を要する交差点に交通整理員を配置するとともに、市関係各課等による通学路検討会及び合同安全点検を実施し、通学路上の改善を要する個所について状況に応じ安全対策を講じていきます。</p> <p>また、警察や関係機関等と連携した交通安全教室や自転車交通安全教室を開催し、交通安全教育の充実を図ります。</p> <p>さらに、児童生徒が危険予知、危険回避能力を身につけることができるように、児童生徒による安全マップづくりを推進します。</p> <p>【市民安全課】</p> <p>警察や関係機関等と連携した交通安全教室や自転車交通安全教室を引き続き実施し、児童生徒の交通事故防止に努めます。</p>		
	参考指標		
	「小・中学生生活実態調査」で「交通安全のルールについて家族で話し合っている」と答えた児童生徒の割合	H30年度	26.6%
		4年度までに	28%
		6年度までに	30%
	交通整理員の配置	H30年度	9か所 14名
		4年度までに	道路状況の変化等に応じた配置を行う
6年度までに			

3-1-3 防災教育の推進

事業名・担当部署			
防災教育の推進 /保健体育安全課・指導課 【再掲】6-1-3、13-1-3	令和元年度 実績		
	【保健体育安全課、指導課】 児童生徒が浦安市の災害の特性に触れることができるよう、本市の災害の様子や復興への道のりの記録等の危機管理課等が作成した東日本大震災の資料等を素材として取り上げている「防災教育指導資料」の活用について周知するとともに、安全マップ作りや学校区合同避難訓練・引き渡し訓練などの実践的行動に結びつく防災教育を各学校で実施しました。		
	今後の方向性		
	【保健体育安全課、指導課】 防災教育の推進については、「防災教育指導資料」の改訂に向けて見直しを行うとともに、資料を活用した授業や各学校で実施されている火災や地震を想定した避難訓練の実施の徹底を図ることにより、実践的行動に結びつく防災教育を推進します。		
	参考指標		
	小・中学校生活実態調査で「地震や火災が起こった時の安全な行動について家庭で話し合っている」に「きちんとしている」「まあまあしている」と回答した児童生徒の割合	H30 年度	小 48.4% 中 50.6%
4 年度までに		小 70% 中 70%	
6 年度までに		小 80% 中 80%	
防災体験講座の開催 /公民館 【再掲】6-1-3	令和元年度 実績		
	防災対策講座を3月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。家庭教育学級や「コミュニティ・カレッジうらやす」などの継続事業では、家庭でできる防災対策などのテーマを取りあげており、日頃から防災意識の啓発に取り組みました。		
	今後の方向性		
	引き続き、市民の防災・減災意識を高める学習機会の充実を図ります。		
	参考指標		
	防災体験講座の募集人数に対する参加者数の割合	H30 年度	51%
4 年度までに		70%	
6 年度までに		100%	

第4節 豊かなかわり（参画・交流）

4-1 社会の一員としての資質の育成

4-1-1 体験活動・ボランティア活動の推進

事業名・担当部署			
「浦安市民の森」活用事業 /環境保全課 【再掲】4-1-2、8-2-1	令和元年度 実績		
	市内在住の小学生以上を対象に「森林と親しむ講座」を開催しました（前期：7/6～7、後期：10/16～17）。地元の方の指導を受けながら、参加者計39名（前期：23名、後期16名）に森林体験の機会を提供しました。		
	今後の方向性		
	江戸川の水源地である高崎市倉淵に設置した「浦安市民の森」における森林と親しむ講座などの自然体験活動を通して、江戸川の水を生活用水とする市民の自然への理解や環境に対する意識の高揚を図ります。 なお、令和2年度は感染症対策として、「森林と親しむ講座」の開催を見合わせる予定ですが、状況が改善次第、再開を見込んでいます。		
	参考指標		
	市内在住の小学生以上を対象とする「森林と親しむ講座」の実施回数	H30年度	年1回以上
4年度までに		年1回以上	
6年度までに		年1回以上	
小学5年生対象の林間学校での「浦安市民の森」の活用者数（17校中）	H30年度	4校250人	
	4年度までに	現状維持	
	6年度までに	現状維持	
ふるさとうらやす立志塾の開催 /指導課 【再掲】5-1-1、8-2-1	令和元年度 実績		
	各中学校長から推薦を受けた学校のリーダーとして活躍する意欲のある中学2年生27名が参加し、全4回6日間の研修を行いました。8月7～9日（2泊3日）実施した市内「うら・らめ〜る」での研修会では、市長をはじめ、様々な講師から、リーダーシップを発揮するうえで大切な考え方やスキルを学びました。 また、認知症を実体験するVR体験や境川リバーウォーク、投網舟乗船体験を行うことで、新たな浦安の魅力や今後の課題を発見し、ふるさとうらやすへの理解と愛着を深めるとともに、リーダーとしての自覚や資質能力を高めました。 平成23年度より開催しており平成31年度は9回目の開催となりました。		
	今後の方向性		
	ふるさとうらやす立志塾の開催については、各校のリーダーとしての資質・能力の向上及び21世紀を担うリーダーの育成に必要な研修内容となるよう、令和2年8月までに時期や方法の見直しを図り、将来を見据えたふるさと意識の醸成やリーダーとしての資質能力向上に資する研修にしていきます。		

	参考指標		
	塾生対象事後アンケートで、「地域の人々の関わりがもてるようになった」に「とてもそう思う」と回答した割合	H30年度	26%
		4年度までに	35%
		6年度までに	45%
キャリア教育の推進 /指導課 【再掲】1-4-5、8-2-1	令和元年度 実績		
	<p>キャリア教育研修会を年2回実施しました。第1回は講師を招へいし、キャリア教育の重要性・必要性について、第2回は指導課職員が令和2年度から始まる「キャリア・パスポート」の活用についての研修を行いました。研修の対象は、小中学校キャリア教育担当教員です。</p> <p>また、各小・中学校においては、中学校区ごとに、小・中学校の学びの連続性を意識したキャリア教育モデルプランに基づき、職業調べや職場見学、職場体験学習等を実施しました。多くの中学校において、2日間の日程で、市内の事業所を中心に、職場体験を実施しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>キャリア教育の推進については、中学校区ごとのモデルプランの見直しを行い、令和3年2月実施のキャリア教育研修会でとりまとめ、小・中学校の連携を図っていきます。</p>		
	参考指標		
	キャリア教育に関わる体験学習実施校（26校中）	H30年度	22校
		4年度までに	26校
6年度までに		26校	
消費生活出前講座 /消費生活センター	令和元年度 実績		
	<p>市内大学の学生や社会福祉協議会自治会市民団体などを対象に「ねずみ講をはじめとする詐欺等に対する注意喚起および対策」「悪徳商法やネットトラブル等に関する注意喚起及び対策」「悪質商法やネットトラブル等に関する諸注意」「高齢者向け消費者生活講座」「架空請求・不当請求」「電話で詐欺も含めた最近の高齢者への詐欺商法」等の内容で出前講座を9回実施し、延べ1,226人の参加がありました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>今後も消費者被害を未然に防ぐため、賢い消費者の資質の育成に取り組み、消費者教育の推進・支援を図ります。</p>		
	参考指標		
	児童生徒と保護者を対象に実施した出前講座の回数	H30年度	0回
		4年度までに	2回
6年度までに		3回	

ボランティヤ活動推進事業 /指導課 【再掲】2-1-1、2-2-1、 5-1-1、6-1-2	令和元年度 実績		
	学校訪問等を通じて、地域行事への参加等、ボランティヤ活動推進の指導・助言を行いました。小・中学校の児童生徒が、地域社会の一員として、清掃活動を行ったり、吹奏楽部や合唱部の児童生徒が地域の行事等で演奏をしたりすることを通して、豊かな心や社会の一員としての資質を育みました。		
	今後の方向性		
	ボランティヤ活動推進事業については、総合的な学習の時間や道徳教育、キャリア教育等の取り組み、学校行事等を通して実施していきます。		
	参考指標		
小・中学校生活実態調査で「地域の活動に参加している」に「とてもしている」「まあまあしている」と回答した児童生徒の割合	H30年度	小 67.1% 中 53.8%	
	4年度までに	小 70% 中 55%	
	6年度までに	小 72% 中 58%	
ジュニアリーダー研修会 /青少年課 【再掲】8-2-1、11- 1-1	令和元年度 実績		
	小学校4年生～6年生を対象に、行動力・受容力・表現力を身につけることを目的に研修を行いました。全8回の各種体験活動や交流活動を通じて、心豊かなリーダーの育成を図るプログラム内容で実施しました。令和元年度は40名が受講しました。		
	今後の方向性		
	令和2年度からは、リーダーチャレンジ講座として、青少年リーダー養成事業との一体的な運営を進めます。宿泊研修やレクリエーションを通して、集団生活において、豊かな心を持ったリーダーとなる青少年の育成を図ります。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
若者のための夏休みボランティヤ /協働推進課（現：市民参加推進課）	令和元年度 実績		
	市内在住・在勤・在学の中学生から20代までの方が、社会貢献活動について学べるよう、夏休みの期間に、市民活動団体から提示されたプログラムを体験する事業を実施しました。令和元年度は全37プログラム中、参加希望のあった34プログラムを実施し、延べ280名が参加しました。		
	今後の方向性		
若者のボランティヤなどの市民活動への理解を深めるため、今後も市内在住・在勤・在学の中学生から20代までを対象とし、積極的な参加、関わりができるよう、7月から9月の夏休み期間に実施していきます。			

	<p>なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。</p>		
	参考指標		
	ボランティアプログラム数	H30年度	37
		4年度までに	38
		6年度までに	39
「浦安市学生防犯委員会V5」による学生防犯ボランティア活動 /市民安全課	令和元年度 実績		
	「浦安市学生防犯委員会V5」による学生防犯ボランティア活動として防犯キャンペーン等の街頭活動を3回、定例会議を6回、また、自校での啓発活動（通年）を実施しました。		
	今後の方向性		
	防犯キャンペーン等の街頭活動や自校での啓発活動、定例会議の実施にあたり、引き続き支援を行います。		
	参考指標		
		防犯キャンペーン・啓発活動の回数	H30年度
	4年度までに		現状維持もしくは増
	6年度までに		現状維持もしくは増
青少年体験事業 /公民館 【再掲】8-2-1	令和元年度 実績		
	学校の長期休暇や休日を利用し、多様な体験・交流の場づくりとして、ものづくり体験や科学・環境学習、スポーツ体験など87事業、179回、延べ3,908名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	学校の長期休業日や週末等を利用した生活体験・自然体験など異年齢間での活動を、地域の団体や公民館サークル等の協力を得ながら実施し、広い視野を持った心身共に健全な青少年の育成を目指します。		
	参考指標		
		体験事業の募集人数に対する参加者の割合	H30年度
	4年度までに		70%
	6年度までに		100%
少年少女洋上研修事業 /青少年課 【再掲】8-2-1	令和元年度 実績		
	小学校6年生と中学生を対象に、あらためて自分を見つめ直し、新しい自分をつくることを目的に、平素体験することのない洋上での生活やラフティングやナイトハイク等の自然体験を通じた様々なグループワーク研修を行い、「人とのふれあい」や「体験活動を通じたグループでの協力」などを経験し、学ぶ機会を提供しています。令和元年度は、8月22日～26日に北海道日高町などで実施し、98名の申し込みがあり、94名が参加しました。		
	今後の方向性		

	<p>少年少女洋上研修事業については、過去の参加者や対象者へのアンケート調査を実施した結果をもとに、令和2年度における実行委員会において、対象年齢の見直しや内容の充実の検討を行い、研修効果の向上を図っていきます。</p>		
	参考指標		
	少年少女洋上研修への参加者数	H30年度	96人
4年度までに		108人	
6年度までに		128人	

4-1-2 環境教育の推進

事業名・担当部署	令和元年度 実績
<p>三番瀬を活用した環境学習の推進 /環境保全課・指導課・郷土博物館 【再掲】5-1-1、10-3-1</p>	<p>【環境保全課】 6月2日に三番瀬環境観察館を開館し、年間約15,000人の来館がありました。 三番瀬環境観察館では、三番瀬を観察する来館者に対し、生物の説明を行う等の来館者啓発を行い、また、干潟観察会や野鳥観察会等の講座を計63回実施し、環境学習の推進を行いました。 市民活動団体により、三番瀬の機能・役割を直接学ぶことを目的に実施されている、「浦安三番瀬クリーンアップ大作戦」（年1回、「うらやす三番瀬感謝祭」内で実施。参加約300名）や浦安三番瀬ミニクリーンアップ（月1回）等に対し、支援を行いました。</p> <p>【指導課】 三番瀬の干潟や郷土博物館のテーマ展示室「海とともに」を学習材料として活用を促し、干潟を利用した浦安の漁業についての学習をとおして、浦安の歴史や文化への理解を深めました。</p> <p>【郷土博物館】 市民団体と連携し、館外体験事業として野鳥観察会（28名参加）や干潟観察会（48名参加）を行いました。また、学芸員講座として「魚の体を調べてみよう」（10名参加）、「浦安の貝を見分けよう」（13名参加）、「海の日イベント 三番瀬の生き物タッチプール」（自由見学）等、間接的に三番瀬を活用する事業を実施しました。</p>
	今後の方向性
	<p>【環境保全課、指導課】 三番瀬環境観察館を拠点として、一般来館者への啓発を行うほか、三番瀬の自然を活用した学習プログラム等の企画運営により、市民等の環境に対する理解及び関心を深める機会の提供を行います。 市民の環境に対する理解及び関心を深めるため、市の施策に併せて、引き続き、市民活動団体による環境学習活動等への支援を行います。</p> <p>【郷土博物館】</p>

	<p>三番瀬を活用した環境学習の推進については、三番瀬環境観察館と連携し、今後も観察会等を実施し、身近な自然を知る機会を提供することで、ふるさと意識の高揚や自然を大切にすることを育んでいきます。</p>		
	参考指標		
	三番瀬環境観察館を利用した事業数	H30 年度	—
		4 年度までに	3
6 年度までに		3	
<p>環境アドバイザー制度等を活用した環境学習の推進 /環境保全課</p>	令和元年度 実績		
	<p>市内小学校や保育園、児童育成クラブに対し、環境学習アドバイザーによる環境プログラムを 8 回実施し、講義や体験学習を通して環境学習の充実を図りました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>環境学習アドバイザーによる環境学習プログラムを 20 回予定しており、例年通り小学校や保育園等へ派遣するほか、新たな団体への派遣等、見直しを図ります。</p>		
	参考指標		
	環境学習アドバイザーによる講座のプログラム数	H30 年度	16
4 年度までに		18	
6 年度までに		20	
<p>「浦安市民の森」活用事業 /環境保全課 【再掲】 4-1-1、8-2-1</p>	令和元年度 実績		
	<p>市内在住の小学生以上を対象に「森林と親しむ講座」を開催しました（前期：7/6～7、後期：10/16～17）。地元の方の指導を受けながら、参加者計 39 名（前期：23 名、後期 16 名）に森林体験の機会を提供しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>江戸川の水源地である高崎市倉渕に設置した「浦安市民の森」における森林と親しむ講座などの自然体験活動を通して、江戸川の水を生活用水とする市民の自然への理解や環境に対する意識の高揚を図ります。</p> <p>なお、令和 2 年度は感染症対策として、「森林と親しむ講座」の開催を見合わせる予定ですが、状況が改善次第、再開を見込んでいます。</p>		
	参考指標		
	市内在住の小学生以上を対象とする「森林と親しむ講座」の実施回数	H30 年度	年 1 回以上
4 年度までに		年 1 回以上	
6 年度までに		年 1 回以上	
小学 5 年生対象の林間学校での「浦安市民の森」の活用者数（17 校中）	H30 年度	4 校 250 人	
	4 年度までに	現状維持	
	6 年度までに	現状維持	

みどりのネットワーク事業 /みどり公園課	令和元年度 実績		
	市内の緑化活動支援団体や市民と協働で緑化の知識や技術の交流などを図っています。また、市民や公共施設にみどりのカーテンの普及に努めて、緑化推進と省エネにも寄与しています。		
	今後の方向性		
	協働提案制度から始まり、情報交換や活動の紹介の広報などの場としてホームページを運用するなど、緑化に携わる団体・個人誰もが参加できる広範なネットワークを形成します。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	現状維持	
	6年度までに	現状維持	
生命（いのち）と育ちの森プロジェクト /みどり公園課	令和元年度 実績		
	11月11日から13日にかけて、入船小学校やたかし保育園などの4施設の230人が日の出海岸沿い緑道（墓地公園前）で約1,100本の苗を植樹しました。		
	今後の方向性		
	令和3年度までに市の沿岸沿いに約1,300本を植樹する予定です。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	

4-2 豊かなかわりとコミュニケーション能力の向上

4-2-1 教育活動を通じた豊かな人間関係づくり

事業名・担当部署	
異学年交流活動の充実 /指導課	令和元年度 実績
	学校・園訪問や研修会を通じて、小・中学校や園の異学年交流の取り組みについて、指導や支援を行いました。小学校17校、中学校9校、幼稚園・認定こども園14園において、校内、園内での異学年交流や幼保小中間での交流の充実を図りました。交流を行うことにより、上級生には自立の気持ちが芽生え、下級生は上級生の良いところを吸収しようとする姿が見られました。 また、園児については、就学に期待をもつことができました。
	今後の方向性
	異学年交流活動の充実については、学校訪問等を通じて、各小・中学校、幼・こども園の異学年交流活動の取り組み状況を把握し、啓発を進めることで、中学校区の特色をいかした多様な異学年交流活動の一層の充実を図ります。

	参考指標		
	異学年交流活動を計画的に実施している 小・中学校数（26 校中）	H30 年度	26 校
		4 年度までに	26 校
		6 年度までに	26 校
豊かな人間関係づくりの推進 /指導課	令和元年度 実績		
	県教育委員会が作成した「豊かな人間関係づくり実践プログラム」を各校に周知しました。		
	今後の方向性		
	豊かな人間関係づくりの推進については、県教育委員会が作成した「豊かな人間関係づくり実践プログラム」を使用した授業を推進したり、人権担当教員研修会等で活動例を紹介したりして、豊かな人間関係づくりに必要な能力の育成を図ります。		
	参考指標		
	千葉県教育委員会が作成した「人間関係づくりプログラム」を使って授業を実施した 小・中学校数（26 校中）	H30 年度	12 校
		4 年度までに	26 校
6 年度までに		26 校	
浦安市子ども読書活動推進事業 /指導課・中央図書館 【再掲】1-4-2、2-2-1、 8-2-3	令和元年度 実績		
	<p>【指導課】</p> <p>全小・中学校に 26 名の司書を配置するとともに、読書活動推進と図書室利用の促進を図りました。調べ学習や読書活動による図書館の利用時間は、市内全小・中学校を合わせて、年間 10,009 時間、館外での図書資料利用冊数は 584,631 冊と、各校の図書資料が有効に活用されています。</p> <p>また、平成 31 年度の浦安市学力調査の生活行動・学習活動調査によると、本を読んでいる児童生徒は、7 割を超えていました。</p> <p>【中央図書館】</p> <p>園や小学校に出向いて行う読み聞かせ等は、年間で 683 回、延べ 15,542 名の子どもたちに実施しました。図書館職員が出向くことで、子どもたちが図書館に親しみを感じ、来館者が増えています。</p> <p>また、団体貸出による、学校図書館等への資料の援助を行いました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【指導課、中央図書館】</p> <p>浦安市子ども読書活動推進事業については、「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」を 9 月に策定する予定です。これに基づき、今後もより一層小・中学校の学校図書館の環境整備と図書資料の充実や学校司書の資質向上に努めます。</p> <p>また、中央図書館と学校図書館の連携を推進し、様々な図書資料から情報を得て活用できる子どもたちの育成を目指します。</p>		
	参考指標		
	幼稚園・認定こども園・保育園・小学校に	H30 年度	761 回

	出向き、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングを実施した回数	4年度までに	780回
		6年度までに	800回
幼・保・小・中連携教育の推進 /指導課・保育幼稚園課 【再掲】1-1-2	令和元年度 実績		
	【指導課・保育幼稚園課】 平成28年度に作成した「浦安市幼・保・小連携アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」のリーフレットを活用し、各学校、園で接続期カリキュラムを作成し、学校種間連携教育を推進しました。 また、浦安市子ども作品展を活用し、学びの連続性を大切にした発達段階に応じた表現や鑑賞ができました。中学校区において、園児と児童生徒との交流や教師間の情報交換を行いました。		
	今後の方向性		
	【指導課・保育幼稚園課】 幼・保・小・中連携教育の推進については、学校訪問や各研修会、会議等を通じて周知し、それぞれの子どもの発達段階に応じて、中学校区ごとの連携教育を推進します。		
	参考指標		
	「浦安市小・中学生生活実態調査」で、中学校生活について不安や心配に感じていることが「特にない」と答えた小学校6年生の割合	H30年度	19.1%
		4年度までに	21%
6年度までに		23%以上	
「浦安市小・中学生生活実態調査」で、幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について心配していたことは「特になかった」と答えた小学校1年生の割合	H30年度	39.5%	
	4年度までに	41%	
	6年度までに	43%	
中・高連携教育の推進 /指導課 【再掲】1-1-2	令和元年度 実績		
	県事業「小・中・高連携の特別授業」について、市立各小・中学校に周知し、連携を推進しました。東海大浦安高校・市立見明川中学校では、高校生が数学の補習をボランティアで行うなど、生徒同士の交流をはかりました。		
	今後の方向性		
	中・高連携教育の推進については、市内の高等学校との連携を継続していきます。また、前年度の実績について周知し、県の「小・中・高連携の特別授業」事業等をとおして、中・高の連携を一層推進します。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
		4年度までに	***
6年度までに		***	
小中連携・一貫教育の推進 /指導課 【再掲】1-1-1、2-1-2	令和元年度 実績		
	浦安市小中連携・一貫教育推進会議を開催し、「学びをつなぐ『カリキュラムの指針』」「小学校外国語活動への取組」「教職員による相互の保育・授		

	<p>業参観」「小学校高学年での一部教科担任制の実施」「園児・児童・生徒の交流」等について、各中学校区や各学校の実態及び支援方法等を検討し、今後の効果的な推進のための見直しを行いました。</p> <p>また、各種研修会や学校訪問などを通して、「カリキュラムの指針」等の活用について指導・助言しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>令和3年4月の中学校での新学習指導要領の全面実施にあわせて、児童生徒の学びをつなぐ「浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムの指針」の見直しを行い、改訂版を令和2年12月までに作成します。各種研修会や学校訪問を通じて同指針の一層の活用について助言・指導するとともに、各種調査等の結果からその効果を検証し、各研修会や会議等で周知していきます。</p>		
	参考指標		
	「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「日頃の授業で学びの系統性や連続性を意識しているか」に「とても心がけている」と回答した教員の割合	H30年度	31.5%
	4年度までに	50%	
	6年度までに	70%	
<p>道徳教育・人権教育の推進 /指導課 【再掲】2-1-1</p>	令和元年度 実績		
	<p>「特別の教科道徳」の全面実施に向け、新学習指導要領を踏まえた道徳教育を推進するため、年2回研修会を開催しました。</p> <p>年1回の人権教育研修会を行い、子どもへの支援を中心とした今日的課題に対する人権意識の向上を図りました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>道徳教育・人権教育の推進については、道徳の教科化に伴い、その趣旨や評価等に関する周知、教員の指導力向上のための実践的な研修を行うとともに、学校訪問を通じて道徳の授業について助言を行います。</p> <p>人権教育では、研修会を通じて児童生徒や教職員の人権意識を高める研修を行っていきます。</p>		
	参考指標		
「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「道徳教育・人権教育に満足している」と答えた保護者の割合	H30年度	64%	
	4年度までに	67%	
	6年度までに	70%	

4-2-2 交流及び協働を通じた豊かなかわり

事業名・担当部署		
<p>福祉教育の推進 /指導課 【再掲】8-2-1</p>	令和元年度 実績	
	<p>【指導課】</p> <p>福祉に関する理解を深めるために、8月に富岡中学校区で小・中・高連携教育の推進のための勉強会を行いました。</p>	
	今後の方向性	

	<p>【指導課】</p> <p>福祉教育の推進については、学校と地域が連携・協働し、福祉教育を推進できるよう、学校訪問や各研修会を通じて中学校区の工夫を凝らした取り組みを紹介し、情報を共有しながら、地域の実情に合った福祉教育の推進を図ります。</p>		
	参考指標		
	年間教育活動に「福祉教育」を位置付け、福祉に関する体験学習を計画的に実施している小・中学校数（26校中）	H30年度	26校
		4年度までに	26校
		6年度までに	26校
<p>まなびサポート事業の推進 /教育研究センター・学務課 【再掲】 1-3-1、13-1-2</p>	令和元年度 実績		
	<p>【教育研究センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなびサポートチーム員（医師2名、スーパーバイザー1名、指導主事等4名、臨床心理士4名、言語聴覚士2名、理学療法士、作業療法士、特別支援教育指導員各1名）により、学校・保護者からの相談や、特別な教育的支援が必要な子どもの就学に関する相談・助言を行いました。 ・令和元年度の保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校等の保護者からの個別相談は223件。その内、就学に向けた相談は、126件でした。また、園・学校等への訪問による相談は、493件実施しました。 ・学校支援として、特別支援教育の体制整備、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成や活用、合理的配慮の提供に向けた相談など、一人一人の教育的ニーズに応じた支援が実施できるよう学校への指導・助言を行いました。 ・教職員育成として、全校体制で取り組む特別支援教育の実現に向けてのそれぞれの役割やニーズに応じた研修会を（24回）実施し、専門性や指導力の向上を図りました。また、心身障がい児支援員を16名配置し、「障がいや子どもの状態に応じた支援について」心身障がい児補助教員と合同の研修会を行い、効果的な支援の充実を図りました。さらに、「どの子どもわかる授業づくり」や「どの子ども安心して居場所のある学級づくり」、「計画的な交流及び共同学習」ができるよう指導・助言を行うとともに「実践マニュアル」等を作成し学校への周知を図りました。 <p>市立小・中学校に在籍する医療的ケアを必要とする子ども2名に対し、市の委託を受けた訪問看護ステーションの看護師が巡回訪問をしてケアを実施しました。</p> <p>【学務課】</p> <p>延べ122名の心身障がい児補助教員を全小・中学校に配置し、特別支援教育を推進しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【教育研究センター】</p> <p>特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握し、能力や可能性を最大限に伸ばせるよう個に応</p>		

	<p>じた適切で多様な学びの場の充実を図ります。</p> <p>令和2年度には特別支援学級全校設置に向け、未設置校の内1校に特別支援学級を開級します。</p> <p>通級指導教室では巡回による指導の拡充に向け、巡回校をさらに1校増やします。</p> <p>特別支援教育に関する専門性を育成するための研修会を新たに実施します。また、連続した切れ目ない支援の充実を図るため、こども発達センターと計画的に打ち合わせを行い、教育と福祉の連携に努めます。</p> <p>【学務課】</p> <p>個に応じた指導の一層の充実のため、令和2年度に心身障がい児補助教員の役割等を見直し、令和3年度より、新たな枠組みで実施していきます。</p>							
	参考指標							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="512 936 1098 884" rowspan="3" style="vertical-align: middle;">個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成率</td> <td data-bbox="1098 936 1329 884" style="text-align: center;">H30年度</td> <td data-bbox="1329 936 1501 884" style="text-align: center;">96%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1098 884 1329 936" style="text-align: center;">4年度までに</td> <td data-bbox="1329 884 1501 936" style="text-align: center;">100%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1098 936 1329 1108" style="text-align: center;">6年度までに</td> <td data-bbox="1329 936 1501 1108" style="text-align: center;">100%</td> </tr> </table>	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成率	H30年度	96%	4年度までに	100%	6年度までに	100%
個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成率	H30年度		96%					
	4年度までに		100%					
	6年度までに	100%						
<p>地域とともに歩む学校づくり 推進事業</p> <p>/教育政策課・指導課・生涯学習課・公民館</p> <p>【再掲】 6-1-1、8-2-2、11-1-1</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度 実績</p> <p>【教育政策課】</p> <p>地域と学校の連携及び協働体制を推進するため、小・中学校長から推薦された小学校28名、中学校16名、合計44名に学校支援コーディネーターを委嘱し、市内全小・中学校に配置しました。コーディネーターを中心に、地域と学校との協働活動を推進し、全小・中学校で延べ27,000人の地域ボランティアが学校の教育活動に参画しました。学校支援コーディネーターの役割や中学校区の活動、先進事例の紹介等を内容とする研修会（交流会）を年3回開催（延べ140人が参加）し、コーディネーター同士の連携が深まり、今後の活動に資する研修とすることができました。</p> <p>【指導課】</p> <p>地域と学校の連携の一層の推進とキャリア教育の充実を図るため、地域内での職場体験先の確保など様々な場面で、学校支援コーディネーターを活用し、推進しました。</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>学校支援コーディネーターとの連携・協力を推進するため、青少年自立支援未来塾の事業説明の機会を設けたり、実際に各教室を見学する期間を設けたりするなど本事業の趣旨や取り組みに対する理解の深化に努めました。</p> <p>また、学校支援コーディネーターをはじめ、公民館、学校、大学など地域にある教育機関との連携を通して、英語教室21名、数学教室30名の地域の方々に放課後の学習支援に携わっていただくなど地域人材の活用を図りました。</p> <p>【公民館】</p> <p>男女共同参画センターと共催し、「”性別”って何だろう～見えない、見せないしんどさを抱える子どもに寄り添う～」を表題に、LGBTやジェン</p>							

	<p>ダーに関する講演会を行いました。生徒や職員、一般市民向けに対象を分け、3回の講演を実施し、延べ200名の聴講がありました。</p> <p>富岡公民館では「ランニング講座「美走塾」」を開催し、富岡小学校と見明川小学校の3年生を対象に、ランニングの基本を習得する講座を開催しました。(富岡小 119名、見明川小 110名) また、市内小学校と連携し、生徒が描いた絵画や書道作品の展示を行いました。</p>							
	今後の方向性							
	<p>【教育政策課、指導課】</p> <p>学校支援コーディネーターの全小・中学校への配置を継続するとともに、研修会や学校、公民館等との交流会を実施し、学校支援コーディネーターが地域とのネットワークを構築できるようにしていきます。中学校区を基本に、学校支援コーディネーターを中心とする地域と学校の協働体制を整えます。</p> <p>また、浦安市におけるコミュニティ・スクールのあり方を検討するため、令和2年度にコミュニティ・スクールのあり方検討委員会を設置します。地域、家庭、学校が連携、協働していくための仕組みや方法について検討、協議します。</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>学校支援コーディネーターの持つ学校支援ボランティアのネットワークを放課後の学習支援にも活用できるよう更なる連携・協力の推進を図ります。</p> <p>また、子どもの教育活動に携わる地域の様々な主体との信頼関係づくりに努めながら、学校における学習・体験活動への地域人材の活用を、公民館などの生涯学習施設・学校・家庭・地域などと連携・協力しながら推進します。</p> <p>【公民館】</p> <p>地域と学校の連携・協働活動を推進するため、学校との連携の下、公民館サークル等にその学習活動で培ったノウハウを還元できる機会の提供に努めます。</p>							
	参考指標							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="518 1556 1098 1697" rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">学校支援ボランティア活動に参加した延べ人数</td> <td data-bbox="1098 1556 1329 1601" style="text-align: center;">H30年度</td> <td data-bbox="1329 1556 1492 1601" style="text-align: center;">26,926人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1098 1601 1329 1646" style="text-align: center;">4年度までに</td> <td data-bbox="1329 1601 1492 1646" style="text-align: center;">27,500人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1098 1646 1329 1697" style="text-align: center;">6年度までに</td> <td data-bbox="1329 1646 1492 1697" style="text-align: center;">28,000人</td> </tr> </table>	学校支援ボランティア活動に参加した延べ人数	H30年度	26,926人	4年度までに	27,500人	6年度までに	28,000人
学校支援ボランティア活動に参加した延べ人数	H30年度		26,926人					
	4年度までに		27,500人					
	6年度までに	28,000人						
<p>青少年交流活動センター管理運営事業 /青少年課 【再掲】 8-2-1</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度 実績</p> <p>宿泊型研修施設である青少年交流活動センター（うら・らめ〜る）において、青少年の交流及び団体生活を通じて、青少年の健全な育成を図ることを目的に指定管理を行っています。令和元年度の延べ利用人数は 29,235 名となっています。</p> <p style="text-align: center;">今後の方向性</p>							

	<p>青少年交流活動センター管理運営事業については、指定管理者のもつノウハウを活用し、引き続き様々なジャンルの事業を行い、体験活動の推進と特色ある主催事業を展開していきます。</p>		
	参考指標		
	青少年交流活動センターの利用者数	H30 年度	31,923 人
		4 年度までに	34,500 人
		6 年度までに	35,500 人
	青少年交流活動センター利用者の満足度	H30 年度	98.7%
4 年度までに		95%以上	
6 年度までに		95%以上	
青少年館管理運営事業 /青少年課 【再掲】8-2-1	令和元年度 実績		
	<p>青少年の仲間づくりや青少年同士の交流を行える場及び青少年が自発的に学習、趣味等の活動が行える場を提供することにより、青少年の健全育成を図りました。開館日数は276日、小学生17,859名、中学生13,014名、高校生7,424名、23歳未満2,177名、その他2,030名、合計42,504名が利用しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>青少年館管理運営事業については、指定管理者の持つノウハウを活用し、引き続き様々なジャンルの事業や特色ある主催事業を展開し、青少年の居場所づくりに取り組み、青少年の健全育成を図っていきます。</p>		
	参考指標		
	青少年館の利用者数	H30 年度	48,534 人
4 年度までに		51,500 人	
6 年度までに		53,500 人	
青少年館利用者の満足度	H30 年度	85%	
	4 年度までに	95%以上	
	6 年度までに	95%以上	
青少年交流施設管理運営事業 /青少年課 【再掲】8-2-1	令和元年度 実績		
	<p>青少年を主体に幼児から高齢者まで、就学者・勤労者を問わず、どなたでも気軽に受講できる各種カルチャー教室を開催するとともに、施設内では、青少年が自由に集え、仲間たちと楽しく会話できる場所として、「青少年交流広場」を無料開放しました。青少年講座利用20,632名、貸室利用574名となりました。(一般利用者除く) 開催場所：新浦安カルチャープラザ内</p>		
	今後の方向性		
	<p>青少年交流施設管理運営事業については、指定管理者の持つノウハウを活用し、引き続き様々なジャンルの講座の実施や青少年の居場所づくりに取り組み、青少年の健全育成を図っていきます。</p>		

	参考指標		
	青少年交流施設の利用者数	H30 年度	32,316 人
		4 年度までに	33,124 人
		6 年度までに	33,932 人
	青少年交流施設利用者の満足度	H30 年度	—
		4 年度までに	95%以上
6 年度までに		95%以上	
少年の広場管理運営事業 /青少年課 【再掲】8-2-1	令和元年度 実績		
	<p>18 歳までを対象とした、今川にある市内で唯一の宿泊ができるキャンプ場です。市内の子どもたちの体験活動の促進につながり、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として設置しています。</p> <p>また、ボーイスカウトやガールスカウトなどの定期利用団体が存在し、70 団体、計 2,609 名の方が利用しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>少年の広場管理運営事業については、市内で唯一の宿泊ができるキャンプ場という特色を活かし、定期利用団体のみならず、市内の子どもたちの体験活動の促進につながるよう、今後も利用者拡大を図っていきます。</p>		
	参考指標		
	少年の広場の利用者数	H30 年度	2,983 人
		4 年度までに	3,200 人
		6 年度までに	3,300 人
少年の広場利用者の満足度	H30 年度	—	
	4 年度までに	95%以上	
	6 年度までに	95%以上	
こどもの広場運営事業 /青少年課	令和元年度 実績		
	<p>既製遊具を中心とした従来の公園とは異なり、子どもたちが自由な発想の中で、想像力を働かせ、冒険心を育み、自立性や社会性を高めることを目的として整備したものです。子どもたちが自由な発想で遊ぶことで、自立性や社会性を高めることと考えています。令和元年度の延べ利用人数は 39,525 名となっています。</p>		
	今後の方向性		
	<p>こどもの広場運営事業については、令和 2 年度から指定管理者が変更となりました。引き続き、利用者ニーズに沿った利用促進のための事業実施を進めるとともに、周知活動に取り組み、利用者の満足度をさらに向上できるよう運営していきます。</p>		
	参考指標		
	こどもの広場の利用者数	H30 年度	40,259 人
		4 年度までに	49,000 人
		6 年度までに	50,000 人

	こどもの広場利用者数の満足度	H30 年度	94%
		4 年度までに	95%以上
		6 年度までに	95%以上
放課後うらっこクラブ運営事業 /青少年課 【再掲】8-2-1、13-2-1	令和元年度 実績		
	放課後や週末などに子どもたちが安全な環境の中で、多様な活動ができるよう、全ての小学校において、児童育成クラブと放課後子ども教室を統合し、「放課後うらっこクラブ」として、一体的な運営を行いました。令和元年度の延べ利用人数は8,557名となっています。		
	今後の方向性		
	放課後うらっこクラブ運営事業については、利用者ニーズや「新・放課後子ども総合プラン」の状況・児童福祉及び教育分野における国の動向等をもとに、学校や地域と連携し、両事業の活動内容の充実を図るとともに、放課後の安全な居場所づくりに取り組み、児童の健全育成を図ります。		
	参考指標		
	放課後子ども教室の利用率（1日当たり放課後子ども教室利用者数/全校児童数）	H30 年度	5.8%
4 年度までに		10%	
6 年度までに		15%	
児童育成クラブ管理運営事業 /青少年課 【再掲】12-1-1	令和元年度 実績		
	市内 17 小学校地区児童育成クラブ（民間事業者：10 クラブ、NPO 法人：3、社会福祉法人：4 クラブ）で実施し、令和元年 5 月 1 日現在の入会児童数は 2,208 名でした。		
	今後の方向性		
	児童育成クラブ管理運営事業については、就労している保護者のニーズに沿って、入会の対象児童が 1 年生から 4 年生までだったところ、令和 2 年度より、1 年生から 6 年生までに拡充を行い、放課後の安全な生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。		
	参考指標		
	児童育成クラブの待機児童数	H30 年度	0 人
4 年度までに		0 人	
6 年度までに		0 人	
少年親善スポーツ大会 /青少年課 【再掲】8-2-1、9-1-2	令和元年度 実績		
	小学校 4～6 年生を対象に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることを目的として実施しています。12 チーム計 173 名が参加しました。		
	今後の方向性		
	少年親善スポーツ大会については、スポーツを通して他の学校の児童と親睦を図ることや、健康的な体力づくり、協調性や仲間との友情を育む効果があるため、今後も継続して実施していきます。		
	参考指標		
	参加者数	H30 年度	292 人

		4年度までに	—
		6年度までに	300人

第5節 郷土愛（誇り）

5-1 ふるさと浦安の歴史・文化への理解の向上

5-1-1 ふるさと浦安の歴史・文化の理解に関する教育の充実

事業名・担当部署			
郷土博物館の活用の推進 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	「博物館活用の手引き」に基づき博学連携に取り組み、学校教育での博物館利用を推進し、321回、延べ11,068名の学校利用がありました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館の活用の推進については、今後も「博物館活用の手引き」に基づき、博学連携に取り組むとともに、新たな体験や浦安を題材にした学習のプログラム作成を進めるなど、博物館の特色を活用した学習の機会を提供していき、児童生徒の郷土愛を育てていきます。		
	参考指標		
	博物館を効果的に活用するための学習活動案の作成・活用	H30年度	—
4年度までに		学習活動案作成・活用	
6年度までに		授業での活用推進	
ふるさと浦安の歴史・地域学習の充実 /指導課 【再掲】10-3-2	令和元年度 実績		
	<p>社会科副読本を活用した小学3・4年生の社会科学習を通し、地域の理解を深め、ふるさと浦安に対する誇りや愛情を育みました。社会科副読本・同指導書の改訂委員会議を9回開催し、令和2年度版社会科副読本「わたしたちの浦安」の発行に向け、協議及び改訂作業を行いました。</p> <p>また、新学習指導要領を踏まえ、子どもたちに、ふるさと浦安への郷土愛を一層育むことができる内容となるよう、指導書の改訂作業も併せてすすめました。</p>		
	今後の方向性		
	ふるさと浦安の歴史・地域学習の充実については、博学連携や学習機会の一層の推進に努めるため、郷土博物館活用の学習プログラムの検討について、博物館活用推進委員会と連携します。その成果を令和4年版社会科副読本・同指導書の改訂作業（年7回実施）に生かすとともに、学校訪問等を通して、ふるさと浦安への郷土愛を一層育むための授業づくりへ指導・助言を行っていきます。		
	参考指標		
	「浦安市小・中学生生活実態調査」で、「自分の住んでいる町や地域が好きか」の質問	H30年度	68.6%
4年度までに		75%	

	に「とても好き」と回答した割合	6年度までに	80%
ふるさと浦安作品展 /郷土博物館 【再掲】1-2-2、2-2-1、 10-3-2	令和元年度 実績		
	「ふるさと浦安」に関する作品制作や研究により、ふるさとを愛する気持ちを育てるため、作品展を開催しました。小学生 376 点、中学生 1,333 点の合計 1,709 作品の出展がありました。16 日間で 4,230 名の入場者がありました。		
	今後の方向性		
	ふるさと浦安作品展については、郷土博物館活用推進委員会をはじめ、各学校と連携し、内容の充実・参加の促進に努めていきます。 また、浦安に関する理解を図ることを目的として開催する企画展「もっと知りたいふるさと浦安」と作品制作や研究をサポートする「ふるさと浦安相談会」を充実させ、児童生徒が主体的な学び、浦安の理解を深め、郷土愛を育てていきます。		
	参考指標		
	市内全児童生徒数に対する、作品展参加人数の割合	H30 年度	8.5%
		4 年度までに	10%
6 年度までに		12%	
奨励賞以上の作品の内容のうち、市民生活の進歩や発展に向けた考えが表現されている作品の割合	H30 年度	18%	
	4 年度までに	30%	
	6 年度までに	50%	
ボランティア活動推進事業 /指導課 【再掲】2-1-1、2-2-1、 4-1-1、6-1-2	令和元年度 実績		
	学校訪問を通じて、地域行事への参加等、ボランティア活動推進の指導・助言を行いました。小・中学校の児童生徒が、地域社会の一員として、清掃活動を行ったり、浦安囃子等の伝統芸能に触れたりすることで、ふるさと浦安の歴史・文化への理解の向上につながりました。		
	今後の方向性		
	ボランティア活動推進事業については、総合的な学習の時間や道德教育、キャリア教育等の取組の中で実施してまいります。		
	参考指標		
	小・中学校生活実態調査で「地域の活動に参加している」に「とてもしている」「まあまあしている」と回答した児童生徒の割合	H30 年度	小 67.1% 中 53.8%
		4 年度までに	小 70% 中 55%
6 年度までに		小 72% 中 58%	
三番瀬を活用した環境学習の推進 /指導課 【再掲】4-1-2、10-	令和元年度 実績		
	社会科の〔第3学年及び第4学年〕の「身近な地域や市の特徴ある地形、土地利用の様子」等において、学習材料の一つとして三番瀬の活用を図り、ふるさと浦安の歴史・文化等を理解する学習をとおして、郷土愛を深めまし		

3-1	た。		
	今後の方向性		
	三番瀬を活用した、ふるさと浦安の歴史・文化等を理解する学習を通して、より一層郷土愛を深めます。		
	参考指標		
	三番瀬環境観察館を利用した事業数	H30 年度	—
4 年度までに		3	
6 年度までに		3	
ふるさとうらやす立志塾の開催 /指導課 【再掲】4-1-1、8-2-1	令和元年度 実績		
	各中学校長から推薦を受けた学校のリーダーとして活躍する意欲のある中学2年生 27 名が参加し、全4回6日間の研修を行いました。8月7～9日(2泊3日)実施した市内「うら・らめ〜る」での研修会では、市長をはじめ、様々な講師から、リーダーシップを発揮するうえで大切な考え方やスキルを学びました。		
	また、認知症を実体験するVR体験や境川リバーウォーク、投網舟乗船体験を行うことで、新たな浦安の魅力や今後の課題を発見し、ふるさとうらやすへの理解と愛着を深めるとともに、リーダーとしての自覚や資質能力を高めました。		
	平成 23 年度より開催しており平成 31 年度は9回目の開催となりました。		
	今後の方向性		
	ふるさとうらやす立志塾の開催については、各校のリーダーとしての資質・能力の向上及び 21 世紀を担うリーダーの育成に必要な研修内容となるよう、令和2年8月までに時期や方法の見直しを図り、将来を見据えたふるさと意識の醸成やリーダーとしての資質能力向上に資する研修にしていきます。		
	参考指標		
塾生対象事後アンケートで、「ふるさと浦安について愛着がもてるようになった」に「とてもそう思う」と回答した割合	H30 年度	65%	
	4 年度までに	70%	
	6 年度までに	75%	

5-1-2 国際理解教育の推進

事業名・担当部署	
国際理解教育の推進 /指導課	令和元年度 実績
	学校訪問や要請訪問、研修会などを通じて小学校の外国語活動、中学校の英語教育の指導助言を行い、国際理解教育を推進しました。小学校では、外国語活動において諸外国について調査し、発表活動を行ったり、中学校では、外国語指導助手（ALT）が英語の授業等で自国の文化や食事を紹介し

	たりしました。		
	今後の方向性		
	国際理解教育の推進については、外国語指導助手（ALT）との連携を高めつつ小学校外国語教育及び中学校外国語（英語）科の授業だけに留まらず、教科横断的な教育課程を編成し社会科や総合的な学習の時間などに関連させながら他教科の中でも指導していきます。		
	参考指標		
	「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で、子どもたちに「外国などの異なった文化を理解し、尊重する態度」が「よく身に付いている」と答えた教員の割合	H30年度	4.1%
		4年度までに	7%
		6年度までに	10%
外国語教育推進事業 （英語教育推進事業） /指導課 【再掲】1-4-4	令和元年度 実績		
	各小・中学校に23名の外国語指導助手（ALT）を派遣しました。 また、ALTコーディネーター1名、外国語活動等指導員1名による授業参観を各校月に1～2回実施し、担任、授業者、ALTの指導力向上に努めるだけでなく、児童生徒の多文化理解及び英語によるコミュニケーション能力の育成を図りました。 小学校1・2年生では、年間14時間の外国語活動を実施する特別な教育課程を編成し、浦安市外国語活動学習活動プログラムを用いた外国語教育推進を図りました。 3・4年生では、文部科学省作成外国語活動教材「Let's Try!」、5・6年生では、「We Can!」を活用し、学級担任、英語専科教員、ALTとともに、外国語によるコミュニケーション活動を行いました。		
	今後の方向性		
	英語教育推進事業については、今後もALTを全小・中学校に配置し、外国語（英語）教育をより一層推進します。 また、新学習指導要領の内容に即した外国語教育研修会を年1回、外国語活動等指導員1名による授業参観を各校月に1～2回実施し、教員の指導力向上を図ります。		
	参考指標		
	「英語教育実施状況調査」においてCEFR A1レベル相当以上の英語力があると報告された中学校3年生の割合	H30年度	72.8%
		4年度までに	75%
6年度までに		80%	

5-1-3 平和教育の推進

事業名・担当部署			
平和学習青少年派遣事業 /地域振興課	令和元年度 実績		
	平和学習の一環として、各市立中学校から2名（合計18名）を長崎に派遣し、現地で平和学習「青少年ピースフォーラム」に参加しました。		
	今後の方向性		
	<p>各種平和事業については、市では昭和60年3月29日に非核平和都市を宣言して以来、非核平和理念の浸透と平和意識の高揚に向けて取り組んでいます。本市の平和事業を推進していくうえで、次代を担う青少年に平和教育を行うことが重要であると考えことから、今後も、非核平和事業の一環として、市内小・中学校を対象に平和教育を推進していきます。</p> <p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、派遣事業が中止となりましたが、これまでに派遣事業に参加した浦安平和使節団OB・OG等の協力のもと、映像資料（DVD）やYouTubeの動画配信により、小・中学生に対して平和学習を行います。</p>		
	参考指標		
	平和学習青少年派遣事業の参加者数	H30年度	18人
4年度までに		18人	
6年度までに		18人	
被爆体験講話事業 /地域振興課	令和元年度 実績		
	市内被爆者団体や長崎の被爆者が、被爆体験講話を希望校で実施しました。（聴講17校、1,593名）		
	今後の方向性		
	<p>各種平和事業については、市では昭和60年3月29日に非核平和都市を宣言して以来、非核平和理念の浸透と平和意識の高揚に向けて取り組んでいます。本市の平和事業を推進していくうえで、次代を担う青少年に平和教育を行うことが重要であると考えことから、今後も、非核平和事業の一環として、市内小・中学校を対象に平和教育を推進していきます。</p> <p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市内被爆者団体や長崎の被爆者が来校しての講話ができないため、映像資料（DVD）により、平和学習を行います。</p>		
	参考指標		
	被爆体験講話事業を実施している小学校数 （17校中）	H30年度	15校
4年度までに		17校	
6年度までに		17校	
「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「平和教育の推進」に「とても満足」と答えた保護者の割合	H30年度	3%	
	4年度までに	4%	
	6年度までに	5%	

非核平和パネル展の実施 /地域振興課	令和元年度 実績		
	市所有の原爆被災パネルを小学校 17 校、中学校 9 校に展示しました。		
	今後の方向性		
	各種平和事業については、市では昭和 60 年 3 月 29 日に非核平和都市を宣言して以来、非核平和理念の浸透と平和意識の高揚に向けて取り組んでいます。本市の平和事業を推進していくうえで、次代を担う青少年に平和教育を行うことが重要であると考えことから、今後も、非核平和事業の一環として、市内小・中学校を対象に平和教育を推進していきます。		
	参考指標		
	非核平和パネル展を実施した小・中学校数 (26 校中)	H30 年度	26 校
		4 年度までに	26 校
6 年度までに		26 校	
「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「平和教育の推進」に「とても満足」と答えた保護者の割合	H30 年度	3 %	
	4 年度までに	4 %	
	6 年度までに	5 %	

親子平和バスツアーの実施 /地域振興課	令和元年度 実績		
	市内小・中学生とその保護者を対象に、平和記念展示資料館（新宿区）と昭和館（千代田区）を見学しました。（小学生以下 37 名、保護者 28 名）		
	今後の方向性		
	各種平和事業については、市では昭和 60 年 3 月 29 日に非核平和都市を宣言して以来、非核平和理念の浸透と平和意識の高揚に向けて取り組んでいます。本市の平和事業を推進していくうえで、次代を担う青少年に平和教育を行うことが重要であると考えことから、今後も、非核平和事業の一環として、市内小・中学校を対象に平和教育を推進していきます。 令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、バスツアーの実施はできませんが、Y o u T u b e の動画配信により、被爆体験講話等を実施します。		
	参考指標		
	親子平和バスツアーの参加率	H30 年度	28.3 %
		4 年度までに	63.2 %
6 年度までに		73.7 %	

第6節 教育環境の整備・充実の推進

6-1 地域ぐるみで子どもをはぐくむ仕組みづくり

6-1-1 地域ぐるみの教育支援

事業名・担当部署	
<p>地域とともに歩む学校づくり 推進事業 /教育政策課・指導課・生涯学習課・公民館 【再掲】4-2-2、8-2-2、11-1-1</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度 実績</p> <p>【教育政策課】 地域と学校の連携及び協働体制を推進するため、小・中学校長から推薦された小学校 28 名、中学校 16 名、合計 44 名に学校支援コーディネーターを委嘱し、市内全小・中学校に配置しました。コーディネーターを中心に、地域と学校との協働活動を推進し、全小・中学校で延べ 27,000 人の地域ボランティアが学校の教育活動に参画しました。 学校支援コーディネーターの役割や中学校区の活動、先進事例の紹介等を内容とする研修会（交流会）を年 3 回開催（延べ 140 人が参加）し、コーディネーター同士の連携が深まり、今後の活動に資する研修とすることができました。</p> <p>【指導課】 地域と学校の連携の一層の推進とキャリア教育の充実を図るため、地域内での職場体験先の確保など様々な場面で、学校支援コーディネーターを活用し、推進しました。</p> <p>【生涯学習課】 学校支援コーディネーターとの連携・協力を推進するため、青少年自立支援未来塾の事業説明の機会を設けたり、実際に各教室を見学する期間を設けたりするなど本事業の趣旨や取り組みに対する理解の深化に努めました。 また、学校支援コーディネーターをはじめ、公民館、学校、大学など地域にある教育機関との連携を通して、英語教室 21 名、数学教室 30 名の地域の方々に放課後の学習支援に携わっていただくなど地域人材の活用を図りました。</p> <p>【公民館】 男女共同参画センターと共催し、「”性別” って何だろう～見えない、見せないしんどさを抱える子どもに寄り添う～」を表題に、LGBTやジェンダーに関する講演会を行いました。生徒や職員、一般市民向けに対象を分け、3回の講演を実施し、延べ200名の聴講がありました。 富岡公民館では「ランニング講座「美走塾」」を開催し、富岡小学校と見明川小学校の3年生を対象に、ランニングの基本を習得する講座を開催しました。（富岡小 119 名、見明川小 110 名）また、市内小学校と連携し、生徒が描いた絵画や書道作品の展示を行いました。</p> <p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <p>【教育政策課、指導課】 学校支援コーディネーターの全小・中学校への配置を継続するとともに、研修会や学校、公民館等との交流会を実施し、学校支援コーディネーターが</p>

	<p>地域とのネットワークを構築できるようにしていきます。中学校区を基本に、学校支援コーディネーターを中心とする地域と学校の協働体制を整えます。</p> <p>また、浦安市におけるコミュニティ・スクールのあり方を検討するため、令和2年度にコミュニティ・スクールのあり方検討委員会を設置します。地域、家庭、学校が連携、協働していくための仕組みや方法について検討、協議します。</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>学校支援コーディネーターの持つ学校支援ボランティアのネットワークを放課後の学習支援にも活用できるよう更なる連携・協力の推進を図ります。</p> <p>また、子どもの教育活動に携わる地域の様々な主体との信頼関係づくりに努めながら、学校における学習・体験活動への地域人材の活用を、公民館などの生涯学習施設・学校・家庭・地域などと連携・協力しながら推進します。</p> <p>【公民館】</p> <p>地域と学校の連携・協働活動を推進するため、学校との連携の下、公民館サークル等にその学習活動で培ったノウハウを還元できる機会の提供に努めます。</p>		
	参考指標		
	学校支援ボランティア活動に参加した延べ人数	H30年度	26,926人
		4年度までに	27,500人
		6年度までに	28,000人
<p>生涯学習情報提供システム運営事業 /生涯学習課・教育政策課 【再掲】7-2-1、8-3-1、11-3-1</p>	令和元年度 実績		
	<p>【生涯学習課】</p> <p>市民の学習活動のさらなる充実を図るため、市からの情報だけでなく、市民団体やサークル、講師、人材が直接情報を発信できる「まなびねっとURAYASU」を運営しました。団体や人材などの登録数は前年度より増加しました。</p> <p>また、SNSと連携した情報提供を行うとともに、公民館に関する情報発信を強化するため、公民館情報の専用ページを作り、公民館のマイページや公民館関連情報を集約表示できるよう改修を実施しました。 登録数：654件（団体：544団体 講師・人材：110名）</p> <p>【教育政策課】</p> <p>学校や学校支援コーディネーターに、地域で活動している団体や人材の情報を提供し、生涯学習情報提供システムへの登録と活用を推奨しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【生涯学習課】</p> <p>様々な分野で優れた知識や技術を持った団体・人材を発掘するとともに、学校支援コーディネーターの登録を促すなど、学校や地域と連携した情報発信について、検討していきます。</p>		

	【教育政策課】		
	今後も、研修会等をとおして、学校や学校支援コーディネーターに地域で活動している団体や人材の登録と活用を推奨していきます。		
	参考指標		
	生涯学習情報提供システムへのアクセス数	H30年度	7,994件
		4年度までに	12,000件
		6年度までに	15,000件
地域人材の登録者数	H30年度	109人	
	4年度までに	130人	
	6年度までに	150人	
青少年健全育成団体との連携 /青少年センター	令和元年度 実績		
	青少年補導員連絡協議会と連携した補導活動をはじめ、青少年健全育成連絡会や学校・警察等との情報交換及び関係会議への参加を通じて連携を深め、青少年の非行防止及び健全育成に努めました。		
	今後の方向性		
	青少年健全育成団体とは今後もさらに連携を深め、多くの子どもたちが健やかに育つための事業の推進に努めます。		
	参考指標		
	青少年補導員とともにパトロール活動を実施した回数	H30年度	158回
4年度までに		現状維持	
6年度までに		現状維持	
生活困窮者等学習支援事業 /社会福祉課	令和元年度 実績		
	生活困窮世帯の小学校4年生から高校3年生の生徒児童を対象に週3回自習の場を提供しました。令和元年度は特別講習を含め148回開催し、児童生徒参加者数は実人数80人、延べ1,841人でした。		
	今後の方向性		
	引き続き、自習の場の提供やイベント等を通じて、子どもたちの学習、居場所づくり及び交流の場としての役割を果たせるように努めるとともに、生活面での悩み等も相談できるようにしていきます。		
	参考指標		
	生活困窮者等学習支援事業を利用した中学3年生の進路の決定率	H30年度	90.9%
4年度までに		95%	
6年度までに		95%	
部活動推進事業 /保健体育安全課 【再掲】2-2-1、3-1-1、13-1-1	令和元年度 実績		
	部活動指導者186名のうち、一般社会人指導者を小学校10校に37名、中学校9校に77名派遣することにより、児童生徒の技能の向上を図ることができました。		

	今後の方向性		
	<p>部活動推進事業については、心豊かでたくましい児童生徒を育成するため、市民スポーツ課やスポーツ関係団体と連携して外部指導員の確保に努めるなど、部活動の強化を図ります。</p> <p>また、平成 30 年度に策定した「安全で適切な部活動運営の指針（改訂版）」をもとに、今後の部活動の在り方及び学校職員としての部活動指導員の導入について検討を進めます。</p>		
	参考指標		
	部活動指導者派遣事業の実施継続	H30 年度	実施中
4 年度までに		継続	
6 年度までに		継続	

6-1-2 地域に貢献する学校づくり

事業名・担当部署			
災害時の避難所運営推進事業 /教育総務課	令和元年度 実績		
	<p>災害時の避難所開設・運営を円滑に行うため、避難者の行動や避難所運営の初動、避難所でのルールを記載した避難所開設・運営マニュアルの作成を全ての公立小・中学校 26 校及び私立学校等 2 校で行っています。マニュアルの更新やマニュアルに基づいた避難訓練等により、地域住民の防災意識を高めることができました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>災害時の避難所開設・運営を円滑に行うため、自治会等の地域住民を主体とした避難所運営訓練を促進し、実施状況に合わせた避難所運営マニュアルの更新を支援していきます。</p> <p>また、令和 2 年度は、浦安市待避所開設・運営マニュアルを基に、新型コロナウイルス対策を踏まえた待避所の体制を整備します。</p>		
	参考指標		
避難所開設・運営マニュアルに基づいた訓練を実施した回数	H30 年度	19 回	
	4 年度までに	23 回	
	6 年度までに	28 回	
ボランティア活動推進事業 /指導課 【再掲】2-1-1、2-2-1、 4-1-1、5-1-1	令和元年度 実績		
<p>学校訪問等を通じて、地域行事への参加等、ボランティア活動推進の指導・助言を行いました。小・中学校の児童生徒が、地域社会の一員として、清掃活動を行ったり、吹奏楽部や合唱部の児童生徒が地域の行事等で演奏をしたりすることを通して、豊かな心や社会の一員としての資質を育みました。</p>			
今後の方向性			
<p>ボランティア活動推進事業については、総合的な学習の時間や道徳教育、キャリア教育等の取組の中で実施していきます。</p>			

	参考指標		
	小・中学校生活実態調査で「地域の活動に参加している」に「とてもしている」「まあまあしている」と回答した児童生徒の割合	H30 年度	小 67.1% 中 53.8%
		4 年度までに	小 70% 中 55%
		6 年度までに	小 72% 中 58%

6-1-3 安全・安心な教育環境づくり

事業名・担当部署	
学校防犯対策の充実 /保健体育安全課・ 市民安全課・保育幼稚園課・ 青少年課 【再掲】 13-1-3	令和元年度 実績
	【保健体育安全課】 警備員を全小学校 17 校に各 1 名配置しました。全小・中学校 26 校に設置された防犯カメラを活用し、学校警備の強化を図りました。新 1 年生全員に防犯ブザーを配布するとともに新入生対象防犯教室を 17 回実施しました。
	【市民安全課】 警察と連携し、園児・児童を対象に「連れ去り防止教室」を 25 回、また、小学校・幼稚園・保育園等を対象に「不審者対応訓練」を 27 回、「防犯講話」を 4 回、「防犯教室」を 1 回実施しました。
	【保育幼稚園課】 市立幼稚園・認定こども園 14 園において、防犯カメラの活用などにより防犯対策を図りました。
	今後の方向性
	【保健体育安全課】 学校防犯対策の充実については、次年度以降も、引き続き小学校への警備員の配置や防犯カメラによる敷地内への侵入者の監視を行うとともに、児童生徒の防犯意識向上のために警察と連携した防犯訓練や防犯教室などの防犯教育の充実を図ります。また、学校、家庭、地域及び関係機関とより一層の連携を図り、防犯体制の強化に努めます。
	【市民安全課】 警察と連携した、「連れ去り防止教室」や「不審者侵入対応訓練」「防犯講話」を引き続き実施し、子どもたちの防犯行動力の向上を図るとともに、教職員等の防犯意識高揚と防犯体制の強化を図ります。
	【保育幼稚園課】 学校防犯対策の充実については、防犯カメラの活用などにより、引き続き防犯対策を図っていきます。
	【青少年課】 児童育成クラブにおける防犯対策の充実を図るため、引き続き防犯訓練を

	行い、防犯体制の強化に努めます。		
	参考指標		
	園・学校で実施した防犯教室の実施回数	H30年度	68回
		4年度までに	70回
		6年度までに	72回
	警備員配置や防犯カメラの設置、防犯ブザー無償配布の継続	H30年度	実施中
4年度までに		継続	
6年度までに		継続	
事業者との連携による防犯対策の推進 /市民安全課	令和元年度 実績		
	防犯かけこみ 110 番の店 996 店舗、事業者パトロール隊参加事業所数 46 事業者と連携し、市内の防犯体制の強化を図りました。		
	今後の方向性		
	防犯かけこみ 110 番の店及び事業者パトロール隊の登録促進を図るとともに、引き続き登録事業者と連携した防犯体制の強化を推進します。		
	参考指標		
	「防犯かけこみ 110 番の店」の店舗数	H30年度	1,206 店舗
		4年度までに	1,242 店舗
6年度までに		1,280 店舗	
事業者パトロール参加事業所数	H30年度	45 事業所	
	4年度までに	46 事業所	
	6年度までに	47 事業所	
子どもの帰宅を促すための放送の実施 /市民安全課	令和元年度 実績		
	地域での見守りを促し、子どもたちが犯罪に遭うことを防ぐため、令和元年 11 月 1 日から令和 2 年 2 月 28 日までの期間の午後 4 時 30 分に防災無線による「子どもの帰宅を促す放送」を実施しました。		
	今後の方向性		
	引き続き防災無線による放送を実施することで、地域での見守りを促し、子どもたちの安全確保に努めます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
		4年度までに	***
6年度までに		***	
移動防犯事業 /市民安全課	令和元年度 実績		
	安全指導員を中心に、公園や公民館などで防犯教室や啓発活動を行う定期巡回教室を 74 回、自治会祭りなどでの啓発活動を 5 回実施しました。		
	今後の方向性		

	定期巡回教室や啓発活動を通じ、引き続き市民へ適切な犯罪情報の提供や防犯意識の高揚に努めます。		
	参考指標		
	定期巡回教室・啓発活動、自治会等が実施したイベント等への参加、園・学校で実施した防犯教室・防犯訓練の回数	H30年度	150回
		4年度までに	155回
6年度までに		160回	
交通事故防止対策の充実 /保健体育安全課・市民安全課 【再掲】3-1-2、13-1-3	令和元年度 実績		
	<p>【保健体育安全課】 交通整理員を通学路の交差点9か所に14名配置しました。小学校1年生対象の交通安全教室を17回、小学校3年生対象の自転車交通安全教室を17回実施しました。通学路の安全確保のため、通学路検討会を2回実施しました。</p> <p>また、小学校新1年生に黄色いワッペン及びランドセルカバーを配付し、交通事故の防止を図りました。</p>		
	<p>【市民安全課】 警察等と連携し、小学1年生対象の交通安全教室と小学3年生対象の自転車交通安全教室を17校で実施しました。</p> <p>また、入船中学校では、VRゴーグル・自転車シミュレータを活用した自転車交通安全教室を実施しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【保健体育安全課】 交通事故防止対策の充実については、通学路の安全対策として、引き続き、交通安全上配慮を要する交差点に交通整理員を配置するとともに、市関係各課等による通学路検討会及び合同安全点検を実施し、通学路上の改善を要する個所について状況に応じ安全対策を講じていきます。</p> <p>また、警察や浦安交通安全協会等の関係機関と連携した交通安全教室や自転車交通安全教室を開催し、交通安全教育の充実を図ります。</p>		
	<p>【市民安全課】 警察や関係機関等と連携した交通安全教室や自転車交通安全教室を引き続き実施し、児童生徒の交通事故防止に努めます。</p>		
	参考指標		
	「小・中学生生活実態調査」で「交通安全のルールについて家族で話し合っている」と答えた児童生徒の割合	H30年度	26.6%
		4年度までに	28%
		6年度までに	30%
交通整理員の配置	H30年度	9か所 14名	
	4年度までに	道路状況の変化等に応じた配置を	
	6年度までに		

			行う
学校事故防止対策の充実 /保健体育安全課	令和元年度 実績		
	年度に一回消防本部に救命講習として、職員対象の研修を依頼しており、全小・中学校（小学校17校、中学校9校）で実施しました。 また、食物アレルギーに関する職員研修についても全小・中学校で実施しました。		
	今後の方向性		
	学校における命に関わる事故等に備え、各学校現場においても研修を実施することにより、学校職員全体で危機対応についての理解を共有し、より実効性のある危機管理体制の整備を推進していきます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
防災教育の推進 /保健体育安全課・指導課・教育研究センター 【再掲】3-1-3、13-1-3	令和元年度 実績		
	【保健体育安全課、指導課】 児童生徒が浦安市の災害の特性に触れることができるよう、本市の災害の様子や復興への道のりの記録等の危機管理課が作成した東日本大震災の資料等を素材として取り上げている「防災教育指導資料」の活用について周知するとともに、学校区合同避難訓練・引き渡し訓練などの実践的行動に結びつく防災教育を各学校で実施しました。		
	【教育研究センター】 医療的ケアが必要な児童生徒については、学校で「緊急時対応マニュアル」を作成するよう指導し、救急への連絡体制や職員の動き等のシミュレーション訓練を実施しました。 また、避難訓練時においては、避難する際の安全確保等について確認しました。		
	今後の方向性		
	【保健体育安全課、指導課、教育研究センター】 防災教育の推進については、「防災教育指導資料」の改訂に向けて見直しを行うとともに、資料を活用した授業や各学校で実施されている火災や地震を想定した避難訓練の実施の徹底を図ることにより、実践的行動に結びつく防災教育を推進します。		
	参考指標		
「小・中学生生活実態調査」で「地震や火災が起こった時の安全な行動について家庭で話し合っている」に「きちんとしている」「まあまあしている」と回答した児童生徒の割合	H30年度	小48.4%	中50.6%
	4年度までに	小70%	中70%
	6年度までに	小80%	

			中 80%
防災体験講座の開催 /公民館 【再掲】 3-1-3	令和元年度 実績		
	防災対策講座を3月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。家庭教育学級や「コミュニティ・カレッジうらやす」などの継続事業では、家庭でできる防災対策などのテーマを取りあげており、日頃から防災意識の啓発に取り組みました。		
	今後の方向性		
	引き続き、市民の防災・減災意識を高める学習機会の充実を図ります。		
	参考指標		
	防災体験講座の募集人数に対する参加者数の割合	H30年度	51%
4年度までに		70%	
6年度までに		70%	
地域ぐるみでの見守り・防犯対策の推進 /青少年センター	令和元年度 実績		
	学校教員やPTA会員をはじめ地域住民で構成されている青少年補導員により、地域ぐるみでの見守りや防犯対策として、中学校区を単位とした地区パトロールを182回実施しました。		
	今後の方向性		
	地域ぐるみでの見守り・防犯対策の推進については、青少年健全育成団体と今後もさらに連携を深め、多くの子どもたちが健やかに育つための事業の推進に努めます。		
	参考指標		
	地区パトロールの実施回数	H30年度	187回
4年度までに		現状維持 もしくは増	
6年度までに		現状維持 もしくは増	

6-1-4 家庭の教育力の向上

事業名・担当部署	
教育情報誌発行业 /教育政策課 【再掲】 6-2-1、7-2-1	令和元年度 実績
	<p>保護者や市民に教育情報を提供し、学校及び家庭、地域社会における教育に対する理解を深めるため、教育情報誌「うらやすスタイル」を年3回発行しました。計画の最終年度となる教育ビジョン後期基本計画に基づく教育施策の具体的な取り組みや、令和2年度を始期とする教育振興基本計画、学校教育推進計画や生涯学習推進計画等について紹介しました。</p> <p>本誌がどれだけの保護者に読まれているのかを把握するために、「小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査」の中で「市の情報誌（うらやすスタイル等）で教育に関する情報を得ている」の質問を設定しました。「進んでしている」「できる限りしている」という肯定的な回答をした保護者の</p>

	割合は 41.9%と、一昨年度の調査（48.3%）と比べて減少していました。今後は、紙面構成や配布方法を見直すなど、より効果的な教育情報の提供に努める必要があります。		
	今後の方向性		
	教育施策に基づく具体的な取り組みや子どもたちの活動の様子、家庭の教育力の向上や地域との連携に関する情報等について、市民に広く情報を発信していきます。内容を精選し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりを進め、学校、家庭、地域に教育情報をわかりやすく発信していきます。 また、市民がどのような情報を求めているのかについて、令和2年度にアンケート調査を実施し、検証していきます。		
	参考指標		
	保護者アンケートで「紙面は読みやすい（親しみやすい）」と回答した割合	H30年度	92.2%
		4年度までに	現状維持
		6年度までに	現状維持
	保護者アンケートで「学校教育・生涯学習の取り組みについて理解できた」と回答した割合	H30年度	学校 90.5% 生涯 87.5%
		4年度までに	学校 90%以上 生涯 90%以上
		6年度までに	学校 90%以上 生涯 90%以上
子育て支援センター事業 /こども課 【再掲】8-1-2	令和元年度 実績		
	未就学児と保護者が交流できる場や、子育てに関する相談・情報の提供を行いました。年間の利用者数は 11,883 組、26,924 人（保護者・こども）でした。		
	今後の方向性		
	地域の子育て支援のため、引き続き、事業の周知を図ります。		
	参考指標		
	延べ来所者数	H30年度	31,090 組
4年度までに		—	
6年度までに		—	
地域子育て支援センター事業 /保育幼稚園課 【再掲】8-1-2	令和元年度 実績		
	市内8ヶ所の認可保育園に併設されている子育て支援センターで、未就学児と保護者が交流できる場や子育てに関する相談・情報の提供を行いました。 年間の利用者数は、海園の街保育園が 1,359 組・2,973 名。浦安駅前保育園が 1,553 組・3,373 名。入船北保育園が 1,569 組・3,499 名。しおかぜ保育園が 973 組・2,103 名。ホピンスナースクール新浦安が 2,235 組・4,762 名。弁天保育園が 2,450 組・5,596 名。高洲保育園が 1,766 組・4,027 名。愛和元町保育園が 968 組・2,182 名でした。		

	今後の方向性		
	地域子育て支援センター事業については、今後も地域の子育てを支援し、乳幼児間・保護者間の交流を図る場として、保育内容の充実を図るとともに事業のPR活動に努めていきます。		
	参考指標		
	市内8か所の認可保育園に併設されている子育て支援センターの利用者数	H30年度	16,810組
4年度までに		現状維持	
6年度までに		現状維持	
家庭教育学級 /公民館 【再掲】8-1-1、13-2-2	令和元年度 実績		
	家庭教育力の向上を図るため、保護者を対象に、子育てミーティングや講師による講演など、一年を通して実施しました。保育園・認定こども園6学級、小学校4学級、中学校3学級、延べ1,943名が参加しました。		
	今後の方向性		
	家庭教育の重要性に鑑み、家庭における教育力の向上を図るため、幼児や小・中学生の保護者を対象にした家庭教育のさらなる充実に努めます。		
	参考指標		
	家庭教育学級の開設数	H30年度	園6学級 小4学級 中3学級
4年度までに		園10学級 小10学級 中6学級	
6年度までに		園14学級 小17学級 中9学級	
家庭教育講演会 /公民館 【再掲】8-1-1、13-2-2	令和元年度 実績		
	家庭内のコミュニケーションや基本的な生活習慣作りなど、家庭教育に関する講演会を実施し、64名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	引き続き子育て世代を対象に、子育てや家庭のあり方などについての講演会を開催し、家庭教育の重要性について啓発に努めます。		
	参考指標		
	家庭教育講演会の募集人数に対する参加者の割合	H30年度	47%
4年度までに		70%	
6年度までに		100%	
子育て支援事業 /公民館 【再掲】8-1-1、12-1-2、	令和元年度 実績		
	子どもの発達段階に応じた学習と家庭同士の交流と仲間づくり等を目的として、乳幼児親子事業や父親の育児支援事業など11事業実施し、延べ692		

12-2-1、13-2-3	名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子どもの発達に応じた家庭教育の講座や家庭同士の交流、父親の育児参加など、家庭のニーズに応じて様々な面から子育て支援の充実を図ります。		
	参考指標		
	子育て支援事業への参加者数	H30 年度	1,001 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		1,025 人	
子育てすこやか広場事業 /保育幼稚園課 【再掲】8-1-2、12-2-1、 13-2-3	令和元年度 実績		
	親子・幼児同士の遊びや生活の指導、保育カウンセラーの子育てに関する相談を通して、家庭の教育力の向上を図りました。全園合わせて 307 回開催し、未就園児の親子延べ 5,743 組が利用しました。保育相談は延べ 2,040 件の利用がありました。		
	今後の方向性		
	子育てすこやか広場事業については、各園と十分に調整を図りながら、今後も地域の子育てを支援し、幼児間・保護者間の交流を図る場として、保育内容の充実を図るとともに事業の PR 活動に努めていきます。		
	参考指標		
	実施数 (回)	H30 年度	321
4 年度までに		320	
6 年度までに		320	

6-2 開かれた学校づくり

6-2-1 開かれた学校づくり

事業名・担当部署			
学校評議員制度事業 /学務課	令和元年度 実績		
	地域住民が学校運営に参画し、子どもの成長を担い、開かれた学校づくりを推進しました。学校評議員会を小・中学校全 26 校で 70 回実施し、合計 200 名が参加しました。		
	今後の方向性		
	今後も引き続き、学校運営に当たり、学校の教育目標・計画や地域との連携の進め方などに関し、保護者や地域住民の意見を聞くとともに、その理解や協力を得て、特色ある教育活動を主体的かつ積極的に展開していきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	

学校評価推進事業 /学務課・保育幼稚園課	令和元年度 実績		
	【学務課】 市内全小・中学校で自己評価及び学校関係者評価を実施し、自己評価は、全ての学校がホームページや学校だより等により公表しました。 また、学校経営の参考になるよう中学校区ごとにまとめた評価シートを各校に配布しました。評価の内容は、教育ビジョンに照らし、確かな学力・豊かな心・豊かなかかわり・健やかな体・郷土愛とし、その他学校の実態に応じて小中連携や特別支援教育等が挙げられます。		
	【保育幼稚園課】 全幼稚園・認定こども園で学校関係者評価を行い、学校評価推進委員会を開催して幼稚園・認定こども園が実施する学校評価の取り組みを推進、支援しました。		
	今後の方向性		
	【学務課】 評価シートについては、浦安市学校教育推進計画に基づいた評価内容となるよう改善を図っていきます。 【保育幼稚園課】 学校評価推進事業については、全幼稚園・認定こども園で「浦安市立幼稚園・認定こども園関係者評価委員会に関する要綱」に基づき、適切に進めていきます。		
	参考指標		
***	H30 年度	***	
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
情報発信の充実 /指導課	令和元年度 実績		
	開かれた学校づくりのため、教職員を対象としたHP講習会を1回実施し、10名が参加しました。HP作成システムを実際に操作しながら、浦安市HP作成ガイドラインの内容、ページの作成及び更新方法を具体的に学ぶことで、HP作成についての知識・技能の向上を図ることができました。		
	今後の方向性		
	情報発信の充実については、「浦安市学校情報発信指針」に基づき、各学校で実情に応じて適切に進めていきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	

教育情報誌発行业 /教育政策課 【再掲】6-1-4、7-2-1	令和元年度 実績						
	<p>保護者や市民に教育情報を提供し、学校及び家庭、地域社会における教育に対する理解を深めるため、教育情報誌「うらやすスタイル」を年3回発行しました。</p> <p>計画の最終年度となる教育ビジョン後期基本計画に基づく教育施策の具体的な取り組みや、令和2年度を始期とする教育振興基本計画、学校教育推進計画や生涯学習推進計画等について紹介しました。本誌がどれだけの保護者に読まれているのかを把握するために、「小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査」の中で「市の情報誌（うらやすスタイル等）で教育に関する情報を得ている」の質問を設定しました。「進んでしている」「できる限りしている」という肯定的な回答をした保護者の割合は41.9%と、一昨年度の調査（48.3%）と比べて減少していました。</p> <p>今後は、紙面構成や配布方法を見直すなど、より効果的な教育情報の提供に努める必要があります。</p>						
	今後の方向性						
	<p>教育施策に基づく具体的な取り組みや子どもたちの活動の様子、家庭の教育力の向上や地域との連携に関する情報等について、市民に広く情報を発信していきます。内容を精選し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりを進め、学校、家庭、地域に教育情報をわかりやすく発信していきます。</p> <p>また、市民がどのような情報を求めているのかについて、令和2年度にアンケート調査を実施し、検証していきます。</p>						
	参考指標						
	保護者アンケートで「紙面は読みやすい（親しみやすい）」と回答した割合	<table border="1"> <tr> <td>H30年度</td> <td>92.2%</td> </tr> <tr> <td>4年度までに</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>6年度までに</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	H30年度	92.2%	4年度までに	現状維持	6年度までに
H30年度	92.2%						
4年度までに	現状維持						
6年度までに	現状維持						
保護者アンケートで「学校教育・生涯学習の取り組みについて理解できた」と回答した割合	<table border="1"> <tr> <td>H30年度</td> <td>学校 90.5% 生涯 87.5%</td> </tr> <tr> <td>4年度までに</td> <td>学校 90%以上 生涯 90%以上</td> </tr> <tr> <td>6年度までに</td> <td>学校 90%以上 生涯 90%以上</td> </tr> </table>	H30年度	学校 90.5% 生涯 87.5%	4年度までに	学校 90%以上 生涯 90%以上	6年度までに	学校 90%以上 生涯 90%以上
H30年度	学校 90.5% 生涯 87.5%						
4年度までに	学校 90%以上 生涯 90%以上						
6年度までに	学校 90%以上 生涯 90%以上						

6-2-2 教職員の質の向上

事業名・担当部署	
教職員の質・指導力の向上 /指導課	令和元年度 実績
	<p>教職員研修会を49講座実施しました。若年層教員については、児童生徒主体の授業づくりの研修を中心に据え、年5回の校外研修及び年2回の指導主事等の訪問研修により実践的指導力の向上を図りました。</p>

	今後の方向性		
	若年層教員に対して、年5回の校外研修だけでなく、市教委の訪問による授業参観指導や、各校の若手教員研修チームによる校内研修体制を整えるなど、OJTを通じて指導力を育成します。教職員のニーズや新たな課題に対応した教職員研修の内容を充実させることで、より一層主体的に学ぶ意識を高め、教職員の質や指導力の向上を図ります。		
	参考指標		
	教職員研修についての4段階のアンケートで、「内容がためになった」と回答した受講者の評価の平均	H30年度	3.7
4年度までに		3.9	
6年度までに		4.0	
学力調査の活用推進 /指導課 【再掲】1-2-1、1-4-1	令和元年度 実績		
	全小・中学校の学力調査担当者を対象に学力分析や活用の仕方について年2回の会議を開催し、教育実践の共有化を図りました。		
	今後の方向性		
	令和2年度より小学校、3年度より中学校で新学習指導要領が全面实施となることより、評価の観点が変わったことをふまえ、学力調査の内容や方法、活用等を令和2年8月までに検討していくとともに、学力調査の活用推進において、年1回学力調査に係る会議を開催し、市内各校の学力向上のための協議を行います。		
	参考指標		
	「全国学力・学習状況調査」学校質問紙で学力調査の結果について学校教育活動を改善するために「よく活用した」と回答した割合	H30年度	小29.4% 中0%
4年度までに		小35% 中20%	
6年度までに		小40% 中30%	
情報セキュリティ体制の整備 /指導課	令和元年度 実績		
	新規採用職員を対象とした情報セキュリティ研修会を年6回開催し、セキュリティ意識と技能の向上を図りました。 また、全教職員を対象に情報セキュリティ研修を年2回実施することにより、セキュリティに対する知識を深めることで、意識と技能の向上を図りました。		
	今後の方向性		
	情報セキュリティ体制の整備については、新規採用職員対象の研修会、及び全教職員対象とした情報セキュリティ研修を実施するとともに、注意喚起を行っていきます。また、「学校教育支援システム運用基準」の周知徹底を行い、より安全な運用を目指します。		
	参考指標		
	情報セキュリティ e ラーニング研修におけ	H30年度	82%

	る全てのカテゴリー別正答率	4年度までに	90%以上
		6年度までに	90%以上

6-2-3 教員が子どもと向き合う環境の整備

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
こどもの成長の記録提供システムの活用推進 /指導課	新規採用者向けの活用研修会(希望制)、年次更新研修会の計2回の研修会を実施しました。全小・中学校でシステム利用により通知表や健康カード・指導要録・調査書(中学校)の作成を行い、名簿・保健・成績等の情報の連携機能、手書き帳票のシステムによる作成・出力により校務の効率化を進めることができました。		
	今後の方向性		
	こどもの成長の記録提供システムの活用推進については、引き続きシステムの活用を進め、個人情報の安全な管理・校務の効率化・効果的な情報提供を図っていきます。		
	参考指標		
	こどもの成長の記録提供システムの活用率	H30年度	100%
		4年度までに	100%
6年度までに		100%	
事務の軽減化・効率化の推進 /教育総務課	令和元年度 実績		
	全小・中学校 26校に1名ずつ来客対応や書類作成等を行う市費学校事務非常勤職員(現会計年度任用職員)を配置しました。電話対応や備品の購入等の業務を市費学校事務非常勤職員が行うことで教員の事務の軽減化・効率化を図ることができ、教員が子どもと向き合う時間が増えました。		
	今後の方向性		
	引き続き事務補助員として市費学校事務会計年度任用職員を全小・中学校に各1名ずつ配置していきます。学校事務会計年度任用職員の役割分担や事務分担を再確認し、さらなる事務の効率化を推進していきます。		
	参考指標		
	学校長による業務効率化評価の数値	H30年度	69%
4年度までに		72%	
6年度までに		75%	
教職員のメンタルヘルスカウンセリング事業 /学務課	令和元年度 実績		
	教職員の心身の健康維持を図るため、臨床心理士資格等を有する相談員による面接または電話による相談がいつでもできるようにしました。年間で面接が14回、電話相談が25件実施されました。ストレスチェックを市内全小中学校で実施し、教職員個人の健康状態を把握しました。		
	今後の方向性		
今後もストレスチェックの実施率を高め、心と体の健康保持、増進に努め			

	ていくよう引き続き、実施していきます。		
	参考指標		
	ストレスチェックの受診率	H30 年度	86.3%
		4 年度までに	100%
6 年度までに		100%	

6-3 教育環境の整備充実

6-3-1 特色ある学校づくりの推進

事業名・担当部署			
ふるさとふれあい教育活動推進事業 /指導課 【再掲】8-2-2	令和元年度 実績		
	浦安市教育ビジョンの5つの「めざす子ども像」の実現を支え、各幼稚園、小・中学校が、「地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり」を推進することを目的として、各々が設定した事業主題に基づいた教育活動を展開しました。保護者を含む地域の方々に学校に入ってボランティアをしていただいたり、児童生徒が地域の奉仕活動に参加したりするなど、地域の特色にあった開かれた学校づくりを行うことができました。		
	今後の方向性		
	ふるさとふれあい教育活動推進事業については、今後も成果と課題を踏まえ、修正を加えながら学校・地域・家庭が連携して進める教育活動（地域交流活動、学力向上への取り組み、文化・芸術・スポーツの推進など）や豊かな体験活動などを支援・助成していく予定です。		
	参考指標		
	活用している園・校	H30 年度	40
	4 年度までに	40	
	6 年度までに	40	
学校選択制推進事業 /学務課	令和元年度 実績		
	児童生徒や保護者の学校選択機会を拡大しました。小学校6校計41名、中学校4校計105名が学校選択制度で入学しました。		
	今後の方向性		
	今後も現状の制度は維持しつつ、検証を行い、児童生徒の就学機会の拡充を図っていきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
学校規模適正化事業 /教育政策課	令和元年度 実績		
	平成31年3月に策定した「浦安市学校規模適正化基本方針」に基づき、市内小・中学校の大規模校・小規模校対策を検討するために、学校規模適正化検討準備委員会を設置し、年3回の会議を開催しました。喫緊の課題であ		

	<p>る南小学校の大規模校対策については、学識経験者を含む南小学校学校規模適正化検討委員会を設置し、その方策について検討、協議しました。2回の会議を経て、南小学校における大規模校対策として、学区の弾力的運用を図り、特定地域選択制を用いることを決定しました。</p>	
	<p>今後の方向性</p>	
	<p>浦安市立南小学校学校規模適正化検討委員会を昨年度に引き続き開催し、南小学校における特定地域選択制の実施に向けての課題と対策について検討、協議し、令和3年度からの実施を目指します。</p> <p>小規模校対策については、児童生徒推計における予測を基に、どのような対策を講じるのかについて、令和2年度に検討組織を設置し、検討していきます。</p>	
	<p>参考指標</p>	
学校規模の適正化に向けた対策	H30年度	1校の大規模校対策について検討中
	4年度までに	必要に応じて検討
	6年度までに	必要に応じて検討

6-3-2 教育施設等の整備充実

事業名・担当部署	
<p>I C T環境の整備及び効果的な活用 /指導課 【再掲】1-2-1、1-4-6</p>	<p>令和元年度 実績</p>
	<p>「浦安市教育の情報化推進計画」に基づき機器の整備を行いました。小学校には、全学級にプロジェクターと実物投影機を整備しました。中学校にも全学級にプロジェクターを整備し、実物投影機については3学級に1学級分の整備を行いました。パソコン室は16校の更新を行いました。これまではデスクトップ型のパソコンを整備していましたが、持ち運びのできるタブレット型のパソコンを整備しました。</p> <p>タブレット型のパソコンの台数の増加により、児童生徒が授業に活用する場面が増えました。学校での活用の仕方に合わせて、I C T機器が利用できるように推進しました。これからも求められるI C T環境が年々変化していくことが考えられるため、常にニーズに合った環境整備を心がけていきます。</p>
	<p>今後の方向性</p>
	<p>I C T環境の整備及び効果的な活用については、文部科学省が提示したG I G Aスクール構想の実現を目指し、令和2年10月までに「浦安市教育の情報化推進計画」の見直しを図り、整備・活用を進めて行きます。</p>

	参考指標		
	「保護者及び教員の教育に関する意識調査」で「コンピュータやプロジェクタ、電子黒板などのICT機器を活用している」の教員の肯定的回答の割合	H30年度	小 74.2% 中 55.7%
		4年度までに	小 80% 中 60%
		6年度までに	小 85% 中 65%
小・中学校改修事業 /教育施設課	令和元年度 実績		
	令和元年度に市全体で公共施設の改修事業の方針等について検討・調整しました。 ・美浜北小学校と見明川中学校の改修事業の設計業務 ・美浜北小学校と見明川中学校の建築、電気設備、機械設備改修工事の契約をそれぞれ完了しました		
	今後の方向性		
	令和2年度に美浜北小学校と見明川中学校の改修工事を完了する予定です。富岡小学校、富岡中学校、美浜中学校については、美浜北小学校と見明川中学校の設計を参考に施設の安全性の確保や老朽化などに対応した改修内容の設計をまとめる予定です。 ※富岡小学校 設計…令和2年度 改修…令和3年度 富岡中学校 設計…令和2・3年度 改修…令和4年度 美浜中学校 設計…令和3年度 改修…令和4年度		
	参考指標		
	改修工事の実施校数（26校中）	平成30年度	2校（令和2年度）
		4年度までに	校舎、屋内運動場、屋内水泳プールを順次改修
6年度までに			
浦安小学校屋内運動場の改修及び屋内水泳プールの市民開放の検討 /教育施設課	令和元年度 実績		
	浦安小学校屋内水泳プール改修工事の設計業務を完了しました。		
	今後の方向性		
	新型コロナウイルス感染症により令和2年度の工事の実施は見送りとなりました。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	

特別支援学級等整備事業 /教育研究センター 【再掲】13-1-2	令和元年度 実績		
	一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場の充実を図るため、市内全中学校に特別支援学級を設置しました。現在、小学校は 17 校中 12 校に特別支援学級を設置し、令和 2 年度に小学校 1 校に特別支援学級を開設するための準備を進めました。今後、全小学校への特別支援学級の整備を計画的に進めていきます。		
	今後の方向性		
	令和 2 年度には特別支援学級全校設置に向け、未設置校の内 1 校に特別支援学級を開級します。通級指導教室では巡回による指導の拡充に向け、巡回校をさらに 1 校増やします。 また、県立特別支援学校の「センター的機能」を活用した通級指導やサテライト教室で行われる指導を継続して受けたりできるよう整備を進めていきます。		
	参考指標		
特別支援学級の整備状況 (小 17 校、中 9 校中)	H30 年度	小 12 校 中 9 校	
	4 年度までに	小一 中一	
	6 年度までに	小 17 校 中 9 校	
教育委員会大型バス運行管理 事業 /教育総務課	令和元年度 実績		
	教育関係団体等に対し、教育委員会で賃借している大型バス（ふれあい号）の貸出を行い、学校教育の充実や社会教育の振興を図りました。 令和元年度利用日数：119 日		
	今後の方向性		
	学校教育や社会教育の充実を図るため、今後も市立小・中学校等に大型バスの貸出を行っていきます。 また、さらなる利便性の向上を図るため、令和 2 年度中に貸出対象の拡充など運用基準の見直しを検討します。		
	参考指標		
教育委員会大型バスの稼働率	H30 年度	62.3%	
	4 年度までに	63.5%	
	6 年度までに	65%	

6-3-3 就学に対する援助の充実

事業名・担当部署	
浦安市奨学金制度 /教育総務課	令和元年度 実績
	経済的理由により修学することが困難な高等学校、大学等に在学する方に対し、修学金を 24 名に貸付けました。また、同様に修学困難な方を対象と

	して、高等学校等の生徒 210 名、大学等の学生 237 名（うち成績優秀者 125 名）に奨学支援金の支給を行い、修学に対する経済的支援を行いました。		
	今後の方向性		
	<p>奨学資金貸付制度については、浦安市奨学資金貸付条例が廃止されたことに伴い、今後は、前年度からの継続の方のみを対象に実施していきます。</p> <p>奨学支援金支給制度については、修学を容易にし、教育機会の均等を図るため引き続き実施していくとともに、今後の実績や社会情勢、国・県の取組みなどを確認したうえで、令和 2 年度に開催する浦安市奨学金制度検討委員会において、審査基準等制度の検証・見直しをしていきます。</p>		
	参考指標		
	高校で奨学金制度を利用した人の大学等への進学率	H30 年度 4 年度までに 6 年度までに	— 50% 60%
要保護及び準要保護児童生徒 就学援助事業 /学務課 【再掲】 12-1-2	令和元年度 実績		
	令和元年度要保護児童 68 名・要保護生徒 37 名・準要保護児童 470 名・準要保護生徒 315 名を認定し援助を行いました。		
	今後の方向性		
	他市町村の状況を確認しながら、支給費目や支給額の見直しを検討し、事業の拡充を図っていきます。		
	参考指標		
		H30 年度 4 年度までに 6 年度までに	*** *** ***

第 7 節 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実

7-1 学習課題に応じた学習機会の充実

7-1-1 現代的課題などに対応する学習機会の充実

事業名・担当部署	
生涯学習フォーラム /生涯学習課	令和元年度 実績
	<p>市民一人ひとりが生涯にわたって、あらゆる機会や場所で自発的に学習活動を行い、その学習成果を活かすことができるまちづくりを推進するために講演会・シンポジウムを開催しています。令和元年度は 8 月と 2 月に、「地域」をテーマに開催し、学びの成果を地域活動や地域福祉に生かすという意識や意欲を高めることができました。</p> <p><生涯学習フォーラム①></p> <p>令和元年 8 月 25 日（日）に、「地域で学ぶことの意味～地縁と知縁を考える～」をテーマに事例発表と、青山学院大学コミュニティ人間科学部准教授の伊藤真木子氏による講演会を実施しました。公民館サークルや社会教育関係団体を中心に 98 名の参加がありました。</p>

	<p><生涯学習フォーラム②></p> <p>令和2年2月6日(木)に「高齢者が創る地域社会の実現に向けて」をテーマに、東京都健康長寿医療センター研究所の倉岡正高氏による講演会とパネルディスカッション「学びを通じた共生社会の実現に向けて」を実施しました。福祉部門と連携することで社会教育関係者に加え、福祉に携わる方など152名の参加がありました。</p>		
	<p>今後の方向性</p> <p>地域社会の抱える課題が多様化・複雑化していることに鑑み、地域課題解決の担い手を育てるため、学校、地域、行政、大学、NPOなど多様な主体が連携して研究協議等を行い、その成果を発信するとともに、継続的な取り組みが推進される機会とするため、令和2年10月31日(土)、市民プラザで開催予定です。</p>		
	<p>参考指標</p>		
	参加者数	H30年度	144人
		4年度までに	—
6年度までに		200人	
<p>生涯学習まちづくり出前講座 /生涯学習課 【再掲】11-3-3</p>	<p>令和元年度 実績</p> <p>市民の生涯学習の機会として、行政情報を提供することで市政への理解を深めたまちづくりを進めていくため、市職員を34回派遣しました。</p> <p>主な派遣先は、自治会や浦安市内の保育園・学校等で、講座内容は、誤嚥性肺炎・歯周病予防、むし歯・歯周病予防教室、骨密度の簡易測定等、健康福祉に関する講座が多く開催されました。(出前講座パンフレット作成、3,000部)</p>		
	<p>今後の方向性</p> <p>地域の課題や市民ニーズの変化を講座に反映するとともに、事業の周知を図ります。</p>		
	<p>参考指標</p>		
	実施回数	H30年度	24回
		4年度までに	—
6年度までに		35回	
<p>現代的課題事業 /公民館 【再掲】8-3-3</p>	<p>令和元年度 実績</p> <p>平和や人権問題、環境問題、国際理解、防災や防犯、男女共同参画等の様々な現代的課題に応じた35事業を実施し、延べ2,022名の参加がありました。</p>		
	<p>今後の方向性</p> <p>市民一人ひとりが互いに尊重しあう社会を目指すため、多様な価値観に触れて知識や考察を深めることのできる学習機会の充実を図ります。</p>		
	<p>参考指標</p>		
	現代的課題に関する事業の延べ参加者数	H30年度	2,165人

		4年度までに	—
		6年度までに	2,380人
レファレンスサービス事業 /中央図書館 【再掲】7-2-1、7-3-3、 8-3-1、8-3-4	令和元年度 実績		
	中央図書館休館により、メールや分館で受けた調査等について、図書館資料や、データベース等を活用し、75,209件の案内サービスを実施しました。また利用者満足度は概ね満足が全体の9割を達成しました。		
	今後の方向性		
	レファレンスサービス事業については、レファレンス事例の公開を検討する等、さらなる広報を行い市民への周知を図ります。 また、調査回答における利用者満足度調査の検証・改善を進め、市民の課題解決の支援を行っていきます。		
	参考指標		
	実施数	H30年度	107,232件
4年度までに		—	
6年度までに		110,000件	
一般奉仕事業 /中央図書館 【再掲】7-3-3	令和元年度 実績		
	図書館全体の年間貸出数は1,394,341点で、そのうち一般成人向け資料は1,094,824点を貸出しました。また、442,243件のリクエストに応えました。		
	今後の方向性		
	新しく中央図書館に設置されたワークスペースや資料の紹介などを、ホームページやSNSを活用して広報を強化し、来館を促します。また、図書館において最も基本となる貸出を中心とした資料提供サービスを行い、リクエストや予約サービスの充実を図ります。		
	参考指標		
	貸出冊数	H30年度	1,365,765冊
4年度までに		—	
6年度までに		1,700,000冊	
図書館資料の充実 /中央図書館 【再掲】7-3-3	令和元年度 実績		
	29,364冊の図書を購入したほか、図書館資料の充実に努めました。		
	今後の方向性		
	引き続き図書館の蔵書構成を充実させ、市民のニーズに応え、利用の促進を図ります。		
	参考指標		
	図書受入冊数	H30年度	36,777冊
4年度までに		—	
6年度までに		60,000冊	

郷土博物館運営事業 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	郷土理解を深めることを目的に、年間を通じてさまざまな体験学習を実施することで、普段の生活とは違った郷土文化に触れる機会を提供し、参加者の郷土愛を育みました。主催事業として、休日体験（延べ 28 回開催）をはじめ、季節の行事や、ゴールデンウィーク特別企画や博物館まつりナイトなどのイベントを実施し、延べ 100,867 名（内、休日体験及びイベント参加者は延べ 7,447 名）の来館者がありました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館運営事業については、博物館法に基づいた博物館運営に努め、その成果を活かしたイベント、体験事業を通して、さまざまな世代の市民に、浦安に伝わる文化や季節感を体験していただくなど、郷土学習の機会を提供していきます。		
	参考指標		
郷土博物館への来館者数	H30 年度	100,999 人	
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	106,000 人	

7-1-2 人にやさしい学習機会の充実

事業名・担当部署			
障がい者のための学習支援事業 /公民館	令和元年度 実績		
	中央公民館では精神科や心療内科に通院中の方を対象に、日常生活の不安を精神保健師に相談できる「心のやすらぎサロン in 中央」を通年で実施しており、延べ 59 名の参加がありました。 堀江公民館では知的障がいのある方を対象に、1 年を通してスポーツ体験や季節のイベント、社会見学など様々な活動を行う「きぼう青年学級」を開講しました。 参加者や見学者、ボランティアスタッフと交流を深めながら、青年たちへの余暇支援を行いました。延べ 248 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	障がい者の余暇・交流支援事業の充実と市民との交流を図るとともに、多様な障がいについて理解する学習機会の提供を行います。引き続き市民ボランティア等、地域の協力を得て、地域とのつながりが持てる運営に取り組みます。また、公民館主催事業に手話通訳者・要約筆記者を設置できるように検討します。		
	参考指標		
障がいのある人の事業への参加者数	H30 年度	325 人	
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	350 人	

スポーツの集い /市民スポーツ課 【再掲】9-1-1、9-1-3	令和元年度 実績		
	スポーツの集いについては、市民が気軽に体験できるスポーツイベントとして、トリムバレーボールやファミリーバドミントン、スラックラインなど全10種目に加え、東京2020オリンピック・パラリンピック競技種目から、ボッチャ・ゴールボール・車いすバスケットボールを実施しました。延べ2,515名が参加しました。		
	今後の方向性		
	スポーツの集いについては、これまで浦安市運動公園で実施してきましたが、今後は、浦安公園で開催される春まつりに合わせて実施します。また、令和2年度については、春まつりの中止に伴い本事業も中止となりました。		
	参考指標		
みんなのスポーツの集い参加者数	H30年度	1,000人	
	4年度までに	—	
	6年度までに	1,200人	
軽スポーツ大会 /市民スポーツ課 【再掲】9-1-2	令和元年度 実績		
	軽スポーツ大会については、市民の健康増進、体力づくりを目的として、いつでもどこでも手軽に楽しめるスポーツの振興・普及を図るために、ミニバレーボール大会を実施し、約40名が参加しました。		
	今後の方向性		
	軽スポーツ大会については、より多くの参加者（特に小学生）に参加いただけるよう、スポーツ推進委員連絡協議会と協議しながら競技種目や運営方法を検討し、さらなるスポーツの振興を図ります。		
	参考指標		
軽スポーツ大会の参加者数	H30年度	50人	
	4年度までに	—	
	6年度までに	60人	

7-1-3 就労のための学習支援の充実

事業名・担当部署			
就労支援事業 /公民館 【再掲】8-3-4	令和元年度 実績		
	「夢や目標設定の重要性」をテーマに、元スポーツ選手の講演会を実施し、30名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	就労支援事業については、労働は社会を支える根幹であり、特に若年層・女性の就労のための学習情報の提供や労働者のキャリアアップ学習を推進します。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	

		6年度までに	***
--	--	--------	-----

7-2 学習情報の提供と学習相談体制の充実

7-2-1 市民の学習要求に対応した情報提供の充実

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
生涯学習情報提供システム運営事業 /生涯学習課 【再掲】6-1-1、8-3-1、11-3-1	市民の学習活動のさらなる充実を図るため、市からの情報だけでなく、市民団体やサークル、講師、人材が直接情報を発信できる「まなびねっとURAYASU」を運営しました。団体や人材などの登録数は前年度より増加しました。		
	また、SNSと連携した情報提供を行うとともに、公民館に関する情報発信を強化するため、公民館情報の専用ページを作り、公民館のマイページや公民館関連情報を集約表示できるよう改修を実施しました。 登録数：654件（団体：544団体 講師・人材：110名）		
	今後の方向性		
	公民館講座の掲載等のコンテンツの充実や、団体・人材の登録、活用を図っていきます。		
	参考指標		
生涯学習情報提供システムへのアクセス数	H30年度	7,994件	
	4年度までに	—	
	6年度までに	15,000件	
公民館情報誌発行业務 /公民館 【再掲】8-3-1	令和元年度 実績		
	公民館が主催・共催する各種講座の参加案内やお知らせなどの情報を発信するため、公民館情報誌「ルネサンス」を発行し、新聞折り込みでの配布や公共施設等の窓口に設置を行いました。（年4回発行、各47,000部）		
	今後の方向性		
	今後も継続し、各種講座・教室やイベントの開催などの詳細について、広く市民に情報を発信していきます。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
レファレンスサービス事業 /中央図書館 【再掲】7-1-1、7-3-3、8-3-1、8-3-4	令和元年度 実績		
	中央図書館休館により、メールや分館で受けた調査等について、図書館資料や、データベース等を活用し、75,209件の案内サービスを実施しました。また利用者満足度は概ね満足が全体の9割を達成しました。		

	今後の方向性		
	<p>レファレンスサービス事業については、レファレンス事例の公開を検討する等、さらなる広報を行い市民への周知を図ります。また、調査回答における利用者満足度調査の検証・改善を進め、市民の課題解決の支援を行ってまいります。</p>		
	参考指標		
	実施数	H30 年度	107,232 件
4 年度までに		—	
6 年度までに		110,000 件	
教育情報誌発行业 /教育政策課 【再掲】6-1-4、6-2-1	令和元年度 実績		
	<p>保護者や市民に教育情報を提供し、学校及び家庭、地域社会における教育に対する理解を深めるため、教育情報誌「うらやすスタイル」を年3回発行しました。</p> <p>計画の最終年度となる教育ビジョン後期基本計画に基づく教育施策の具体的な取り組みや、令和2年度を始期とする教育振興基本計画、学校教育推進計画や生涯学習推進計画等について紹介しました。本誌がどれだけの保護者に読まれているのかを把握するために、「小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査」の中で「市の情報誌（うらやすスタイル等）で教育に関する情報を得ている」の質問を設定しました。「進んでしている」「できる限りしている」という肯定的な回答をした保護者の割合は41.9%と、一昨年度の調査（48.3%）と比べて減少していました。</p> <p>今後は、紙面構成や配布方法を見直すなど、より効果的な教育情報の提供に努める必要があります。</p>		
	今後の方向性		
	<p>教育施策に基づく具体的な取り組みや子どもたちの活動の様子、家庭の教育力の向上や地域との連携に関する情報等について、市民に広く情報を発信してまいります。内容を精選し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりを進め、学校、家庭、地域に教育情報をわかりやすく発信してまいります。</p> <p>また、市民がどのような情報を求めているのかについて、令和2年度にアンケート調査を実施し、検証してまいります。</p>		
	参考指標		
	保護者アンケートで「紙面は読みやすい（親しみやすい）」と回答した割合	H30 年度	92.2%
		4 年度までに	現状維持
6 年度までに		現状維持	
保護者アンケートで「学校教育・生涯学習の取り組みについて理解できた」と回答した割合	H30 年度	学校 90.5% 生涯 87.5%	
	4 年度までに	学校 90%以上 生涯 90%以上	
	6 年度までに	学校 90%以上	

			生涯 90%以上
--	--	--	----------

7-2-2 学習相談窓口の整備・充実

事業名・担当部署			
学習相談事業 /公民館	令和元年度 実績		
	市民の自主的な学習活動を支援するため、各公民館窓口で各種相談や問い合わせ等に随時対応しました。		
	今後の方向性		
	市民の知りたい情報を分かりやすく提供できる仕組みづくりを進めるとともに、相談に適切に対応できる体制の充実に努めます。		
	参考指標		
	全公民館における学習相談件数	H30 年度	—
4 年度までに		—	
6 年度までに		350 件	

7-3 公民館・図書館の運営の充実

7-3-1 公民館の運営の充実

事業名・担当部署			
公民館運営事業 /公民館	令和元年度 実績		
	主催事業の運営やサークル、団体への活動場所の提供、市民の学習活動の支援（学習室・学習コーナーの提供等）を行いました。（来館者延べ 490,754 名）		
	今後の方向性		
	社会教育に関する助言や指導を行うため、市内 7 公民館に 3 名の社会教育主事を配置し、社会教育活動を行っている地域のリーダーに、専門家としてアドバイスや指導を行っています。今後、全公民館に配置できる体制に努めます。 また、サークル・団体等の活動の活性化及び生涯学習活動の場の確保を図るとともに、学習に関する情報提供や相談体制の充実に努めます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	
公民館施設予約システム事業 /公民館	令和元年度 実績		
	施設の空き情報やインターネット予約申請ができるサービスを提供するため、公民館予約管理システムや端末機器の適正かつ円滑な運用保守及び管理を行いました。		
	今後の方向性		
市民の公民館利用を促進するため、今後も継続して施設の空き状況の照会			

	やインターネット予約申込みができる利便性の高いサービスの提供に努めます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
		4年度までに	***
		6年度までに	***
公民館文化祭 /公民館 【再掲】11-2-1	令和元年度 実績		
	サークル、団体の学習成果の発表や地域の交流の場とするため、各公民館において地域の特色を活かした文化祭を開催しました。(延べ人数 23,525名) ※高洲公民館は大型台風19号により、開催を中止しました。		
	今後の方向性		
	公民館を利用し、学習活動を展開しているサークル・団体等の学習成果の発表や親睦の場や地域交流の場とするため、引き続き公民館文化祭の充実度を高めます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
		4年度までに	***
		6年度までに	***

7-3-2 公民館施設の整備

事業名・担当部署			
美浜公民館大規模改修 /公民館	令和元年度 実績		
	建物の老朽化に伴い、施設を閉館して大規模な改修を行いました。		
	今後の方向性		
	リニューアルオープンに向けて、運営再開の準備を行います。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
		4年度までに	***
		6年度までに	***

7-3-3 図書館の運営の充実

事業名・担当部署			
電子資料提供サービス事業 /中央図書館	令和元年度 実績		
	「浦安震災アーカイブ」のホームページビュー数は94,433件、個人や行政、報道等の各機関から防災や学術等の目的でコンテンツを使用するための許諾申請は59件となり、幅広い分野で利活用されました。また、コンテンツの充実を図るために、紙媒体の震災記録をデジタル化するためのスキャン		

	作業等を行いました。		
	今後の方向性		
	令和2年度は、「浦安震災アーカイブ」のサーバOS更新作業、及び東日本大震災の被災体験記録を作成します。また、「浦安震災アーカイブ」のコンテンツの充実とPRに努め、利活用の促進に取り組みます。		
	参考指標		
	震災アーカイブページビュー数	H30年度	96,402件
4年度までに		—	
6年度までに		100,000件	
図書館サービス拡充事業 /中央図書館	令和元年度 実績		
	平成27年7月から開始した月曜日及び分館の開館時間の延長を継続実施し、利用者の利便性の向上に努めました。なお、中央図書館は大規模改修工事による休館のため実施しませんでした。		
	今後の方向性		
	月曜日の開館および分館の開館時間延長を継続し、図書館利用の機会を拡充します。		
	参考指標		
開館日数	H30年度	325日	
	4年度までに	—	
	6年度までに	333日	
児童サービス事業 /中央図書館 【再掲】2-2-1、8-2-3	令和元年度 実績		
	図書館全体の年間貸出数は1,394,341点で、そのうち児童書は299,517点を貸出しました。また、幼稚園・認定子ども園・保育園・小学校において、15,542名の子どもたちに読み聞かせなどを行いました。 年1回の推薦図書リストの発行、小学校および中学校の新1年生への図書館利用案内の配布を行いました。		
	今後の方向性		
	園、小・中学校と連携しながら、児童に対するサービスを推進します。中央図書館・各分館で借りた図書の記録を印字することができる読書通帳機を導入して、児童の図書館利用の推進を図ります。		
	参考指標		
児童書の貸し出し冊数	H30年度	367,898冊	
	4年度までに	420,000冊	
	6年度までに	500,000冊	
図書館資料の充実 /中央図書館 【再掲】7-1-1	令和元年度 実績		
	29,364冊の図書を購入したほか、図書館資料の充実に努めました。		
	今後の方向性		

	引き続き図書館の蔵書構成を充実させ、市民のニーズに応え、利用の促進を図ります。		
	参考指標		
	図書受入冊数	H30 年度	36,777 冊
		4 年度までに	—
6 年度までに		60,000 冊	
ハンディキャップサービス事業 /中央図書館 【再掲】1-3-1、2-2-1	令和元年度 実績		
	図書館への来館が困難な方への宅配サービスを 284 件実施したほか、活字資料をそのままの形では利用できない利用者向けの資料を作成しました。		
	今後の方向性		
	活字の図書を読むことが難しい方のための録音資料等の製作や、対面朗読及び宅配、入院している方のための病院サービス等を継続していきます。 また、製作技術の維持向上のため、令和 2 年度に製作協力者の養成講習会を実施します。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
ブックスタート事業 /中央図書館 【再掲】8-1-3	令和元年度 実績		
	出生届受領時 1,231 名に絵本を配布しました。 また、中央図書館大規模改修工事休館中は母子保健課主催の「始めよう！離乳食クラス」にてブックスタート絵本講座を開催し、延べ 1,346 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	乳幼児とその親に対し、絵本の楽しさ、大切さを伝えていきます。 また、中央図書館においてブックスタート絵本講座を毎月実施します。		
	参考指標		
	参加者数	H30 年度	862 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		1,000 人	
レファレンスサービス事業 /中央図書館 【再掲】7-1-1、7-2-1、8-3-1、8-3-4	令和元年度 実績		
	中央図書館休館により、メールや分館で受けた調査等について、図書館資料や、データベース等を活用し、75,209 件の案内サービスを実施しました。また、利用者満足度は概ね満足が全体の 9 割を達成しました。		
	今後の方向性		
	レファレンスサービス事業については、レファレンス事例の公開を検討する等、さらなる広報を行い市民への周知を図ります。 また、調査回答における利用者満足度調査の検証・改善を進め、市民の課題解決の支援を行っていきます。		

	参考指標		
	実施数	H30年度	107,232件
		4年度までに	—
		6年度までに	110,000件
一般奉仕事業 /中央図書館 【再掲】7-1-1	令和元年度 実績		
	図書館全体の年間貸出数は1,394,341点で、そのうち一般成人向け資料は1,094,824点を貸出しました。 また、442,243件のリクエストに応えました。		
	今後の方向性		
	新しく中央図書館に設置されたワークスペースや資料の紹介などを、ホームページやSNSを活用して広報を強化し、来館を促します。 また、図書館において最も基本となる貸出を中心とした資料提供サービスを行い、リクエストや予約サービスの充実を図ります。		
	参考指標		
	貸出冊数	H30年度	1,365,765冊
		4年度までに	—
6年度までに		1,700,000冊	
児童集会事業 /中央図書館 【再掲】2-2-1、8-1-2、 8-1-3、8-2-3	令和元年度 実績		
	中央図書館大規模改修工事休館中は、分館において「えほんのじかん」や「としょかんのちいさなおたのしみ会」等を開催し、3,319名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子どもたちや、子どもに関わる大人たちに読書の大切さを伝える集会事業を実施し、子どもたちの読書活動を推進します。		
	参考指標		
	「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「図書館クラブ」など、児童集会事業への参加者数	H30年度	5,653人
		4年度までに	6,000人
6年度までに		6,500人	
図書館情報サービスの充実 /中央図書館	令和元年度 実績		
	中央図書館休館期間中もデータベース等の検索環境を継続し、情報提供の充実に努めました。		
	今後の方向性		
	図書館情報サービスの充実については、既存のデータベースの利用促進及び検証を行うとともに、新たなデータベース等の情報収集を進め、検索環境の充実に努めます。 また、パスファインダーやおすすめ本のリスト等を作成し情報の提供をしていきます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***

		4年度までに	***
		6年度までに	***

7-3-4 図書館施設の整備

事業名・担当部署		令和元年度 実績	
中央図書館大規模改修 /中央図書館	<p>平成 31 年 1 月に着工した大規模改修工事が令和 2 年 1 月に完了し、同年 3 月にリニューアルオープンしました。主な改修内容として、館内設備機器の改修のほか、多目的な利用を想定したワークスペースや授乳室等を新設、収容冊数を増やすため集密書架を書庫棟地下閉架書庫に、難聴者をサポートする磁気ループシステムを視聴覚室にそれぞれ導入しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>改修のコンセプトである「もっと使いたくなる図書館」を目指して、新しい施設・設備を効果的に活用し、多くの市民により快適で末永く利用していただけるよう努めます。</p>		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4年度までに	***
6年度までに		***	
子ども図書館の整備 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	<p>「(仮称) 浦安市子ども図書館基本構想」に掲げた、「目指すべき子ども図書館像」や「子ども図書館の実現に向けた基本方針」を具体化するため、子ども図書館整備地の敷地測量及び地質調査を行うとともに、基本設計をまとめました。また、計画段階から市民意見を反映させるため、基本設計ワークショップを開催し、小学生から大人までの幅広い世代の方に参加いただいたほか、パブリックコメントによる意見募集を行いました。</p> <p>*ワークショップ：全 3 回 (①10/26、②11/30、③12/21)、申込者数 35 名 (小学生 19 名、高校生 1 名、大人 15 名)、参加者数 34 名 (①34 名、②34 名、③32 名)</p> <p>*パブコメ：意見募集期間 12/15～1/14、提出意見数 実人数 8 名、件数 25 件</p>		
	今後の方向性		
	<p>令和 2 年度当初予算に実施設計予算を計上していましたが、新型コロナウイルス感染症対策の財源確保のため減額補正を行い、実施設計は次年度以降に延期することとしました。</p>		
	参考指標		
	開館後の年間目標貸出冊数	H30 年度	—
4年度までに		—	
6年度までに		—	

第8節 ライフステージに応じた学習機会の提供

8-1 家庭教育の支援

8-1-1 親が学ぶ機会の充実

事業名・担当部署			
家庭教育に関する情報収集と資料の提供 /公民館 【再掲】 13-2-2	令和元年度 実績		
	家庭教育の重要性を深めるため、家庭教育学級の活動記録や家庭教育の概要をまとめた冊子を発行しました。(3月発行、400冊)		
	今後の方向性		
	家庭教育の充実を図るため、関係各課と連携し家庭教育や子育て支援に関する情報の収集及び啓発事業に取り組んでいきます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
家庭教育学級 /公民館 【再掲】 6-1-4、13-2-2	令和元年度 実績		
	家庭教育力の向上を図るため、保護者を対象に、子育てミーティングや講師による講演など、一年を通して実施しました。保育園・認定こども園6学級、小学校4学級、中学校3学級、延べ1,943名が参加しました。		
	今後の方向性		
	家庭教育の重要性に鑑み、家庭における教育力の向上を図るため、幼児や小・中学生の保護者を対象にした家庭教育のさらなる充実に努めます。		
	参考指標		
	家庭教育学級の開設数	H30年度	園6学級 小4学級 中3学級
4年度までに		園10学級 小10学級 中6学級	
6年度までに		園14学級 小17学級 中9学級	
家庭教育講演会 /公民館 【再掲】 6-1-4、13-2-2	令和元年度 実績		
	家庭内のコミュニケーションや基本的な生活習慣作りなど、家庭教育に関する講演会を実施し、64名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	引き続き子育て世代を対象に、子育てや家庭のあり方などについての講演会を開催し、家庭教育の重要性について啓発に努めます。		
	参考指標		
	家庭教育講演会の募集人数に対する参加者	H30年度	47%

	の割合	4年度までに	70%
		6年度までに	100%
子育て支援事業 /公民館 【再掲】6-1-4、12-1-2、 12-2-1、13-2-3	令和元年度 実績		
	子どもの発達段階に応じた学習と家庭同士の交流と仲間づくり等を目的として、乳幼児親子事業や父親の育児支援事業など 11 事業実施し、延べ 692 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子どもの発達に応じた家庭教育の講座や家庭同士の交流、父親の育児参加など、家庭のニーズに応じて様々な面から子育て支援の充実を図ります。		
	参考指標		
	子育て支援事業への参加者数	H30 年度	1,001 人
4年度までに		1,025 人	
6年度までに		1,050 人	

8-1-2 親子がふれあう機会の充実

事業名・担当部署			
こども情報紙発行 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	子どもたちへの体験活動へのサポートとなる、こども情報誌「このゆびとまれ」県民の日特別号 18,000 部を 6 月 1 日に、夏号 21,000 部を 7 月 1 日に発行し、園児・児童・生徒を通じて各家庭へ配布するとともに、社会教育施設等を通じて市民に配布しました。なお、春号は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子ども向けイベントが中止になったことから、発行しませんでした。		
	今後の方向性		
	イベントの実施状況を踏まえながら、子どもたちへの体験活動のサポートとなる、こども情報誌「このゆびとまれ」を発行していきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4年度までに		***	
6年度までに		***	
子育て交流事業 /公民館	令和元年度 実績		
	親子同士、また各家庭同士でふれあいを深めるとともに、地域の仲間づくりの一助とするため、絵本の読み聞かせや親子工作、リズム遊びなど 16 事業を開催し、延べ 1,953 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子育て仲間づくりの場の提供と、親子のふれあいを深めるための事業に取り組みます。		
参考指標			

		H30 年度	***
	***	4 年度までに	***
		6 年度までに	***
公民館保育室活用事業 /公民館	令和元年度 実績		
	<p>当代島公民館では、保育室でのリズム遊びやおはなし会、工作などのレクリエーションを行う「バギーガーデン」を毎月 1 回開催し、延べ 313 名の参加がありました。</p> <p>日の出公民館では、親子遊びのほか、助産師や講師による出産・育児相談事業なども行う「親子のくつろぎスペース「ほっこり」」を毎月 1 回開催し、延べ 90 名の参加がありました。また、保護者が子を預けて体験事業に参加できるよう、保育者による託児保育を行いました。</p>		
	今後の方向性		
	子育て期の学習権保障や子育て支援のため、保育環境を整備し、保育室を最大限に活用します。		
	参考指標		
			H30 年度
	***	4 年度までに	***
		6 年度までに	***
児童集会事業 /中央図書館 【再掲】 2-2-1、7-3-3、 8-1-3、8-2-3	令和元年度 実績		
	<p>中央図書館大規模改修工事休館中は、分館において「えほんのじかん」や「としょかんのちいさなおたのしみ会」等を開催し、3,319 名の参加がありました。</p>		
	今後の方向性		
	子どもたちや、子どもに関わる大人たちに読書の大切さを伝える集会事業を実施し、子どもたちの読書活動を推進します。		
	参考指標		
			H30 年度
	「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「図書館クラブ」など、児童集会事業への参加者数	4 年度までに	6,000 人
		6 年度までに	6,500 人
子育てすこやか広場事業 /保育幼稚園課 【再掲】 6-1-4、12-2-1、 13-2-3	令和元年度 実績		
	<p>親子・幼児同士の遊びや生活の指導、保育カウンセラーの子育てに関する相談を通して、家庭の教育力の向上を図りました。全園合わせて 307 回開催し、未就園児の親子延べ 5,743 組が利用しました。保育相談は延べ 2,040 件の利用がありました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>子育てすこやか広場事業については、各園と十分に調整を図りながら、今後も地域の子育てを支援し、幼児間・保護者間の交流を図る場として、保育内容の充実を図るとともに事業の PR 活動に努めていきます。</p>		
参考指標			

	実施数	H30 年度	321 回
		4 年度までに	320 回
		6 年度までに	320 回
明海つどいの広場事業（明海つどいの広場等運営支援事業） /こども課	令和元年度 実績		
	0～3歳の乳幼児とその親が集い、交流する場の提供をし、保護者 2,515 人、子ども 2,537 人の利用がありました。		
	今後の方向性		
	明海つどいの広場事業については、子ども・子育て支援法に基づく地域子ども子育て支援事業の地域子育て支援拠点事業として、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することに努めます。		
	参考指標		
	延べ利用者数（明海・堀江）	H30 年度	17,417 人
		4 年度までに	—
6 年度までに		—	
堀江つどいの広場事業（堀江つどいの広場事業運営事業） /こども課	令和元年度 実績		
	0～3歳の乳幼児とその親が集い、交流する場の提供をし、保護者 4,721 人子ども 5,253 人の利用がありました。		
	今後の方向性		
	堀江つどいの広場事業については、地域の子育て支援のため、引き続き、事業の周知を図ります。 子ども・子育て支援法に基づく地域子ども子育て支援事業の地域子育て支援拠点事業として、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することに努めます。		
	参考指標		
	延べ利用者数（明海・堀江）	H30 年度	17,417 人
		4 年度までに	—
6 年度までに		—	
子育て支援センター事業 /こども課 【再掲】6-1-4	令和元年度 実績		
	未就学児と保護者が交流できる場や、子育てに関する相談・情報の提供を行いました。年間の利用者数は 11,883 組、26,924 人（保護者・子ども）でした。		
	今後の方向性		
	地域の子育て支援のため、引き続き、事業の周知を図ります。		
	参考指標		
	延べ来所者数	H30 年度	31,090 人
		4 年度までに	—
6 年度までに		—	

地域子育て支援センター事業 /保育幼稚園課 【再掲】6-1-4	令和元年度 実績		
	<p>市内8ヶ所の認可保育園に併設されている子育て支援センターで、未就学児と保護者が交流できる場や子育てに関する相談・情報の提供を行いました。</p> <p>年間の利用者数は、海園の街保育園が1,359組・2,973名。浦安駅前保育園が1,553組・3,373名。入船北保育園が1,569組・3,499名。しおかぜ保育園が973組・2,103名。ポピンスナースクール新浦安が2,235組・4,762名。弁天保育園が2,450組・5,596名。高洲保育園が1,766組・4,027名。愛和元町保育園が968組・2,182名でした。</p>		
	今後の方向性		
	<p>地域子育て支援センター事業については、今後も地域の子育てを支援し、乳幼児間・保護者間の交流を図る場として、保育内容の充実を図るとともに事業のPR活動に努めていきます。</p>		
	参考指標		
	配置・設置数	H30年度	8
4年度までに		8	
6年度までに		8	

8-1-3 家庭における子どもの読書活動の支援

事業名・担当部署			
ブックスタート事業 /中央図書館 【再掲】7-3-3	令和元年度 実績		
	<p>出生届受領時1,231名に絵本を配布しました。また、中央図書館大規模改修工事休館中は母子保健課主催の「始めよう！離乳食クラス」にてブックスタート絵本講座を開催し、延べ1,346名の参加がありました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>乳幼児とその親に対し、絵本の楽しさ、大切さを伝えていきます。また、中央図書館においてブックスタート絵本講座を毎月実施します。</p>		
	参考指標		
	参加者数	H30年度	862人
4年度までに		—	
6年度までに		1,000人	
児童集会事業 /中央図書館 【再掲】2-2-1、7-3-3、 8-1-2、8-2-3	令和元年度 実績		
	<p>中央図書館大規模改修工事休館中は、分館において「えほんのじかん」や「としよかんのちいさなおたのしみ会」等を開催し、3,319名の参加がありました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>子どもたちや、子どもに関わる大人たちに読書の大切さを伝える集会事業を実施し、子どもたちの読書活動を推進します。</p>		
	参考指標		

	「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「図書館クラブ」など、児童集会事業への参加者数	H30 年度	5,653 人
		4 年度までに	6,000 人
		6 年度までに	6,500 人

8-2 青少年の健全育成の推進

8-2-1 体験活動・交流活動の推進

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
青少年体験事業 /公民館 【再掲】4-1-1	学校の長期休暇や休日を利用し、多様な体験・交流の場づくりとして、ものづくり体験や科学・環境学習、スポーツ体験など 87 事業、179 回、延べ 3,908 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	学校の長期休業日や週末等を利用した生活体験・自然体験など異年齢間での活動を、地域の団体や公民館サークル等の協力を得ながら実施し、広い視野を持った心身共に健全な青少年の育成を目指します。		
	参考指標		
	体験事業の募集人数に対する参加者の割合	H30 年度	81%
		4 年度までに	90%
6 年度までに		100%	
青少年館管理運営事業 /青少年課 【再掲】4-2-2	令和元年度 実績		
	青少年の仲間づくりや青少年同士の交流を行える場及び青少年が自発的に学習、趣味等の活動が行える場を提供することにより、青少年の健全育成を図りました。 開館日数は 276 日、小学生 17,859 名、中学生 13,014 名、高校生 7,424 名、23 歳未満 2,177 名、その他 2,030 名、合計 42,504 名が利用しました。		
	今後の方向性		
	青少年館管理運営事業については、指定管理者の持つノウハウを活用し、引き続き様々なジャンルの事業や特色ある主催事業を展開し、青少年の居場所づくりに取り組み、青少年の健全育成を図っていきます。		
	参考指標		
	青少年館の利用者数	H30 年度	48,534 人
4 年度までに		51,500 人	
6 年度までに		53,500 人	
青少年館利用者の満足度	H30 年度	85%	
	4 年度までに	95%以上	
	6 年度までに	95%以上	
放課後うらっこクラブ運営事業 /青少年課	令和元年度 実績		
	放課後や週末などに子どもたちが安全な環境のなかで、多様な活動ができるよう、全ての小学校において、児童育成クラブと放課後子ども教室を統合		

【再掲】 4-2-2、13-2-1	し、「放課後うらっこクラブ」として、一体的な運営を行いました。令和元年度の延べ利用人数は8,557名となっています。		
	今後の方向性		
	放課後うらっこクラブ運営事業については、利用者ニーズや「新・放課後子ども総合プラン」の状況・児童福祉及び教育分野における国の動向等をもとに、学校や地域と連携し、両事業の活動内容の充実を図るとともに、放課後の安全な居場所づくりに取り組み、児童の健全育成を図ります。		
	参考指標		
	放課後子ども教室の利用率 (1日当たり放課後子ども教室利用者数／ 全校児童数)	H30年度 4年度までに 6年度までに	5.8% 10% 15%
少年少女洋上研修事業 /青少年課 【再掲】 4-1-1	令和元年度 実績		
	小学校6年生と中学生を対象に、あらためて自分を見つめ直し、新しい自分をつくることを目的に、平素体験することのない洋上での生活やラフティングやナイトハイク等の自然体験を通じた様々なグループワーク研修を行い、「人とのふれあい」や「体験活動を通じたグループでの協力」などを経験し、学ぶ機会を提供しています。令和元年度は、8月22日～26日に北海道日高町などで実施し、98名の申し込みがあり、94名が参加しました。		
	今後の方向性		
	少年少女洋上研修事業については、過去の参加者や対象者へのアンケート調査を実施した結果をもとに、令和2年度における実行委員会において、対象年齢の見直しや内容の充実の検討を行い、研修効果の向上を図っていきます。		
	参考指標		
少年少女洋上研修への参加者数	H30年度 4年度までに 6年度までに	96人 108人 128人	
少年の広場管理運営事業 /青少年課 【再掲】 4-2-2	令和元年度 実績		
	18歳までを対象とした、今川にある市内で唯一の宿泊ができるキャンプ場です。市内の子どもたちの体験活動の促進につながり、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として設置しています。 また、ボーイスカウトやガールスカウトなどの定期利用団体が存在し、70団体、計2,609名の方が利用しました。		
	今後の方向性		
	少年の広場管理運営事業については、市内で唯一の宿泊ができるキャンプ場という特色を活かし、定期利用団体のみならず、市内の子どもたちの体験活動の促進につながるよう、今後も利用者拡大を図っていきます。		
	参考指標		
少年の広場の利用者数	H30年度	2,983人	

		4年度までに	3,200人
		6年度までに	3,300人
	少年の広場利用者の満足度	H30年度	—
		4年度までに	95%以上
		6年度までに	95%以上
少年親善スポーツ大会 /青少年課 【再掲】4-2-2、9-1-2	令和元年度 実績		
	小学校4～6年生を対象に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることを目的として実施しています。12チーム計173名が参加しました。		
	今後の方向性		
	少年親善スポーツ大会については、スポーツを通して他の学校の児童と親睦を図ることや、健康的な体力づくり、協調性や仲間との友情を育む効果があるため、今後も継続して実施していきます。		
	参考指標		
	参加者数	H30年度	292人
	4年度までに	—	
	6年度までに	300人	
青少年リーダー養成事業 /青少年課 【再掲】8-2-4、11-1-1	令和元年度 実績		
	主に中学生を対象として、青少年健全育成活動のボランティアとして活躍できるリーダーの育成を図りました。(全8回、参加人数13名)		
	今後の方向性		
	令和2年度からは、リーダーチャレンジ講座として、ジュニアリーダー研修会との一体的な運営を進めます。宿泊研修やレクリエーションを通して、集団生活において、豊かな心を持ったリーダーとなる青少年の育成を図ります。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
青少年交流活動センター管理 運営事業 /青少年課 【再掲】4-2-2	令和元年度 実績		
	宿泊型研修施設である青少年交流活動センター（うら・らめ〜る）において、青少年の交流及び団体生活を通じて、青少年の健全な育成を図ることを目的に指定管理を行っています。令和元年度の延べ利用人数は29,235名となっています。		
	今後の方向性		
	青少年交流活動センター管理運営事業については、指定管理者の持つノウハウを活用し、引き続き様々なジャンルの事業を行い、体験活動の推進と特色ある主催事業を展開していきます。		
	参考指標		
青少年交流活動センターの利用者数	H30年度	31,923人	

		4年度までに	34,500人
		6年度までに	35,500人
	青少年交流活動センター利用者の満足度	H30年度	98.7%
		4年度までに	95%以上
		6年度までに	95%以上
青少年交流施設管理運営事業 /青少年課 【再掲】4-2-2	令和元年度 実績		
	<p>青少年を主体に幼児から高齢者まで、就学者・勤労者を問わず、どなたでも気軽に受講できる各種カルチャー教室を開催するとともに、施設内では、青少年が自由に集え、仲間たちと楽しく会話できる場所として、「青少年交流広場」を無料開放しました。青少年講座利用 20,632名、貸室利用 574名となりました。(一般利用者除く)</p> <p>開催場所：新浦安カルチャープラザ内</p>		
	今後の方向性		
	<p>青少年交流施設管理運営事業については、指定管理者の持つノウハウを活用し、引き続き様々なジャンルの講座の実施や青少年の居場所づくりに取り組み、青少年の健全育成を図っていきます。</p>		
	参考指標		
	青少年交流施設の利用者数	H30年度	32,316人
		4年度までに	33,124人
		6年度までに	33,932人
	青少年交流施設利用者の満足度	H30年度	—
		4年度までに	95%以上
6年度までに		95%以上	
ジュニアリーダー研修会 /青少年課 【再掲】4-1-1、11-1-1	令和元年度 実績		
	<p>小学校4年生～6年生を対象に、行動力・受容力・表現力を身につけることを目的に研修を行いました。全8回の各種体験活動や交流活動を通じて、心豊かなリーダーの育成を図るプログラム内容で実施しました。令和元年度は40名が受講しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>令和2年度からは、リーダーチャレンジ講座として、青少年リーダー養成事業との一体的な運営を進めます。宿泊研修やレクリエーションを通して、集団生活において、豊かな心を持ったリーダーとなる青少年の育成を図ります。</p>		
	参考指標		
	***	H30年度	***
		4年度までに	***
		6年度までに	***

「浦安市民の森」活用事業 /環境保全課 【再掲】 4-1-1、4-1-2	令和元年度 実績		
	市内在住の小学生以上を対象に「森林と親しむ講座」を開催しました（前期：7/6～7、後期：10/16～17）。地元の方の指導を受けながら、参加者計39名（前期：23名、後期16名）に森林体験の機会を提供しました。		
	今後の方向性		
	江戸川の水源地である高崎市倉淵に設置した「浦安市民の森」における森林と親しむ講座などの自然体験活動を通して、江戸川の水を生活用水とする市民の自然への理解や環境に対する意識の高揚を図ります。 なお、令和2年度は感染症対策として、「森林と親しむ講座」の開催を見合わせる予定ですが、状況が改善次第、再開を見込んでいます。		
	参考指標		
市内在住の小学生以上を対象とする「森林と親しむ講座」の実施回数	H30年度	年1回以上	
	4年度までに	年1回以上	
	6年度までに	年1回以上	
小学5年生対象の林間学校での「浦安市民の森」の活用者数（17校中）	H30年度	4校 250人	
	4年度までに	現状維持	
	6年度までに	現状維持	
キャリア教育の推進 /指導課 【再掲】 1-4-5、4-1-1	令和元年度 実績		
	キャリア教育研修会を年2回実施しました。第1回は講師を招へいし、キャリア教育の重要性・必要性について、第2回は指導課職員が令和2年度から始まる「キャリア・パスポート」の活用についての研修を行いました。研修の対象は、小中学校キャリア教育担当教員です。 また、各小・中学校においては、中学校区ごとに、小・中学校の学びの連続性を意識したキャリア教育モデルプランに基づき、職業調べや職場見学、職場体験学習等を実施しました。多くの中学校において、2日間の日程で、市内の事業所を中心に、職場体験を実施しました。		
	今後の方向性		
	キャリア教育の推進については、中学校区ごとのモデルプランの見直しを行い、令和3年2月実施のキャリア教育研修会でとりまとめ、小・中学校の連携を図っていきます。		
	参考指標		
「キャリア・パスポート」作成校数（26校中）	H30年度	—	
	4年度までに	26校	
	6年度までに	26校	
福祉教育の推進 /指導課 【再掲】 4-2-2	令和元年度 実績		
	福祉に関する理解を深めるために、8月に富岡中学校区で小・中・高連携教育の推進のための勉強会を行いました。		
	今後の方向性		

	福祉教育の推進については、学校と地域が連携・協働し、福祉教育を推進できるよう、学校訪問や各研修会を通じて中学校区の工夫を凝らした取り組みを紹介し、情報を共有しながら、地域の実情に合った福祉教育の推進を図ります。		
	参考指標		
	年間教育活動に「福祉教育」を位置付け、福祉に関する体験学習を計画的に実施している小・中学校数（26校中）	H30年度	26校
		4年度までに	26校
6年度までに		26校	
ふるさとuraやす立志塾の開催 /指導課 【再掲】4-1-1、5-1-1	令和元年度 実績		
	各中学校長から推薦を受けた学校のリーダーとして活躍する意欲のある中学2年生 27名が参加し、全4回6日間の研修を行いました。8月7～9日（2泊3日）実施した市内「ura・らめ〜る」での研修会では、市長をはじめ、様々な講師から、リーダーシップを発揮するうえで大切な考え方やスキルを学びました。 また、認知症を実体験するVR体験や境川リバーウォーク、投網舟乗船体験を行うことで、新たな浦安の魅力や今後の課題を発見し、ふるさとuraやすへの理解と愛着を深めるとともに、リーダーとしての自覚や資質能力を高めました。 平成23年度より開催しており平成31年度は9回目の開催となりました。		
	今後の方向性		
	ふるさとuraやす立志塾の開催については、各校のリーダーとしての資質・能力の向上及び21世紀を担うリーダーの育成に必要な研修内容となるよう、令和2年8月までに時期や方法の見直しを図り、将来を見据えたふるさと意識の醸成やリーダーとしての資質能力向上に資する研修にしていきます。		
	参考指標		
	塾生対象事後アンケートで、「友人や地域の意見を尊重できるようになった」に「とてもそう思う」と回答した割合	H30年度	74%
4年度までに		80%	
6年度までに		85%	

8-2-2 地域教育力の活用

事業名・担当部署	
青少年健全育成啓発事業 /青少年課	令和元年度 実績
	青少年健全育成連絡会と協力し、小学校5年生～中学生を対象に、標語コンクールを実施しました。 また、その中の作品を標語入り啓発物資（タックルバンド）に印刷し、チラシを同封したものの700セットを、市民向けに配布しました。また、標語入りプランター1個に球根10個を付けたものを103セット用意し、保育園、

	<p>幼稚園、認定こども園、小・中学校に配布しました。さらに、いちょう 110 番の家のキーホルダー1,421 個を小学校1年生に、クリアファイル 9,484 枚を保育園・幼稚園・認定こども園 5 歳児と小学校 2～6 年生に配布し、健全育成の啓発を行いました。</p>							
	<p>今後の方向性</p>							
	<p>青少年健全育成啓発事業としては、今後も青少年健全育成連絡会と協力し、オンラインを活用するなど、さまざまな事業に取り組み、より市民に青少年健全育成啓発事業を広めていけるよう周知方法や周知時期、啓発物資を検討していきます。</p>							
	<p>参考指標</p>							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="512 645 1099 692" rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">延べ参加者数</td> <td data-bbox="1099 645 1331 692" style="text-align: center;">H30 年度</td> <td data-bbox="1331 645 1498 692" style="text-align: center;">1,416 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1099 692 1331 739" style="text-align: center;">4 年度までに</td> <td data-bbox="1331 692 1498 739" style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1099 739 1331 790" style="text-align: center;">6 年度までに</td> <td data-bbox="1331 739 1498 790" style="text-align: center;">1,500 人</td> </tr> </table>	延べ参加者数	H30 年度	1,416 人	4 年度までに	—	6 年度までに	1,500 人
延べ参加者数	H30 年度		1,416 人					
	4 年度までに		—					
	6 年度までに	1,500 人						
<p>地域とともに歩む学校づくり 推進事業 /教育政策課・指導課・生涯学習課・公民館 【再掲】4-2-2、6-1-1、11-1-1</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度 実績</p> <p>【教育政策課】 地域と学校の連携及び協働体制を推進するため、小・中学校長から推薦された小学校 28 名、中学校 16 名、合計 44 名に学校支援コーディネーターを委嘱し、市内全小・中学校に配置しました。コーディネーターを中心に、地域と学校との協働活動を推進し、全小・中学校で延べ 27,000 人の地域ボランティアが学校の教育活動に参画しました。学校支援コーディネーターの役割や中学校区の活動、先進事例の紹介等を内容とする研修会（交流会）を年 3 回開催（延べ 140 人が参加）し、コーディネーター同士の連携が深まり、今後の活動に資する研修とすることができました。</p> <p>【指導課】 地域と学校の連携の一層の推進とキャリア教育の充実を図るため、地域内での職場体験先の確保など様々な場面で、学校支援コーディネーターを活用し、推進しました。</p> <p>【生涯学習課】 学校支援コーディネーターとの連携・協力を推進するため、青少年自立支援未来塾の事業説明の機会を設けたり、実際に各教室を見学する期間を設けたりするなど本事業の趣旨や取り組みに対する理解の深化に努めました。 また、学校支援コーディネーターをはじめ、公民館、学校、大学など地域にある教育機関との連携を通して、英語教室 21 名、数学教室 30 名の地域の方々に放課後の学習支援に携わっていただくなど地域人材の活用を図りました。</p> <p>【公民館】 男女共同参画センターと共催し、「”性別” って何だろう～見えない、見せないしんどさを抱える子どもに寄り添う～」を表題に、LGBTやジェンダーに関する講演会を行いました。生徒や職員、一般市民向けに対象を分け、3回の講演を実施し、延べ 200 名の聴講がありました。</p>							

	<p>富岡公民館では「ランニング講座「美走塾」」を開催し、富岡小学校と見明川小学校の3年生を対象に、ランニングの基本を習得する講座を開催しました。（富岡小 119 名、見明川小 110 名）また、市内小学校と連携し、生徒が描いた絵画や書道作品の展示を行いました。</p>		
	<p>今後の方向性</p>		
	<p>【教育政策課、指導課】</p> <p>学校支援コーディネーターの全小・中学校への配置を継続するとともに、研修会や学校、公民館等との交流会を実施し、学校支援コーディネーターが地域とのネットワークを構築できるようにしていきます。中学校区を基本に、学校支援コーディネーターを中心とする地域と学校の協働体制を整えます。</p> <p>また、浦安市におけるコミュニティ・スクールのあり方を検討するため、令和2年度にコミュニティ・スクールのあり方検討委員会を設置します。地域、家庭、学校が連携、協働していくための仕組みや方法について検討、協議します。</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>学校支援コーディネーターの持つ学校支援ボランティアのネットワークを放課後の学習支援にも活用できるよう更なる連携・協力の推進を図ります。</p> <p>また、学校における学習・体験活動への地域人材の活用を、公民館などの生涯学習施設・学校・家庭・地域など、多様な主体と連携・協力しながら推進します。</p> <p>【公民館】</p> <p>地域と学校の連携・協働活動を推進するため、学校との連携の下、公民館サークル等にその学習活動で培ったノウハウを還元できる機会の提供に努めます。</p>		
	<p>参考指標</p>		
	<p>学校支援ボランティア活動に参加した延べ人数</p>	<p>H30 年度</p>	<p>26,926 人</p>
		<p>4 年度までに</p>	<p>27,500 人</p>
		<p>6 年度までに</p>	<p>28,000 人</p>
<p>ふるさとふれあい教育活動推進事業 /指導課 【再掲】6-3-1</p>	<p>令和元年度 実績</p>		
	<p>浦安市教育ビジョンの5つの「めざす子ども像」の実現を支え、各幼稚園、小・中学校が、「地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり」を推進することを目的として、各々が設定した事業主題に基づいた教育活動を展開しました。保護者を含む地域の方々に学校に入ってボランティアをしていただいたり、児童生徒が地域の奉仕活動に参加したりするなど、地域の特色にあった開かれた学校づくりを行うことができました。</p>		
	<p>今後の方向性</p>		
	<p>ふるさとふれあい教育活動推進事業については、今後も成果と課題を踏まえ、修正を加えながら学校・地域・家庭が連携して進める教育活動（地域交流活動、学力向上への取り組み、文化・芸術・スポーツの推進など）や豊か</p>		

	な体験活動などを支援・助成していく予定です。		
	参考指標		
活用している園・校	H30 年度	40	
	4 年度までに	40	
	6 年度までに	40	

8-2-3 子どもの読書環境の整備

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
児童サービス事業 /中央図書館 【再掲】 2-2-1、7-3-3	図書館全体の年間貸出数は 1,394,341 点で、そのうち児童書は 299,517 点を貸出しました。また、幼稚園・認定子ども園・保育園・小学校において、15,542 名の子どもたちに読み聞かせなどを行いました。 年 1 回の推薦図書リストの発行、小学校および中学校の新 1 年生への図書館利用案内の配布を行いました。		
	今後の方向性		
	園、小・中学校と連携しながら、児童に対するサービスを推進します。中央図書館・各分館で借りた図書の記録を印字することができる読書通帳機を導入して、児童の図書館利用の推進を図ります。		
	参考指標		
	児童書の貸し出し冊数	H30 年度	367,898 冊
4 年度までに		420,000 冊	
6 年度までに		500,000 冊	
児童集会事業 /中央図書館 【再掲】 2-2-1、7-3-3、 8-1-2、8-1-3	中央図書館大規模改修工事休館中は、分館において「えほんのじかん」や「としょかんのちいさなおたのしみ会」等を開催し、3,319 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子どもたちや、子どもに関わる大人たちに読書の大切さを伝える集会事業を実施し、子どもたちの読書活動を推進します。		
	参考指標		
	「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「図書クラブ」など、児童集会事業への参加者数	H30 年度	5,653 人
4 年度までに		6,000 人	
6 年度までに		6,500 人	
浦安市子ども読書活動推進事業 /指導課・中央図書館 【再掲】 1-4-2、2-2-1、 4-2-1	令和元年度 実績		
	【指導課】 全小・中学校に 26 名の司書を配置するとともに、読書活動推進と図書室利用の促進を図りました。調べ学習や読書活動による図書館の利用時間は、市内全小・中学校を合わせて、年間 10,009 時間、館外での図書資料利用冊数は 584,631 冊と、各校の図書資料が有効に活用されています。		

	<p>また、平成 31 年度の浦安市学力調査の生活行動・学習活動調査によると、本を読んでいる児童生徒は、7割を超えていました。</p> <p>【中央図書館】</p> <p>園や小学校に出向いて行う読み聞かせ等は、年間で 683 回、延べ 15,542 名の子どもたちに実施しました。図書館職員が出向くことで、子どもたちが図書館に親しみを感じ、来館者が増えています。</p> <p>また、団体貸出による、学校図書館等への資料の援助を行いました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>【指導課、中央図書館】</p> <p>浦安市子ども読書活動推進事業については、「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」を9月に策定する予定です。これにに基づき、今後もより一層小・中学校の学校図書館の環境整備と図書資料の充実や学校司書の資質向上に努めます。</p> <p>また、中央図書館と学校図書館の連携を推進し、様々な図書資料から情報を得て活用できる子どもたちの育成を目指します。</p>		
	参考指標		
	幼稚園・認定こども園・保育園・小学校に出向き、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングを実施した回数	H30 年度	761 回
		4 年度までに	780 回
		6 年度までに	800 回
学校図書館の環境整備 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>読書活動や学習支援を推進するため、蔵書の内容を定期的に確認し、授業や子どものニーズに合った図書資料の整備を行っています。</p> <p>また、選書にあたっては学校司書が、実際に手に取って本の内容を確認できるような機会を設けています。</p>		
	今後の方向性		
	<p>学校図書館の環境整備については、読書活動、学習支援に生かせる蔵書を目指すために、各学校図書館の蔵書構成の把握に努めます。</p> <p>また、ブックフェア等実際に本の内容を知る機会を紹介し参加を勧めたり、研修内容を工夫したりします。学校図書館が各教科等様々な学習活動で利活用されるよう、日々の環境整備を推進します。</p>		
	参考指標		
	学校図書館を授業でとても利用している教職員の割合	H30 年度	20%
		4 年度までに	22%
		6 年度までに	25%

8-2-4 団体の活動支援と指導者育成

事業名・担当部署			
青少年リーダー養成事業 /青少年課 【再掲】8-2-1、11-1-1	令和元年度 実績		
	主に中学生を対象として、青少年健全育成活動のボランティアとして活躍できるリーダーの育成を図りました。(全8回、参加人数13名)		
	今後の方向性		
	令和2年度からは、リーダーチャレンジ講座として、ジュニアリーダー研修会との一体的な運営を進めます。宿泊研修やレクリエーションを通して、集団生活において、豊かな心を持ったリーダーとなる青少年の育成を図ります。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
青少年健全育成団体活動推進 /青少年課	令和元年度 実績		
	青少年健全育成団体の活動の推進を図るため、浦安市子ども会育成連絡協議会1団体に435,425円、子ども会33団体に962,661円、ボーイスカウト2団体に160,000円、ガールスカウト2団体に160,000円、浦安市青少年健全育成連絡会1団体に817,819円、浦安市リーダーズクラブ1団体に120,292円、青少年相談員連絡協議会1団体に650,000円の補助金を交付するなど、計41団体の活動推進を行いました。		
	今後の方向性		
	青少年健全育成団体活動推進事業としては、浦安市子ども会育成連絡協議会や子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、青少年相談員連絡協議会等の市内団体において、土・日曜日や長期休業期間での宿泊事業や体験学習事業を数多く開催しており、今後も市内団体と連携協力を図り、事業活動の推進をしていきます。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
青少年補導員連絡協議会補助金 /青少年センター	令和元年度 実績		
	青少年の非行防止及び健全育成を図るため、浦安市青少年補導員連絡協議会の活動に対し、700,000円の補助金を交付しました。青少年補導員の活動に必要な被服や補導活動の広報・啓発に必要な物資の購入、青少年補導員の資質向上に資する研修の開催等、協議会の運用に活用されました。		
	今後の方向性		
	青少年補導員連絡協議会補助金については、浦安市青少年補導員連絡協議会運営費補助金交付要綱に基づき、補助金を対象団体に交付することで、団		

	体活動の推進を図っていきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
6 年度までに		***	

8-2-5 青少年相談事業の充実

事業名・担当部署			
青少年補導員による街頭補導活動等の推進 /青少年センター	令和元年度 実績		
	<p>青少年非行の早期発見及び未然防止を目的とし、青少年補導員とともに警察等の関係諸機関と連携して、パトロールによる街頭補導（声かけ）を実施しました。（中央パトロール 25 回、地区パトロール 182 回、特別パトロール 34 回、計 241 回のパトロールを実施）</p>		
	今後の方向性		
	<p>青少年補導員による街頭補導活動等の推進については、関係諸機関との連携を強化して、青少年に「愛のひと声」を基調とした中央パトロールや地区パトロール、特別パトロールによる補導活動を実施します。</p> <p>また、令和2年度7月より学校ネットパトロール事業を開始します。学校非公式サイト等への問題のある書き込みや問題画像等の早期発見・早期対応によりインターネットによるいじめや犯罪被害等から児童生徒を守ります。</p>		
	参考指標		
	参加者数	H30 年度	1,777 人
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	1,800 人	
青少年相談事業 /青少年センター	令和元年度 実績		
	<p>青少年センター内に公認心理師などの専門相談員を配置し、電話相談や来所相談に対応しました。また、今年度11月から新たにメール相談の受け付けも開始し、より相談しやすい環境を整えることが出来ました。</p> <p>（電話相談延べ 97 回、来所相談延べ 38 回、メール相談延べ 4 回、計 139 回の相談対応）</p>		
	今後の方向性		
	<p>青少年相談事業については、引き続き、公認心理師などの専門相談員を配置し、青少年の問題行動や家庭、学校での悩み事について、本人やその家族等からの相談やメールによる相談を受け、問題解決に向けた適切な指導助言等を行っていきます。</p> <p>また、相談内容が複雑化し多岐にわたるケースも増えており、よりきめ細かな指導助言を行うとともに、適切な機関への紹介を行っていきます。</p>		
	参考指標		
	延べ相談回数	H30 年度	243 回

		4年度までに	—
		6年度までに	250回
不登校対策支援事業 /教育研究センター	令和元年度 実績		
	<p>訪問相談員が、浦安市内の不登校傾向、引きこもり傾向の児童生徒及び保護者を対象として、主に学校不適應に関する内容について、相談活動や学習指導等、個々に応じたきめ細かな指導・援助を行いました。</p> <p>また、小学校または中学校管理職を経験し生徒指導や保護者対応に精通した統括訪問相談員を2名配置し、個々の状況に応じた相談活動や学習支援を行うとともに、積極的に学校を訪問し連携を推進しました。訪問相談員及び統括訪問相談員による相談は延べ2,227回行いました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>不登校対策支援事業については、いちょう学級を通じ、定期的な学校訪問や会議などで情報共有を行い、学校及び関係機関との連携の拡充を図るとともに、学習指導・集団活動を通して、児童生徒の自己肯定感の向上や自己決定力の育成を支援していきます。</p>		
	参考指標		
	訪問相談員及び統括訪問相談員による相談回数	H30年度	2,318回
	4年度までに	2,300回	
	6年度までに	2,300回	
教育相談事業 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>児童生徒及び保護者対象に、学校生活及び教育全般にわたる諸問題に対し、スクールライフカウンセラーによる教育相談、いちょう学級による教育相談、いじめ110番電話相談・いじめメール相談、指導課学校生活相談等、電話・メール・面接相談を実施しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>教育相談事業については、スクールライフカウンセラーによる教育相談、いちょう学級による教育相談、いじめ110番電話相談・いじめメール相談、指導課学校生活相談等により、児童生徒及び保護者対象に精神的な悩みの発見、相談、解消のために適切な援助・助言を継続していきます。</p>		
	参考指標		
	「浦安市小・中学生生活実態調査」の「学校に行くのは楽しいですか」の質問に対する否定的な回答の割合	H30年度	小9.8% 中8.3%
4年度までに		小9% 中7.9%	
6年度までに		小8.8% 中7.7%	

いじめ対策事業 /指導課	令和元年度 実績		
	<p>いじめ防止等に関する児童生徒及び保護者の意識啓発を図るため、クリアファイルを作成し、配付しました。そして、いじめの防止等のための対策を実効的に行うため、いじめ対策調査委員会を年3回開催しました。浦安市教育委員会内に設置している「いじめ110番」専用電話では年間で12件、「いじめメール相談」では年間で3件の相談を受理しました。</p> <p>さらに、生徒指導体制の充実のため各小・中学校の生徒指導担当教諭を対象に「いじめの理解・組織対応の重要性」などをテーマとした研修会を年間3回実施しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>いじめ対策事業については、児童生徒の実態を踏まえ、「学校いじめ防止基本方針」の点検と必要に応じた見直しを進めると共に、本市におけるいじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進していきます。</p>		
	参考指標		
相談件数	H30年度	23件	
	4年度までに	25件	
	6年度までに	30件	
適応指導教室事業 /教育研究センター	令和元年度 実績		
	<p>いちょう学級における教育相談を延べ3,478回、訪問相談を延べ2,227回行いました。学校生活に関すること、心や身体のこと、その他個々の状況に応じて、児童生徒、保護者、教育関係者に対し、相談活動を通して支援しました。</p> <p>また、不登校やひきこもり傾向になった児童生徒に対し、相談活動や学習指導等、個に応じたきめ細かな指導・援助を行うとともに、小集団での活動を通して、ゆるやかな学校復帰を支援しました。いちょう学級の延べ利用人数は猫実で1,058名、入船で2,054名、合計3,112名でした。</p>		
	今後の方向性		
	<p>不登校対策支援としてのいちょう学級については、学習支援・教育相談・訪問相談の3部門で運営し、いちょう学級猫実、いちょう学級入船において児童生徒、保護者、教育関係者に対し、相談活動を通しての支援を継続して行います。</p> <p>また、統括訪問相談員が児童生徒の個に応じたきめ細かな指導・援助や学校を核とするケース会議の推進等を通して、学校復帰や社会的自立への支援を継続して行います。</p> <p>さらに、まなびサポートチームの医師相談等も活用するとともに特別支援教育の視点を生かした不登校支援・相談業務の充実をはかります。</p>		
	参考指標		

	いちょう学級(学習支援)利用児童生徒延べ人数(人)	H30年度	3,087人
		4年度までに	3,000人
		6年度までに	3,000人
青少年相談員事業 /青少年課	令和元年度 実績		
	青少年事業を自主的に企画・運営しており、企画会議・主催事業で延べ539名の相談員が参加しています。令和元年度は、委嘱された52名の相談員が夏のキャンプやブラックシアター発表会など、5回の主催事業を行っており、延べ681名の小・中学生等が参加しました。		
	今後の方向性		
	青少年相談員事業については、地域での青少年健全育成活動における貢献度は高く、参加した児童生徒はもとより、保護者からも高い評価を得ているため、今後も青少年相談員と連携をとり、引き続き青少年の健全育成を図っていきます。		
	参考指標		
	延べ参加者数	H30年度	1,418人
4年度までに		—	
6年度までに		1,500人	

8-3 成人の学習機会の提供

8-3-1 多様な学習機会や情報の提供

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
生涯学習情報提供システム運営事業 /生涯学習課 【再掲】6-1-1、7-2-1、11-3-1	市民の学習活動のさらなる充実を図るため、市からの情報だけでなく、市民団体やサークル、講師、人材が直接情報を発信できる「まなびねっとURAYASU」を運営しました。団体や人材などの登録数は前年度より増加しました。		
	また、SNSと連携した情報提供を行うとともに、公民館に関する情報発信を強化するため、公民館情報の専用ページを作り、公民館のマイページや公民館関連情報を集約表示できるよう改修を実施しました。 登録数：654件（団体：544団体 講師・人材：110名）		
	今後の方向性		
	公民館講座の掲載等のコンテンツの充実や、団体・人材の登録、活用を図っていきます。		
	参考指標		
	生涯学習情報提供システムへのアクセス数	H30年度	7,994件
4年度までに		—	
6年度までに		15,000件	
市民参加型事業の推進 /公民館	令和元年度 実績		
	サークル・団体や地域の方が主体となり、様々な体験講座を開催しまし		

【再掲】 8-4-1	た。フラダンスサークルによるフラダンス体験や琴の体験、合奏サークルによるコンサートなど7事業、延べ630名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	市民主体または公民館との協働での企画立案による学習活動の促進及び市民、団体等の活動拠点としての機能の充実を図ります。 また、サークル等による自主的な活動を支援し、サークル活動の発展と学習成果を地域に還元するよう促進するための支援を行います。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
成人対象事業 /公民館	令和元年度 実績		
	市民が生涯にわたり学習できるよう、市民のライフスタイルや学習ニーズに対応した健康、生活・暮らし改善、文化教養事業など72事業、延べ5,254名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	市民が生涯にわたり学習できるよう、各種講座・教室等の充実を図ります。		
	参考指標		
「成人」の事業への延べ参加者数	H30年度	111,260人	
	4年度までに	—	
	6年度までに	122,300人	
公民館情報誌発行事業 /公民館 【再掲】 7-2-1	令和元年度 実績		
	公民館が主催・共催する各種講座の参加案内やお知らせなどの情報を発信するため、公民館情報誌「ルネサンス」を発行し、新聞折り込みでの配布や公共施設等の窓口に設置を行いました。(年4回発行、各47,000部)		
	今後の方向性		
	今後も継続し、各種講座・教室やイベントの開催などの詳細について、広く市民に情報を発信していきます。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
レファレンスサービス事業 /中央図書館 【再掲】 7-1-1、7-2-1、 7-3-3、8-3-4	令和元年度 実績		
	中央図書館休館により、メールや分館で受けた調査等について、図書館資料や、データベース等を活用し、75,209件の案内サービスを実施しました。また利用者満足度は概ね満足が全体の9割を達成しました。		
今後の方向性			

	レファレンスサービス事業については、レファレンス事例の公開を検討する等、さらなる広報を行い市民への周知を図ります。また、調査回答における利用者満足度調査の検証・改善を進め、市民の課題解決の支援を行っていきます。		
	参考指標		
実施数	H30 年度	107,232 件	
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	110,000 件	

8-3-2 地域課題に関する学習機会の提供

事業名・担当部署			
地域参加交流事業 /公民館	令和元年度 実績		
	公民館を利用する方の老若男女を超えた交流の機会とするため、運動室や体育館の開放、高齢者を対象とした各地域で開催される合唱サロン、子育てソーシャルミーティングなど、47 事業、861 回、延べ 14,096 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	老若男女の壁を超えた交流の機会を増やし、誰もが自分の居場所だと感じられるような地域づくりを目指します。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	

8-3-3 現代的課題の学習機会の創出

事業名・担当部署			
現代的課題事業 /公民館 【再掲】7-1-1	令和元年度 実績		
	平和や人権問題、環境問題、国際理解、防災や防犯、男女共同参画等の様々な現代的課題に応じた 35 事業を実施し、延べ 2,022 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	市民一人ひとりが互いに尊重しあう社会を目指すため、多様な価値観に触れて知識や考察を深めることのできる学習機会の充実を図ります。		
	参考指標		
	現代的課題に関する事業の延べ参加者数	H30 年度	2,165 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		2,380 人	

8-3-4 キャリア形成のための学習機会の充実

事業名・担当部署			
就労支援事業 /公民館 【再掲】 7-1-3	令和元年度 実績		
	「夢や目標設定の重要性」をテーマに、元スポーツ選手の講演会を実施し、30名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	就労支援事業については、労働は社会を支える根幹であり、特に若年層・女性の就労のための学習情報の提供や労働者のキャリアアップ学習を推進します。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
創業支援セミナー /中央図書館・商工観光課	令和元年度 実績		
	【中央図書館、商工観光課】 浦安商工会議所と連携し、開業予定または創業を考えている市民に向けて、創業支援セミナーを開催（年2回開催・各回30名定員を想定）し、4日間コースと6日間コースの全2回に、計69名の方が参加しました（うち52名が修了）。		
	今後の方向性		
	【中央図書館】 創業支援セミナーについては、年2回程度の創業支援セミナーを開催し、開業を予定または創業を考えている市民に、必要な資料や情報を提供して、支援を行います。 【商工観光課】 創業支援セミナーについては、国の認定を受けた「創業支援計画」に基づく「特定創業支援事業」となっていることから、令和2年度についても、年2回の創業支援セミナーを開催し、開業を予定または創業を考えている市民に、必要な資料や情報を提供して、支援を行っていく予定ではありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、検討中となっています。		
	参考指標		
	創業支援セミナー修了者数	H30年度	62人
4年度までに		—	
6年度までに		60人	
レファレンスサービス事業 /中央図書館 【再掲】 7-1-1、7-2-1、7-3-3、8-3-1	令和元年度 実績		
	中央図書館休館により、メールや分館で受けた調査等について、図書館資料や、データベース等を活用し、75,209件の案内サービスを実施しました。 また、利用者満足度は、「概ね満足」が全体の9割を達成しました。		

	今後の方向性		
	レファレンスサービス事業については、レファレンス事例の公開を検討する等、さらなる広報を行い市民への周知を図ります。 また、調査回答における利用者満足度調査の検証・改善を進め、市民の課題解決の支援を行っていきます。		
	参考指標		
	実施数	H30 年度	107,232 件
4 年度までに		—	
6 年度までに		110,000 件	

8-3-5 アクティブシニアの活用と学習支援

事業名・担当部署			
ミドルシニア世代事業 /公民館	令和元年度 実績		
	ミドルシニア世代の地域交流・仲間づくりを支援するため、船釣り入門講座を実施し、82 名が参加しました。		
	今後の方向性		
	向老期からの男性の仲間づくりや地域活動を促すための交流・学習機会の充実を図ります。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	
コミュニティ・カレッジうらやす /公民館	令和元年度 実績		
	人生のセカンドステージを楽しく健やかに暮らしていただけるよう、約半年間のカリキュラムを組んだ高齢者対象のカレッジを開講しました。日の出・中央公民館の 2 館で実施し、日の出公民館で延べ 241 名、中央公民館で延べ 244 名が参加しました。終活講座や笑いヨガ、介護施設の見学など、様々な分野の講座を実施しました。		
	今後の方向性		
	実生活に即した教養の向上を図り、地域による生きがいつくりと仲間づくりに繋がるよう、内容の充実を図ります。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	

8-4 高齢者の学習機会の提供

8-4-1 世代間交流の推進と社会参加の支援

事業名・担当部署			
市民参加型事業の推進 /公民館 【再掲】8-3-1	令和元年度 実績		
	サークル・団体や地域の方が主体となり、様々な体験講座を開催しました。フラダンスサークルによるフラダンス体験や琴の体験、合奏サークルによるコンサートなど7事業、延べ630名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	市民主体または公民館との協働での企画立案による学習活動の促進及び市民、団体等の活動拠点としての機能の充実を図ります。 また、サークル等による自主的な活動を支援し、サークル活動の発展と学習成果を地域に還元するよう促進するための支援を行います。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
郷土博物館ボランティア活動 /郷土博物館 【再掲】10-3-1、11-1-1	令和元年度 実績		
	博物館ボランティア「もやいの会」の活動を支援し、郷土博物館で行う体験教室、イベント等への協力体制をつくることにより、各種事業の準備や学校の受け入れなど博物館運営の活性化を図りました。「もやいの会」をはじめとして、延べ1,082名のボランティアの方々の協力が得られました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館ボランティア活動については、今後もボランティアの方々と協力し、博物館運営を行うとともに、新規ボランティア参加者の育成などにも取り組んでいきます。		
	参考指標		
	延べ協力者数	H30年度	1,113人
4年度までに		—	
6年度までに		1,200人	
ビデオ定点撮影 /郷土博物館 【再掲】10-3-1、11-1-1	令和元年度 実績		
	社会教育関係団体「浦安ビデオクラブ」の協力によるビデオ教材の制作を目的とした撮影（市内定点18か所）を行いました。		
	今後の方向性		
	ビデオ定点撮影については、今後も浦安ビデオクラブの協力のもと実施し、本市の記録資料として保存するほか、教材等の素材として広く活用していきます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	

		6年度までに	***
--	--	--------	-----

8-4-2 生きがいと健康づくりの推進

事業名・担当部署			
高齢者生きがい対策事業 /公民館	令和元年度 実績		
	高齢者の交流を深め、生きがいづくりや健康づくりを支援するため、介護予防健康体操（おたっしや体操教室）や口腔体操、シニアサロンなど 33 事業 728 回を実施し延べ 15,995 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するため、健康体操や文化教養講座、サロン事業などの充実を図ります。		
	参考指標		
	「高齢者」の事業への延べ参加者数	H30 年度	21,361 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		23,600 人	

第9節 生涯スポーツの振興と健康づくりの推進

9-1 スポーツを楽しむ機会と情報の提供

9-1-1 スポーツ事業の充実

事業名・担当部署			
オリンピック・パラリンピック等選手育成補助金事業 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	オリンピック・パラリンピック等選手育成補助金事業については、同大会出場を目指す高い意欲や意識のある優秀な選手の育成を図ることを目的として、オリンピック・パラリンピック等選手育成補助金を交付しています。令和元年度は 12 名の有望選手に育成補助金を交付しました。		
	今後の方向性		
	次年度以降、2020 年東京大会に限らず、将来的にオリンピック・パラリンピック選手候補となる選手に対して、補助金を交付できるよう選定委員会にて基準の見直しを行います。		
	参考指標		
	オリンピック・パラリンピック等選手育成補助金交付人数	H30 年度	12 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		13 人	
浦安スポーツフェア /市民スポーツ課 【再掲】3-1-1、9-1-3	令和元年度 実績		
	台風 19 号の影響で中止となりました。		
	今後の方向性		
	浦安スポーツフェアについては、延期となった東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技種目を取り入れるなど、機運の醸成に努めながら、スポーツの振興と市民相互の親睦を図ります。		

	参考指標		
	浦安スポーツフェアでの体験者数	H30 年度	12,674 人
		4 年度までに	—
		6 年度までに	13,000 人
東京ベイ浦安シティマラソン /市民スポーツ課 【再掲】3-1-1、9-1-2	令和元年度 実績		
	<p>東京ベイ浦安シティマラソンについては、3 km、10km、ハーフの部を実施しました。</p> <p>7,176 名の方々にエントリーいただき、6,699 名が出走しました。ハーフの部では、シンボルロード沿いの学校及び商業施設や居住地に対する影響が少ないコースとするため、一部コースを変更しました。</p> <p>また、ゲストランナーとして猫ひろし氏を招へいするなど、多くの方々に楽しんでいただき、スポーツの振興、体力づくりのきっかけとすることができました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>主会場の装飾を含め、参加者や観客者の満足度を更に高めるとともに、コース沿道の住民や商業施設を巻き込んで、沿道を盛り上げるなど、市民に親しんでもらえる大会となるよう検討していきます。</p> <p>また、エントリー条件の見直し、スタート時の安全性の確保や棄権者の対応方法など、より成熟した大会となるよう、引き続き、検討していきます。</p>		
	参考指標		
	東京ベイ浦安シティマラソンにエントリーした人の当日参加率	H30 年度	88.8%
		4 年度までに	—
6 年度までに		90%以上	
スポーツの集い /市民スポーツ課 【再掲】7-1-2、9-1-3	令和元年度 実績		
	<p>スポーツの集いについては、市民が気軽に体験できるスポーツイベントとして、トリムバレーボールやファミリーバドミントン、スラックラインなど全 10 種目に加え、オリンピック・パラリンピック競技種目から、ボッチャ・ゴールボール・車いすバスケットボールを実施しました。延べ 2,515 名が参加しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>スポーツの集いについては、これまで浦安市運動公園で実施してきましたが、今後は、浦安公園で開催される春まつりに合わせて実施します。</p> <p>また、令和 2 年度については、春まつりの中止に伴い本事業も中止となりました。</p>		
	参考指標		
	みんなのスポーツの集い参加者数	H30 年度	1,000 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		1,200 人	

トップアスリート支援事業 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	トップアスリート支援事業については、千葉ロッテマリーンズ、バルドラル浦安、ブリオベッカ浦安、NTTコミュニケーションズシャイニングアークスの4団体に対して支援を行い、市民の皆様のスポーツへの関心を高め、「みるスポーツとして市民の連帯感の高揚」を図りました。		
	今後の方向性		
	バルドラル浦安のホームゲーム無料観戦招待のほか、NTTコミュニケーションズのラグビー応援バスツアー、ロッテのイースタン・リーグの運営支援など「みるスポーツ」の機会を提供し、市民の機運醸成を図ります。 また、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ロッテのイースタン・リーグ実施球場が変更となり浦安開催を中止としています。		
	参考指標		
本市を拠点とするトップスポーツチームへの市民の愛着度(市民意識調査)	H30年度	—	
	4年度までに	—	
	6年度までに	60%	
学校体育施設開放事業 /市民スポーツ課 【再掲】9-3-2	令和元年度 実績		
	学校体育施設開放事業については、自主運営のための学校体育施設運営協議会を、新たに全校に設立し、地域貢献の一環として、美化活動等に取り組むとともに、新規団体についても自主的に受け入れを行いました。		
	今後の方向性		
	学校体育施設開放事業については、引き続き実施します。		
	参考指標		
利用者数	H30年度	270,300人	
	4年度までに	—	
	6年度までに	270,400人	
スポーツ交流事業補助金 スポーツ交流事業 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	スポーツ交流事業補助金については、昨年度、新発田市と下妻市の両市を、本市で受け入れました。令和元年度は新発田市、下妻市にそれぞれ子ども達を連れていき、スポーツでの交流を実施しました。 また、姉妹都市であるオーランド市との交流として、11月に4名の市民を派遣し、2月の東京ベイ浦安シティマラソンの際には5名のオーランド選手の受け入れを行いました。こうした活動を通して、親善と友好を深めると同時に、スポーツの振興を図りました。		
	今後の方向性		
新発田市・下妻市交流については、今後も継続してスポーツを通じた交流を行います。 また、令和2年度のスポーツ交流事業はいずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。			

	参考指標		
	スポーツ交流事業種目数	H30 年度	4 種目
		4 年度までに	—
		6 年度までに	6 種目

9-1-2 各種体育大会の実施

事業名・担当部署			
軽スポーツ大会 /市民スポーツ課 【再掲】7-1-2	令和元年度 実績		
	軽スポーツ大会については、市民の健康増進、体力づくりを目的として、いつでもどこでも手軽に楽しめるスポーツの振興・普及を図るために、ミニバレーボール大会を実施し、約40名が参加しました。		
	今後の方向性		
	軽スポーツ大会については、より多くの参加者（特に小学生）に参加いただけるよう、スポーツ推進委員連絡協議会と協議しながら競技種目や運営方法を検討・実施し、さらなるスポーツの振興を図ります。		
	参考指標		
	軽スポーツ大会の参加者数	H30 年度	50 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		60 人	
市民体育大会 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	市民体育大会については、春季大会で、22 種目開催し、参加者は 6,634 名、夏季・秋季大会では 25 種目開催し、参加者は 8,834 名、冬季大会は新型コロナウイルスの影響で中止になりました。		
	今後の方向性		
	市民体育大会については、市教育委員会やスポーツ協会、軽スポーツ協会の共催事業とし、加盟団体の運営のもと、春・秋を中心に各種競技の市民体育大会を行うことで、市民がスポーツを親しみ、楽しむことのできる機会と場を提供します。 また、令和2年度の春季大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止でしたが、秋季大会については各団体の判断により実施を検討します。		
	参考指標		
	市民大会1回の参加者数	H30 年度	9,223 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		9,300 人	
少年体育大会 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	少年体育大会については、春・秋に少年を対象とした少年野球大会を開催しました。春は25チーム、秋には24チームが参加し、参加者は選手・指導者合わせて1,003名でした。		
	今後の方向性		

	<p>少年体育大会については、市教育委員会や少年スポーツ団体（少年野球）の共催事業とし、少年野球連盟の運営のもと、春・秋を中心に少年体育大会を行うことで、市民がスポーツを親しみ、楽しむことのできる機会と場を提供します。</p> <p>また、令和2年度の春季大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止でしたが、秋季大会については各団体の判断により実施を検討します。</p>		
	参考指標		
	市民大会1回の（1部、3部）合計参加チーム数	H30年度	24チーム
		4年度までに	—
	6年度までに	25チーム	
<p>東京ベイ浦安シティマラソン /市民スポーツ課 【再掲】3-1-1、9-1-1</p>	令和元年度 実績		
	<p>東京ベイ浦安シティマラソンについては、3km、10km、ハーフの部を実施しました。</p> <p>7,176名の方々にエントリーいただき、6,699名が出走しました。ハーフの部では、シンボルロード沿いの学校及び商業施設や居住地に対する影響が少ないコースとするため、一部コースを変更しました。</p> <p>また、ゲストランナーとして猫ひろし氏を招へいするなど、多くの方々に楽しんでいただき、スポーツの振興、体力づくりのきっかけとすることができました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>主会場の装飾を含め、参加者や観客の満足度を更に高めるとともに、コース沿道の住民や商業施設を巻き込んで、沿道を盛り上げるなど、市民に親んでもらえる大会となるよう検討していきます。</p> <p>また、エントリー条件の見直し、スタート時の安全性の確保や棄権者の対応方法など、より成熟した大会となるよう、引き続き、検討していきます。</p>		
	参考指標		
	東京ベイ浦安シティマラソンにエントリーした人の当日参加率	H30年度	88.8%
		4年度までに	—
	6年度までに	90%以上	
<p>少年親善スポーツ大会 /青少年課 【再掲】4-2-2、8-2-1</p>	令和元年度 実績		
	<p>小学校4～6年生を対象に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることを目的として実施しています。12チーム計173名が参加しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>少年親善スポーツ大会については、スポーツを通して他の学校の児童と親睦を図ることや、健康的な体力づくり、協調性や仲間との友情を育む効果があるため、今後も継続して実施していきます。</p>		
	参考指標		
	参加者数	H30年度	292人
4年度までに		—	

		6年度までに	300人
--	--	--------	------

9-1-3 健康づくりに関する学習機会の充実

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
健康づくり事業 /公民館	健康増進、疾病予防を目的とした運動の習慣化を図り、体力の向上を目指すため、気軽に楽しめる太極拳やトレッキング、免疫力アップピラティスなどの体験事業 11 事業 38 回延べ 465 名を実施しました。		
	今後の方向性		
	健康に関する知識の普及・啓発を図り、市民が健康に関心を持てるようなきっかけづくりを行うために、軽スポーツや食育、健康体操などの日常生活に取り入れられる事業を実施します。		
	参考指標		
	各公民館の運動事業延参加者数	H30 年度	20,434 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		23,000 人	
スポーツの集い /市民スポーツ課 【再掲】 7-1-2、9-1-1	令和元年度 実績		
	スポーツの集いについては、市民が気軽に軽スポーツを体験できるイベントとして、トリムバレーボールやファミリーバドミントン、スラックラインなど全 10 種目に加え、オリンピック・パラリンピック競技種目推進の一環としてボッチャ・ゴールボール・車いすバスケットボールといった種目も実施し、延べ 2,515 名が参加しました。		
	今後の方向性		
	スポーツの集いについては、これまで浦安市運動公園で実施してきましたが、今後は、浦安公園で開催される春まつりに合わせて実施します。 また、令和 2 年度については、春まつりの中止に伴い本事業も中止となりました。		
	参考指標		
みんなのスポーツの集い参加者数	H30 年度	1,000 人	
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	1,200 人	
浦安スポーツフェア /市民スポーツ課 【再掲】 3-1-1、9-1-1	令和元年度 実績		
	台風 19 号の影響で中止となりました。		
	今後の方向性		
	浦安スポーツフェアについては、延期となった東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技種目を取り入れるなど、機運の醸成に努めながら、スポーツの振興と市民相互の親睦を図ります。		
参考指標			

	浦安スポーツフェアでの体験者数	H30 年度	12,674 人
		4 年度までに	—
		6 年度までに	13,000 人

9-1-4 スポーツ関連の情報提供

事業名・担当部署			
体育施設等予約管理システムの維持管理事業 /市民スポーツ課 【再掲】9-3-3	令和元年度 実績		
	体育施設等予約管理システムの維持管理事業については、同システムを更新し、体育施設の予約等に関して、利用者の方々が使いやすい環境を整備しました。		
	今後の方向性		
	随時、利便性を向上できるよう、利用者のニーズに柔軟に対応します。		
	参考指標		
	システム更新の実施	H30 年度	—
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	システム更新	

9-2 スポーツ推進体制の整備

9-2-1 市民スポーツ団体の育成支援と連携強化

事業名・担当部署			
軽スポーツ協会活動費補助金 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	軽スポーツ協会活動費補助金については、市民大会等を行っている軽スポーツ協会（9 団体加盟）に対して、軽スポーツの普及と軽スポーツを通じた市民の健康増進・体力づくりを図るため、補助金を交付しました。		
	今後の方向性		
	事業内容等を精査しながら引き続き実施します。 ※令和3年度からスポーツ協会と統合予定です。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
スポーツ協会活動費補助金 （体育協会活動費補助金） /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	スポーツ協会活動費補助金については、市民大会の開催や千葉県民体育大会への選手派遣を行っているスポーツ協会（24 団体加盟）に対して、市民スポーツの育成とスポーツ振興を図るため補助金を交付しました。		
	今後の方向性		
	事業内容等を精査しながら引き続き実施します。 令和2年度千葉県民大会については、一部競技を除き新型コロナウイルス		

	の影響で中止となりました。		
	参考指標		
スポーツ協会の会員数	H30 年度	13,349 人	
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	13,500 人	
少年スポーツ団体活動費補助金/市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	少年スポーツ団体活動費補助金については、少年スポーツ団体の育成や競技力向上、青少年のスポーツ振興を図るため、補助金を交付しました。		
	今後の方向性		
	事業内容等を精査しながら引き続き実施します。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	

9-2-2 地域に根ざしたスポーツ関係団体の支援

事業名・担当部署			
総合型地域スポーツクラブ支援事業 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	市内6つの総合型スポーツクラブで組織される浦安市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（以下「浦スポ」という。）主催の会議に出席し、助言を行ったほか、浦スポ主催事業に消耗品を提供するなど側面的な支援を実施しました。		
	今後の方向性		
	総合型地域スポーツクラブ支援事業については、スポーツクラブ設立を目指す地域への支援、また各クラブの活動を振興させることにより多くの市民の方々への貢献ができるように今後進めていきます。		
	参考指標		
	総合型地域スポーツクラブ数	H30 年度	6
4 年度までに		—	
6 年度までに		7	
スポーツ推進委員連絡協議会活動費補助金 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	中央地区（中央公民館・当代島公民館）、新浦地区（日の出公民館・高洲公民館）の2地区でスポーツレクリエーションの普及活動を行っているスポーツ推進委員連絡協議会に対して、スポーツレクリエーションを通じた市民の体力向上と健康増進を図るため、補助金を交付しました。		
	今後の方向性		
	スポーツ推進委員連絡協議会活動補助事業については、市民の体力向上と健康増進を目的に、健全なスポーツレクリエーションの振興や普及活動を実施しているスポーツ推進委員連絡協議会に活動経費補助をしていきます。ま		

	た、地域スポーツ大会事業(地区大会)や公民館主催事業への講師派遣といった協力などの活動も行っており、今後も引き続き経費の補助を行います。		
	参考指標		
	スポーツ推進委員の数	H30年度	29人
		4年度までに	—
6年度までに		35人	

9-3 スポーツ施設の環境の整備

9-3-1 施設整備事業

事業名・担当部署			
運動公園スポーツ施設整備事業 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	運動公園スポーツ施設の再整備計画については、駐車場の増設や屋外トイレの新設など施設整備に着手しました。 また、運動公園スポーツ施設機能検証結果に基づき、市民懇談会を開催し市民ニーズを把握した上で、再整備計画の策定に取り組みました。		
	今後の方向性		
	運動公園スポーツ施設整備事業については、ブリオベッカ浦安競技場（陸上競技場）に得点表示盤の実施設計を行います。また、野球場観覧席増設の検討を行います。		
	参考指標		
	計画に基づく整備	H30年度	調査・検討
4年度までに		—	
6年度までに		整備	

9-3-2 小中学校の体育施設等の有効活用

事業名・担当部署			
学校体育施設開放事業 /市民スポーツ課 【再掲】9-1-1	令和元年度 実績		
	学校体育施設を開放し、スポーツの振興を図りました。 また、各学校で開放団体が自主的に運営に取り組む学校体育施設運営協議会を、新たに全校設立し、美化活動等に取り組むとともに、新規団体についても受け入れを行いました。		
	今後の方向性		
	学校体育施設開放事業は引き続きを地域に開放を行い、スポーツの振興を図ります。		
	参考指標		
	利用者数	H30年度	270,300人
4年度までに		—	
6年度までに		270,400人	

9-3-3 スポーツ施設の効果的・効率的利用

事業名・担当部署			
指定管理者制度の活用 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	指定管理者制度を活用し、運動公園、中央武道館、東野プールをより快適な利用環境を提供するとともに、効率的な運営・管理を行いました。		
	今後の方向性		
	引き続き、運動公園・中央武道館・東野プールの管理・運営を指定管理者に委託します。		
	参考指標		
	指定管理施設数（施設）	H30年度	3
4年度までに		—	
6年度までに		検討	
体育施設等予約管理システムの維持管理事業 /市民スポーツ課 【再掲】9-1-4	令和元年度 実績		
	予約管理システムを更新し、体育施設の予約等に関して、利用者の方々が使いやすい環境を整備しました。		
	今後の方向性		
	随時、利便性を向上できるよう、利用者のニーズに柔軟に対応します。		
	参考指標		
	システム更新の実施	H30年度	—
4年度までに		—	
6年度までに		システム更新	

第10節 ふるさと浦安の芸術・文化の振興

10-1 芸術文化活動の活性化

10-1-1 市民の芸術文化活動の促進と情報提供

事業名・担当部署			
青少年文化・芸術支援事業 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	市内の文化芸術の振興及び若手芸術家の研鑽の場・交流の場とすることを目的に、「うらやす管弦楽フェスティバル」及びクラシック音楽中心の青少年コンサート「市民まつり青少年音楽祭」を行いました。うらやす管弦楽フェスティバルは参加者 58 名、来場者 405 名、市民まつり青少年音楽祭は出演 9 団体 265 名、来場者 1,243 名でした。 また、音楽ホールや文化会館、市民プラザが実施する事業を広報や市ホームページで紹介、文化芸術団体が実施する取り組みの後援を行いました。		
	今後の方向性		
	小さなころから身近な場所で文化芸術にふれ、学び、体験できるよう、青少年が文化芸術に触れる機会の充実を図るとともに、若手芸術家の育成を促進していきます。		

	参考指標		
	参加者数	H30 年度	2,985 人
		4 年度までに	—
		6 年度までに	3,000 人
文化振興事業 /生涯学習課 【再掲】10-2-2	令和元年度 実績		
	<p>市民が気軽に文化芸術活動に触れる機会を提供するとともに、参加するサークルや団体の活性化を図ることを目的に、「令和元年度 第7回うらやす文化市場～きて！みて！体験！～」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。</p> <p>また、芸術鑑賞事業として、音楽ホールや文化会館、市民プラザにおいて、国内外よりアーティストを招聘したコンサートの開催や、市民参加事業として、ダンスや演劇のワークショップなどを開催しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>市民が質の高い舞台芸術に接する機会を提供するため、音楽ホール、文化会館、市民プラザにおいて、優れた舞台演劇や音楽などの芸術を招へいする芸術鑑賞事業や、市民自ら参加する市民参加型事業を開催していきます。</p>		
	参考指標		
	参加者・来場者数	H30 年度	1,303 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		1,400 人	
街頭パフォーマンスライセンス制度の運用 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	<p>音楽やダンスなどのアーティストに公共施設などを発表活動の場として提供し、まちの賑わいや交流のある日常的な時間と空間を生み出すとともに、市民が気軽に文化芸術に触れる機会として、平成 30 年度に街頭パフォーマンスライセンス制度を創設しました。</p> <p>令和元年度には 41 団体（117 名）が登録しました。街頭ステージは、令和元年 7 月～令和 2 年 3 月までの間に 10 団体で延べ 41 コマの利用がありました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>「街頭パフォーマンスライセンス制度」に基づき、引き続き、街頭パフォーマンスの募集や登録を行い、一定の審査基準により登録を認めたアーティストにライセンスを与え、活動を促進していきます。</p>		
	参考指標		
	登録数	H30 年度	41 件
4 年度までに		—	
6 年度までに		45 件	

10-1-2 芸術文化団体等の育成支援と連携強化

事業名・担当部署			
芸術文化団体等との連携 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	市美術展は市美術協会との連携による運営委員会を設置し、作品展示や審査を行いました。市写真展は市内写真サークル7団体との連携協力により行いました。		
	今後の方向性		
	引き続き市民による主体的な芸術文化活動を支援していくとともに、文化振興事業の運営における協力関係を強化していきます。		
	参考指標		
	連携事業数	H30年度	3
4年度までに		—	
6年度までに		4	
文化団体活動補助金 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	文化芸術活動をしている社会教育関係団体6団体の活動費の一部に対して、補助金4,440,890円を交付しました。		
	今後の方向性		
	文化芸術振興のため、引き続き、社会教育関係団体の事業の一部に対して補助金を交付していきます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
4年度までに		***	
6年度までに		***	

10-1-3 文化施設などの環境の整備

事業名・担当部署			
市民プラザ設備改修事業 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	令和元年7月から令和2年3月までの期間で、大ホールの舞台機構改修や小ホールの室の配置変更、市民ギャラリー増設をはじめ、バリアフリー対策として段差の解消やトイレの改修、LED照明への変更など、施設の改修工事を行いました。		
	今後の方向性		
	令和元年度に大規模改修工事が終了しましたが、新型コロナウイルス感染予防対策により、6月1日にリニューアルオープンしました。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
4年度までに		***	
6年度までに		***	

10-2 芸術文化を体験する学習機会の充実

10-2-1 市民の自主的な芸術文化活動の推進

事業名・担当部署							
美術展覧会 /生涯学習課	令和元年度 実績						
	市写真展、市美術展、市民手工芸作品展を開催することにより、市民の自主的な芸術活動を支援しました。市写真展には 114 点の出品、517 名が来場しました。市美術展には 223 点の出品、1,323 名が来場しました。市民手工芸作品展には 109 点の出品、460 名が来場しました。						
	今後の方向性						
	市民文化の振興発展のため市美術展を昭和 36 年から実施しており、出品作品のレベルも向上し、他の公募展を目指す出品者も増加しています。 また、平成 29 年度より市美術展から独立して市写真展を開催し、写真技術の向上を図るとともに、写真を愛好する人達の輪を広げ、写真によるまちづくりを推進しました。市民手工芸作品展は、平成 10 年度から実施し、手工芸が幅広く誰でも手がけることのできる創作活動であることから、市民文化振興の裾野を広げるために有効な事業であると考えています。 今後についても、市内の文化団体やサークルなどへの働きかけはもちろん、より多くの出品作品を展示できるよう、作品募集の周知・徹底を図っていきます。						
	参考指標						
出品点数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30 年度</th> <th>477 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 年度までに</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>6 年度までに</td> <td>500 点</td> </tr> </tbody> </table>	H30 年度	477 点	4 年度までに	—	6 年度までに	500 点
H30 年度	477 点						
4 年度までに	—						
6 年度までに	500 点						

10-2-2 芸術文化に関する学習機会の提供

事業名・担当部署	
文化振興事業 /生涯学習課 【再掲】10-1-1	令和元年度 実績
	市民が気軽に文化芸術活動に触れる機会を提供するとともに、参加するサークルや団体の活性化を図ることを目的に、「令和元年度 第7回うらやす文化市場～きて！みて！体験！～」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。 また、芸術鑑賞事業として、音楽ホールや文化会館、市民プラザにおいて、国内外よりアーティストを招聘したコンサートの開催や、市民参加事業として、ダンスや演劇のワークショップを開催しました。
	今後の方向性
	市民が質の高い舞台芸術に接する機会を提供するため、音楽ホール、文化会館、市民プラザにおいて、優れた舞台演劇や音楽などの芸術を招へいする芸術鑑賞事業や、市民自ら参加する市民参加型事業を開催していきます。

	参考指標		
	参加者・来場者数	H30年度	1,303人
		4年度までに	—
		6年度までに	1,400人
人形劇鑑賞会経費 /指導課	令和元年度 実績		
	園児の豊かな情操をかん養する機会として、人形劇鑑賞会を市内14の幼稚園・認定こども園で実施しました。		
	今後の方向性		
	人形劇鑑賞会については、園児の豊かな情操を高めることを目的とし、今後も全園での実施を予定しています。人形劇鑑賞会委託先の劇団の選択肢を広げるために、経費や選定方法の内容の検討、人形劇鑑賞会の事業の周知を図っていきます。		
	参考指標		
	事後のアンケート調査での「園児の豊かな情操を養う活動となった」の質問に対する肯定的な回答の割合	H30年度	80.3%
4年度までに		—	
6年度までに		85%	

10-3 郷土の歴史・文化の理解を深める

10-3-1 郷土博物館運営の充実

事業名・担当部署			
郷土博物館ボランティア活動 /郷土博物館 【再掲】8-4-1、11-1-1	令和元年度 実績		
	博物館ボランティア「もやいの会」の活動を支援し、郷土博物館で行う体験教室、イベント等への協力体制をつくることにより、各種事業の準備や学校の受け入れなど博物館運営の活性化を図りました。「もやいの会」をはじめとして、延べ1,082名のボランティアの方々の協力が得られました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館ボランティア活動については、今後もボランティアの方々と協力し、博物館運営を行うとともに、新規ボランティア参加者の育成などにも取り組んでいきます。		
	参考指標		
	延べ協力者数	H30年度	1,113人
4年度までに		—	
6年度までに		1,200人	
ビデオ定点撮影 /郷土博物館 【再掲】8-4-1、11-1-1	令和元年度 実績		
	社会教育関係団体「浦安ビデオクラブ」の協力によるビデオ教材の制作を目的とした撮影（市内定点18か所）を行いました。		
	今後の方向性		

	ビデオ定点撮影については、今後も浦安ビデオクラブの協力のもと実施し、本市の記録資料として保存するほか、教材等の素材として広く活用していきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
		6 年度までに	***
郷土博物館活用推進事業 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	博物館を学校教育の場として提供することを推進するために、郷土博物館活用推進委員会と連携し、夏季休業中の児童生徒の学習支援を行いました。企画展「もっと知りたいふるさと浦安」の中で、活用推進委員の協力のもと、6 日間、ふるさと浦安研究に関する児童生徒の相談会を実施しました。小学生 52 名、中学生 32 名からの相談があり、活用推進委員や博物館学芸員から助言を行いました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館活用推進事業については、今後も博学連携に取り組んでいく中で、学校と郷土博物館とのさらなる連携を図りながら、児童生徒への郷土の理解を深めていきます。		
	参考指標		
	活用団体数（回）	H30 年度	311 回
4 年度までに		—	
6 年度までに		300 回	
資料整理・調査 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	郷土博物館調査報告 第 16 集「浦安の漁撈用具 3 浦安の漁法一覧・海苔網・延縄」の作成に取り組みました。		
	今後の方向性		
	資料整理・調査については、今後も博物館法に基づき、資料の収集・整理及び調査に努めていきます。		
	参考指標		
	刊行数	H30 年度	1 冊
4 年度までに		—	
6 年度までに		1 冊	
講演会事業 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	企画展「大塚勉写真展」の開催に合わせ、関連イベントとして、写真家北井一夫氏と大塚勉氏の対談式の講演会と、大塚勉氏の講演会を開催しました。また、浦安に関する講座として、「貝殻に絵を描こう」を 9 回開催し、延べ 196 名の参加者がありました。		

	今後の方向性		
	講演会事業については、今後も企画展のテーマに合わせた学習機会の提供の場として、積極的に取り組んでいきます。		
	参考指標		
	実施数	H30 年度	11 回
4 年度までに		—	
6 年度までに		11 回	
三番瀬を活用した環境学習の 推進 /郷土博物館・指導課 【再掲】4-1-2、5-1- 1	令和元年度 実績		
	【郷土博物館】 市民団体と連携し、館外体験事業として野鳥観察会（28 名参加）や干潟観察会（48 名参加）を行いました。 また、学芸員講座として「魚の体を調べてみよう」（10 名参加）、「浦安の貝を見分けよう」（13 名参加）、「海の日イベント 三番瀬の生き物タッチプール」（自由見学）等、間接的に三番瀬を活用する事業を実施しました。		
	【指導課】 社会科の〔第 3 学年及び第 4 学年〕の「身近な地域や市の特徴ある地形、土地利用の様子」等において、学習材料の一つとして三番瀬の活用を図り、ふるさと浦安の歴史・文化等を理解する学習をとおして、郷土愛を深めました。		
	今後の方向性		
	【郷土博物館、指導課】 三番瀬を活用した環境学習の推進については、三番瀬環境観察館と連携し、今後も観察会等を実施し、身近な自然を知る機会を提供することで、ふるさと意識の高揚や自然を大切にすることを育んでいきます。		
	参考指標		
	三番瀬環境観察館を利用した事業数	H30 年度	—
4 年度までに		3	
6 年度までに		3	
展示事業 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	漁師の息子として育った浦安出身の写真家の企画展「大塚勉写真展～浦安に生まれて～ Site 埋立地 1971-2019 生成する場」（会期：11 月 2 日（土）～12 月 8 日（日） 入場者：4,459 人）と「浦安の海苔養殖」会期：1 月 4 日（土）～3 月 1 日（日） 入場者：5,878 人）を開催しました。		
	今後の方向性		
	展示事業については、今後も博物館の調査などの発表の場として活用し、来館者の郷土学習の場として提供できるよう、取り組んでいきます。		
	参考指標		
	展示会の実施数	H30 年度	4 回
4 年度までに		—	

		6年度までに	4回
文化財審議会 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	浦安市文化財審議会条例に基づき、7名の委員により会議を3回開催しました。市指定有形文化財「清瀧神社本殿」の改修工事や市指定天然記念物「豊受神社の大銀杏」の樹勢診断調査などについて審議しました。		
	今後の方向性		
	文化財審議会については、今後も文化財の保護・管理・活用等に係る意見をいただき、市内文化財・史跡について適正な管理に努めていきます。		
	参考指標		
	会議開催数	H30年度	5
	4年度までに	—	
	6年度までに	5	
展示リニューアル事業 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	漁師町時代の浦安の歴史や文化を後世に伝え残すことをコンセプトにしてきた、これまでの常設展示に、埋め立て事業以降の歴史や文化、まちの発展を伝える展示を加えるため、常設展示等のリニューアルの基本設計・実施設計を行いました。		
	今後の方向性		
	展示リニューアル事業については、浦安市郷土博物館展示リニューアル基本構想を策定し、基本設計・実施設計を行ったことで、新たなニーズに応える展示リニューアルに向けた取り組みを進めていきます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	

10-3-2 ふるさと浦安の生活文化を知る機会の提供

事業名・担当部署	
ふるさと浦安作品展 /郷土博物館 【再掲】1-2-2、2-2-1、 5-1-1	令和元年度 実績
	「ふるさと浦安」に関する作品制作や研究により、ふるさとを愛する気持ちを育てるため、作品展を開催しました。小学生376点、中学生1,333点の合計1,709作品の出展がありました。16日間で4,230名の入場者がありました。
	今後の方向性
	ふるさと浦安作品展については、郷土博物館活用推進委員会をはじめ、各学校と連携し、内容の充実・参加の促進に努めていきます。 また、浦安に関する理解を図ることを目的として開催する企画展「もっと知りたいふるさと浦安」と作品制作や研究をサポートする「ふるさと浦安相談会」を充実させ、児童生徒が主体的な学び、浦安の理解を深め、郷土愛を

	育んでいきます。		
	参考指標		
	市内全児童生徒数に対する、作品展参加人数の割合	H30年度	8.5%
		4年度までに	10%
		6年度までに	12%
	奨励賞以上の作品の内容のうち、市民生活の進歩や発展に向けた考えが表現されている作品の割合	H30年度	18%
		4年度までに	30%
		6年度までに	50%
ふるさと浦安伝承事業 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	ふるさと浦安の文化を伝承するため、伝統芸能・技術保存団体が、学校（2校）への出前講座や郷土博物館の主催事業への協力を行いました。また、市主催のイベント（嫁入り舟、水神祭）に出演しました。		
	今後の方向性		
	ふるさと浦安伝承事業については、今後も各保存会と協力し、地域の文化の伝承に努めていきます。		
	参考指標		
	実施数	H30年度	10回
		4年度までに	—
6年度までに		10回	
ふるさと浦安の歴史・地域学習の充実 /指導課 【再掲】5-1-1	令和元年度 実績		
	社会科副読本を活用した小学3・4年生の社会科学習を通し、地域の理解を深め、ふるさと浦安に対する誇りや愛情を育みました。社会科副読本・同指導書の改訂委員会議を9回開催し、令和2年度版社会科副読本「わたしたちの浦安」の発行に向け、協議及び改訂作業を行いました。 また、新学習指導要領を踏まえ、子どもたちに、ふるさと浦安への郷土愛を一層育むことができる内容となるよう、指導書の改訂作業も併せてすすめました。		
	今後の方向性		
	ふるさと浦安の歴史・地域学習の充実については、博学連携や学習機会の一層の推進に努めるため、郷土博物館活用の学習プログラムの検討について、博物館活用推進委員会と連携します。その成果を令和4年版社会科副読本・同指導書の改訂作業（年7回実施）に生かすとともに、学校訪問等を通して、ふるさと浦安への郷土愛を一層育むための授業づくりへ指導・助言を行っていきます。		
	参考指標		
	「浦安市小・中学生生活実態調査」で、「自分の住んでいる町や地域が好きか」の質問に「とても好き」と回答した割合	H30年度	68.6%
		4年度までに	75%
6年度までに		80%	

10-3-3 ふるさと浦安の伝統文化の保護と継承者の育成

事業名・担当部署			
伝統芸能・技術保存団体活動 補助 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	郷土博物館の主催事業や季節行事（博物館まつりナイト、公開練習、新春獅子舞など）に伝統的な芸能や技術に触れる場を設け、多く市民が来場しました。また、浦安お洒落・浦安囃子・浦安細川流投網・浦安舟大工技術の各保存会の活動を支援する補助金を交付しました。（各団体 30 万円）		
	今後の方向性		
	伝統芸能・技術保存団体活動補助については、今後も児童生徒をはじめ市民が郷土芸能や技術に触れる機会を設け、周知のきっかけとし、積極的に郷土文化の普及に繋げることができるように努めていきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
伝統文化の保護・継承・公開 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	伝統文化の保護・継承・公開を目的に、郷土博物館での定期公開練習の実施や実演を披露することにより、伝統文化の保護・公開や後継者の募集・育成を努めました。		
	今後の方向性		
	伝統文化の保護・継承・公開については、今後も無形文化財の保存会に練習会場を提供すると同時に練習を公開し、伝統文化に触れる機会を充実させ、後継者育成のきっかけとなるように努めていきます。		
	参考指標		
	実施数	H30 年度	40 回
4 年度までに		—	
6 年度までに		40 回	

10-3-4 文化財の保護と啓発

事業名・担当部署			
文化財調査 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	市内唯一の天然記念物「豊受神社の大銀杏」の樹勢診断調査を行いました。		
	今後の方向性		
	文化財調査については、適宜必要な調査を実施し、文化財審議会への諮問・答申を受けながら適切な保護に努めていきます。		
	参考指標		
実施数	H30 年度	1 回	
	4 年度までに	—	

		6年度までに	1回
--	--	--------	----

第11節 地域に生きる生涯学習活動の支援

11-1 学習支援のための人材育成と活用

11-1-1 地域の学びを支える人材の育成・活用

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
郷土博物館ボランティア活動 /郷土博物館 【再掲】 8-4-1、10-3-1	博物館ボランティア「もやいの会」の活動を支援し、郷土博物館で行う体験教室、イベント等への協力体制をつくることにより、各種事業の準備や学校の受け入れなど博物館運営の活性化を図りました。「もやいの会」をはじめとして、延べ1,082名のボランティアの方々の協力が得られました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館ボランティア活動については、今後もボランティアの方々と協力し、博物館運営を行うとともに、新規ボランティア参加者の育成などにも取り組んでいきます。		
	参考指標		
	延べ協力者数	H30年度	1,113人
	4年度までに	—	
	6年度までに	1,200人	
ビデオ定点撮影 /郷土博物館 【再掲】 8-4-1、10-3-1	令和元年度 実績		
	社会教育関係団体「浦安ビデオクラブ」の協力によるビデオ教材の制作を目的とした撮影（市内定点18か所）を行いました。		
	今後の方向性		
	ビデオ定点撮影については、今後も浦安ビデオクラブの協力のもと実施し、本市の記録資料として保存するほか、教材等の素材として広く活用していきます。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
地域とともに歩む学校づくり 推進事業 /教育政策課・指導課・生涯学習課・公民館 【再掲】 4-2-2、6-1-1、8-2-2	令和元年度 実績		
	【教育政策課】 地域と学校の連携及び協働体制を推進するため、小・中学校長から推薦された小学校28名、中学校16名、合計44名に学校支援コーディネーターを委嘱し、市内全小・中学校に配置しました。 コーディネーターを中心に、地域と学校との協働活動を推進し、全小・中学校で延べ27,000人の地域ボランティアが学校の教育活動に参画しました。 学校支援コーディネーターの役割や中学校区の活動、先進事例の紹介等を		

内容とする研修会（交流会）を年3回開催（延べ140人が参加）し、コーディネーター同士の連携が深まり、今後の活動に資する研修とすることができました。

【指導課】

地域と学校の連携の一層の推進とキャリア教育の充実を図るため、地域内での職場体験先の確保など様々な場面で、学校支援コーディネーターを活用し、推進しました。

【生涯学習課】

市民の学習活動のさらなる充実を図るため、市からの情報だけでなく、市民団体やサークル、講師、人材が直接情報を発信できる「まなびねっとURAYASU」を運営しました。団体や人材などの登録数は前年度より増加しました。

また、SNSと連携した情報提供を行うとともに、公民館に関する情報発信を強化するため、公民館情報の専用ページを作り、公民館のマイページや公民館関連情報を集約表示できるよう改修を実施しました。

登録数：654件（団体：544団体 講師・人材：110名）

【公民館】

男女共同参画センターと共催し、「”性別”って何だろう～見えない、見せないしんどさを抱える子どもに寄り添う～」を表題に、LGBTやジェンダーに関する講演会を行いました。生徒や職員、一般市民向けに対象を分け、3回の講演を実施し、延べ200名の聴講がありました。

富岡公民館では「ランニング講座「美走塾」」を開催し、富岡小学校と見明川小学校の3年生を対象に、ランニングの基本を習得する講座を開催しました。（富岡小119名、見明川小110名）また、市内小学校と連携し、生徒が描いた絵画や書道作品の展示を行いました。

今後の方向性

【教育政策課、指導課】

学校支援コーディネーターの全小・中学校への配置を継続するとともに、研修会や学校、公民館等との交流会を実施し、学校支援コーディネーターが地域とのネットワークを構築できるようにしていきます。中学校区を基本に、学校支援コーディネーターを中心とする地域と学校の協働体制を整えます。

また、浦安市におけるコミュニティ・スクールのあり方を検討するため、令和2年度にコミュニティ・スクールのあり方検討委員会を設置します。地域、家庭、学校が連携、協働していくための仕組みや方法について検討、協議します。

【生涯学習課】

公民館講座の掲載等のコンテンツの充実や、団体・人材の登録、活用を図っていきます。

【公民館】

	地域と学校の連携・協働活動を推進するため、学校との連携の下、公民館サークル等にその学習活動で培ったノウハウを還元できる機会の提供に努めます。		
	参考指標		
	学校支援ボランティア活動に参加した延べ人数	H30 年度	26,926 人
		4 年度までに	27,500 人
		6 年度までに	28,000 人
青少年リーダー養成事業 /青少年課 【再掲】8-2-1、8-2-4	令和元年度 実績		
	主に中学生を対象として、青少年健全育成活動のボランティアとして活躍できるリーダーの育成を図りました。(全8回、参加人数13名)		
	今後の方向性		
	令和2年度からは、リーダーチャレンジ講座として、ジュニアリーダー研修会との一体的な運営を進めます。宿泊研修やレクリエーションを通して、集団生活において、豊かな心を持ったリーダーとなる青少年の育成を図ります。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
ジュニアリーダー研修会 /青少年課 【再掲】4-1-1、8-2-1	令和元年度 実績		
	小学校4年生～6年生を対象に、行動力・受容力・表現力を身につけることを目的に研修を行いました。全8回の各種体験活動や交流活動を通じて、心豊かなリーダーの育成を図るプログラム内容で実施しました。令和元年度は40名が受講しました。		
	今後の方向性		
	令和2年度からは、リーダーチャレンジ講座として、青少年リーダー養成事業との一体的な運営を進めます。宿泊研修やレクリエーションを通して、集団生活において、豊かな心を持ったリーダーとなる青少年の育成を図ります。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
	4 年度までに	***	
	6 年度までに	***	
社会教育委員会 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	定例会5回、臨時会2回の会議を実施しました。会議においては、第2次浦安市生涯学習推進計画及び浦安市生涯学習スポーツ推進計画について意見をいただくとともに、社会教育委員の提言テーマなどについて検討しました。		

	今後の方向性		
	社会教育委員が、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べることにより、本市社会教育の発展を図るため設置しているものです。今後も定例及び臨時に会議を開催し、社会教育の推進に関し助言をいただいでいきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
6 年度までに		***	
公民館運営審議会 /公民館	令和元年度 実績		
	公民館の運営や各種事業について調査審議するための審議会を開催しました。(年6回：5月、7月、9月、11月、1月、3月開催)		
	今後の方向性		
	公民館運営審議会について、公民館のあり方や生涯学習の実践のための手法などを調査審議しており、今後も市民の学習ニーズに沿った社会教育の実現を目指して円滑な審議会運営を行っていきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	
図書館協議会 /中央図書館	令和元年度 実績		
	年3回の会議及び1回の県外への視察を実施し、図書館運営の参考にしました。		
	今後の方向性		
	今後も定期的に会議を開催し、団体代表、学識経験者、市民の代表の意見を伺い、図書館運営の参考としていきます。		
	参考指標		
	会議開催数	H30 年度	4 回
4 年度までに		—	
6 年度までに		4 回	
郷土博物館活用推進委員会 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	博物館の基本コンセプトである「学校教育に生かせる博物館」を推進するため、年5回の会議を実施しました。 また、夏休みの研究や作品制作をサポートする「ふるさと浦安相談会」において小学生52名、中学生32名からの相談を受けました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館活用推進委員会については、今後も学校教育における博物館の授業活用を推進し、また、ふるさと浦安作品展への児童・生徒の参加促進に努めていきます。		

	参考指標		
	会議開催数	H30 年度	5 回
		4 年度までに	—
		6 年度までに	5 回
スポーツ推進委員 /市民スポーツ課	令和元年度 実績		
	市民の体力向上と健康増進を目的に、スポーツレクリエーションの振興や、普及活動を実施しました。		
	今後の方向性		
	地区活動や、スポーツ推進委員主催事業を通して、本市のスポーツ振興・普及、また、市民の健康増進に取り組みます。 また、市主催イベントにも引き続き協力していきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
6 年度までに		***	

11-1-2 人と地域をつなぐ学びの推進

事業名・担当部署			
地域コーディネート事業 /公民館	令和元年度 実績		
	サークル活動を通じた地域づくりを推進するため、サークル活動を通して学んだ学習の成果を地域に還元できるよう、公民館がコーディネート役として取り組みサークル主導の体験講座や、団体活動の成果発表の場としてのコンサートなど、7 事業開催し、延べ 601 名が参加しました。		
	今後の方向性		
	地域コーディネート事業については、生涯学習活動を通じた地域活動を推進するために、サークルや人材の育成・発掘を目指します。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
6 年度までに		***	

11-2 学習成果の活用場の機会の提供

11-2-1 学習成果を生かす環境の整備

事業名・担当部署			
公民館文化祭 /公民館 【再掲】7-3-1	令和元年度 実績		
	サークル、団体の学習成果の発表や地域の交流の場とするため、各公民館において地域の特色を活かした文化祭を開催しました。(延べ人数 23,525 名) ※高洲公民館は大型台風 19 号により、開催を中止しました。		

	今後の方向性		
	公民館を利用し、学習活動を展開しているサークル・団体等の学習成果の発表や親睦の場や地域交流の場とするため、引き続き公民館文化祭の充実度を高めます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	

11-2-2 社会教育関係団体等との連携・協働

事業名・担当部署	
社会教育関係団体の育成と指導者育成・発掘 /公民館・生涯学習課	令和元年度 実績
	<p>【公民館】</p> <p>地域還元となるような包括的、継続的な社会教育活動を行っている団体を社会教育関係団体と承認し、使用料の減免を認め、さらなる活動を推進しました。</p> <p>また、サークル・団体の指導者を対象に、社会教育や生涯学習に関する講演やサークルの成果発表を兼ねた、公民館利用者研修会を開催し、140 名が参加しました。</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>社会教育活動に取り組む団体に対しての支援を行い、学習指導者を発掘すると同時に、学習の成果を地域に生かせるよう人材登録の充実を図りました。</p> <p>また、社会教育関係団体の育成や活動支援の現状について、公民館の職員とともに、情報を共有しました。</p>
	今後の方向性
	<p>【公民館】</p> <p>社会教育関係団体の育成と指導者育成・発掘については、引き続き社会教育関係団体と積極的に連携し、交流及び学習活動を進めていきます。</p> <p>また、指導役としてリーダーシップを発揮できる環境づくり、人材発掘・活用などに努めます。</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>社会教育関係団体の認定制度のあり方を検討していくとともに、公民館におけるサークル団体支援事業や地域コーディネート事業とうまく結び付けていくことで、サークル団体活動の成果が地域に生かされるよう取り組んでいきます。</p> <p>また、市民の学びが地域に生かせるよう、指導者の育成や発掘に取り組んでいきます。</p>
	参考指標

		H30 年度	***
	***	4 年度までに	***
		6 年度までに	***
地域連携事業 /公民館	令和元年度 実績		
	社会福祉協議会と共催し、各地域ごとに参加者相互の交流や親睦を深めるため、合唱、そば打ち、落語鑑賞、お茶会など7事業実施し、延べ717名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	豊かで多様な生涯学習・社会教育の環境づくりのため、様々なサークルや市民活動団体、NPOなどに着目し、連携の充実を目指します。		
	参考指標		
	地域主体との連携事業延団体数（文化祭除く）	H30 年度	55
4 年度までに		—	
6 年度までに		60	
世界一行きたい科学広場 in 浦安 実行委員会補助金 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	サイエンスショーや科学実験を通して、子どもが楽しみながら科学への好奇心や創造力を育みことを目的に、地域の団体や企業をはじめ、市内外の学校等が参加し開催する「世界一行きたい科学広場 in 浦安」実行委員会に対し、補助金 459,869 円を支出しました。		
	今後の方向性		
	事業目的の達成のため、また事業にかかる経費に対する適切な補助を考慮しながら、補助金を交付していきます。		
	参考指標		
	来場者数	H30 年度	2,406 人
4 年度までに		2,500 人	
6 年度までに		2,700 人	
参加団体数	H30 年度	40 団体	
	4 年度までに	45 団体	
	6 年度までに	50 団体	

11-2-3 サークル・団体等の活動の支援

事業名・担当部署	
サークル・団体活動支援事業 /公民館	令和元年度 実績
	サークルや団体での活動を行うための活動拠点として、公民館の室場の提供を行い、延べ 377,277 名が利用しました。また、令和元年 10 月 1 日の消費税増税に伴い、施設使用料を見直し、昼夜の料金を統一しました。
	今後の方向性
	サークル団体活動支援事業については、活動拠点として、公民館の施設環境を整えるとともに、公民館運営審議会の答申をもとに整備した育成支援策

	の定着・推進を目指します。		
	参考指標		
公民館利用者研修会の参加者数	H30 年度	104 人	
	4 年度までに	—	
	6 年度までに	110 人	

11-3 生涯学習推進体制の充実

11-3-1 施設のネットワークの推進

事業名・担当部署	令和元年度 実績			
生涯学習情報提供システム運営事業 /生涯学習課 【再掲】6-1-1、7-2-1、8-3-1	市民の学習活動のさらなる充実を図るため、市からの情報だけでなく、市民団体やサークル、講師、人材が直接情報を発信できる「まなびねっとURAYASU」を運営しました。団体や人材などの登録数は前年度より増加しました。 また、SNSと連携した情報提供を行うとともに、公民館に関する情報発信を強化するため、公民館情報の専用ページを作り、公民館のマイページや公民館関連情報を集約表示できるよう改修を実施しました。 登録数：654 件（団体：544 団体 講師・人材：110 名）			
	今後の方向性			
	公民館講座の掲載等のコンテンツの充実や、団体・人材の登録、活用を図っていきます。			
	参考指標			
	生涯学習情報提供システムへのアクセス数	H30 年度	7,994 件	
		4 年度までに	—	
6 年度までに		15,000 件		
施設間事業連携	令和元年度 実績			
/公民館・中央図書館・郷土博物館	<p>【公民館】</p> <p>郷土博物館との共催事業では、海苔すき体験や郷土料理教室、自然観察会など5事業実施し、延べ52名の参加がありました。</p> <p>また、児童センターが併設されている高洲公民館では、こども卓球大会を開催し、10名が参加しました。</p> <p>【中央図書館】</p> <p>公民館主催の「コミュニティカレッジうらやす」、「うらやす市民大学」の参加者に対して、中央図書館よりパスファインダー(調べもの案内)を提供するとともに、参考となる図書館資料を紹介しました。</p> <p>【郷土博物館】</p> <p>市内公民館と連携し、わらぞうりづくり体験や郷土料理教室など(全5回)の共催事業を実施しました。</p>			

	<p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <p>【公民館】 今後各施設の機能を生かし、積極的に学習機会を提供します。 また、市内の生涯学習施設等との連携協力体制を強化するとともに、様々な情報を共有し、事業実施における人材等の相互活用を図ります。</p> <p>【中央図書館】 施設間事業連携については、今後も公民館等との連携について充実に努めます。他の学習施設等の事業に対しては、テーマに関連した図書館資料の展示やパスファインダーの提供を通じた支援を推進します。</p> <p>【郷土博物館】 施設間事業連携については、今後も公民館との連携について充実に努めていきます。</p> <p style="text-align: center;">参考指標</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%;">H30 年度</td> <td style="width: 25%;">***</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">***</td> <td>4 年度までに</td> <td>***</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6 年度までに</td> <td>***</td> </tr> </table>		H30 年度	***	***	4 年度までに	***		6 年度までに	***
	H30 年度	***								
***	4 年度までに	***								
	6 年度までに	***								
市内大学との連携事業 /公民館・中央図書館・ 郷土博物館	<p style="text-align: center;">令和元年度 実績</p> <p>【公民館】 市内在住の小学校高学年を対象に、「うらやすこどもクエスト」を開講しました。各大学が会場となり、大学の専門分野に応じた学習テーマを小学生向けの内容にし、講義を行いました。4 回実施し、延べ 167 名が参加しました。</p> <p>【中央図書館】 市内大学の新入生に、図書館の利用案内を配布しました。</p> <p>【郷土博物館】 明海大学からの団体見学やボランティア実習（1 名）を受け入れました。また、文化財審議会委員の協力をいただきました。</p> <p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <p>【公民館】 大学が有する資源を活かし、多様な事業の企画・運営や、地域の活性化を目指して豊かな学習環境づくりに取り組みます。</p> <p>【中央図書館】 市内大学と連携し、新入生に図書館の利用案内を配布する等、今後も学生の図書館利用の推進に努めます。 また、大学図書館または市立図書館の利用者から要請があれば、それぞれが所蔵する資料について、図書館を通じて相互貸借や閲覧ができるように学習機会の提供を図ります。</p> <p>【郷土博物館】 市内大学との連携事業については、今後も、団体見学やボランティア実習の受け入れなどを行っていきます。</p>									

	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
		6 年度までに	***
明海大学図書館市民開放事業 /中央図書館	令和元年度 実績		
	明海大学浦安キャンパスメディアセンター（図書館）の開放事業を継続し、市民への適切な学習機会の拡大や学習情報提供サービスの充実を図りました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により 3 月以降の学外利用が休止となりました。		
	今後の方向性		
	明海大学図書館と連携しながら、相互貸借による資料貸出の継続及び団体貸出の再開について検討していきます。 また、明海大学図書館の利用案内について、市民への周知を行い、市民の学習機会の充実を図ります。		
	参考指標		
	明海大学浦安キャンパスメディアセンター （図書館）への入館者数	H30 年度	3,964 人
4 年度までに		—	
6 年度までに		4,500 人	

11-3-2 職員の資質向上

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
生涯学習関係職員研修 /生涯学習課	生涯学習部の職員を対象に、講演会方式の研修会を 2 回（令和元年 11 月 29 日、令和 2 年 1 月 31 日）、視察研修会を 1 回（令和 2 年 2 月 18 日、市川市）開催したほか、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター及びさわやかちば県民プラザ主催の研修会に、延べ 23 名の職員を派遣しました。このうち、公民館及び生涯学習課の職員 2 名を国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催の社会教育主事講習に派遣しました。		
	今後の方向性		
	生涯学習に関連する情報の共有と、生涯学習施設・職員相互の連携を密にし、事業企画立案能力やコーディネート力など、地域において社会教育・生涯学習行政の施策を推進する職員としての資質・能力の向上を図る機会として実施します。また、社会教育主事の養成に努めていきます。		
	参考指標		
	延べ参加者数	H30 年度	93 人
		4 年度までに	—
6 年度までに		100 人	

公民館職員研修 /公民館	令和元年度 実績		
	公民館職員の資質及び能力の向上を図るため、社会教育実践研究センターや県公民館連絡協議会などが実施する研修事業に積極的に職員を派遣し、社会教育への知見を深めました。		
	今後の方向性		
	研修会や各自治体との意見交換会を通して、職員の資質および能力の向上を目指します。		
	参考指標		
	全国公民館セミナーなどの延べ参加者数	H30年度	28人
4年度までに		—	
6年度までに		32人	
図書館職員研修 /中央図書館	令和元年度 実績		
	全体研修2回、特別研修2回を開催したほか、他機関主催の研修等に職員を派遣し、スキルアップを図りました。		
	今後の方向性		
	司書としての専門性を磨き、高い水準の市民サービスを維持するため、研修計画に基づいて職員のスキルアップを図っていきます。令和2年度は、リモートでの開催に移行している外部研修も増えていることから、より多く受講できる機会であると捉え、積極的に参加していきます。		
	参考指標		
	全体研修実施数	H30年度	6回
4年度までに		—	
6年度までに		6回	
郷土博物館職員研修 /郷土博物館	令和元年度 実績		
	千葉県史料保存活用連絡協議会等が主催する研修会に参加し、博物館職員として、業務に必要な専門知識や技術を習得し、スキルアップを図りました。		
	今後の方向性		
	郷土博物館職員研修については、今後も開催される研修会等に参加し職員のスキルアップに努めていきます。		
	参考指標		
	研修会参加回数	H30年度	5回
4年度までに		—	
6年度までに		5回	
青少年センター相談員研修 /青少年センター	令和元年度 実績		
	児童虐待対応研修会や発達協会 2020 春のセミナーに参加しました。 (・市川児童相談所；児童虐待対応研修会 4回、・公益社団法人発達協会；発達協会 2020 春のセミナー1回)		
	今後の方向性		

	<p>青少年センター相談員研修については、相談員相互の情報の交換、相談員の研修会及び関係機関への会議等に参加することで相談員の資質の向上を図ります。</p>		
	<p>参考指標</p>		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
		6 年度までに	***

11-3-3 庁内における生涯学習の推進

事業名・担当部署			
生涯学習まちづくり出前講座 /生涯学習課 【再掲】7-1-1	令和元年度 実績		
	<p>市民の生涯学習の機会として、行政情報を提供することで市政への理解を深めたまちづくりを進めていくため、市職員を 34 回派遣しました。</p> <p>主な派遣先は、自治会や浦安市内の保育園・学校等で、講座内容は、誤嚥性肺炎・歯周病予防、むし歯・歯周病予防教室、骨密度の簡易測定等、健康福祉に関する講座が多く開催されました。(出前講座パンフレット作成、3,000 部)</p>		
	今後の方向性		
	<p>地域の課題や市民ニーズの変化を講座に反映するとともに、事業の周知を図ります。</p>		
	参考指標		
	実施回数	H30 年度	24 回
		4 年度までに	—
		6 年度までに	35 回
生涯学習推進体制の充実 /生涯学習課	令和元年度 実績		
	<p>生涯学習推進体制の充実を図るため、全庁で取り組みをしている生涯学習まちづくり出前講座の実施をはじめ、庁内各部署で実施している生涯学習関連事業の情報共有を行いました。</p> <p>また、令和 2 年 3 月に「第 2 次浦安市生涯学習推進計画」と「浦安市生涯スポーツ推進計画」を策定しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>第 2 次生涯学習推進計画及び生涯スポーツ推進計画に基づき、生涯学習施策及び生涯スポーツ施策を、計画期間の令和 2 年度(2020 年度) から令和 11 年度(2029 年度) までの 10 年間、PDCA サイクルにより進行管理を行いながら推進します。</p>		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
		4 年度までに	***
		6 年度までに	***

第12節 浦安で産み育てたい環境を整える

12-1 安心して産み育てられる環境をつくる

12-1-1 子育てと仕事の両立支援

事業名・担当部署		
児童育成クラブ管理運営事業 /青少年課 【再掲】4-2-2	令和元年度 実績	
	市内 17 小学校地区児童育成クラブ（民間事業者：10 クラブ、NPO法人：3、社会福祉法人：4クラブ）で実施し、令和元年5月1日現在の入会児童数は2,208名でした。	
	今後の方向性	
	児童育成クラブ管理運営事業については、就労している保護者のニーズに沿って、入会の対象児童が1年生から4年生までだったところ、令和2年度より、1年生から6年生までに拡充を行い、放課後の安全な生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。	
	参考指標	
児童育成クラブの待機児童数	H30年度	0人
	4年度までに	0人
	6年度までに	0人

12-1-2 多様なニーズに応じた子育て支援

事業名・担当部署		
認定こども園保育事業 /保育幼稚園課 【再掲】13-2-3	令和元年度 実績	
	子ども・子育て支援新制度の実施に伴い、市内の9園が認定こども園に移行しています。令和元年度は、他2園が認定こども園に移行し、11園が認定こども園に移行しました。	
	今後の方向性	
	認定こども園保育事業については、子どもの健やかな成長と保護者に対する子育て支援の充実や、保育園の待機児童の解消を目指し整備してきましたが、令和元年度には一時預かり保育事業が併設されている3園を除いた他11園すべてが認定こども園となりました。今後も、教育時間内の保育を踏まえ、教育時間の終了後等に行う教育活動についても、内容の充実を図っていきます。	
	参考指標	
***	H30年度	***
	4年度までに	***
	6年度までに	***
子育て支援事業 /公民館 【再掲】6-1-4、8-1-1、 12-2-1、13-2-3	令和元年度 実績	
	子どもの発達段階に応じた学習と家庭同士の交流と仲間づくり等を目的として、乳幼児親子事業や父親の育児支援事業など11事業実施し、延べ692名の参加がありました。	

	今後の方向性		
	子どもの発達に応じた家庭教育の講座や家庭同士の交流、父親の育児参加など、家庭のニーズに応じて様々な面から子育て支援の充実を図ります。		
	参考指標		
	子育て支援事業への参加者数	H30年度	1,001人
		4年度までに	1,025人
6年度までに		1,050人	
要保護及び準要保護児童生徒 就学援助事業 /学務課 【再掲】6-3-3	令和元年度 実績		
	令和元年度要保護児童 68名・要保護生徒 37名・準要保護児童 470名・準要保護生徒 315名を認定し援助を行いました。		
	今後の方向性		
	他市町村の状況を確認しながら、支給費目や支給額の見直しを検討し、事業の拡充を図っていきます。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
幼稚園就園奨励費補助事業 /保育幼稚園課	令和元年度 実績		
	保護者負担の軽減を図るとともに、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図るため、私立幼稚園に通園する園児の保護者に対し、入園料・保育料の補助を816名に行いました。		
	今後の方向性		
	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、幼稚園就園奨励費補助事業及び私立幼稚園運営費等補助事業を廃止します。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	
私立幼稚園運営費等補助事業 /保育幼稚園課	令和元年度 実績		
	保護者負担の軽減を図るため、市内5私立幼稚園に対し入園料52名、授業料785名の補助を行いました。		
	今後の方向性		
	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、幼稚園就園奨励費補助事業及び私立幼稚園運営費等補助事業を廃止します。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	

12-2 地域ぐるみで子育てを支援する

12-2-1 子育て支援のネットワークづくりの推進

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
子育てすこやか広場事業 /保育幼稚園課 【再掲】6-1-4、8-1-2、 13-2-3	親子・幼児同士の遊びや生活の指導、保育カウンセラーの子育てに関する相談を通して、家庭の教育力の向上を図りました。全園合わせて307回開催し、未就園児の親子延べ5,743組が利用しました。保育相談は延べ2,040件の利用がありました。		
	今後の方向性		
	子育てすこやか広場事業については、各園と十分に調整を図りながら、今後も地域の子育てを支援し、幼児間・保護者間の交流を図る場として、保育内容の充実を図るとともに事業のPR活動に努めていきます。		
	参考指標		
	実施数	H30年度	321回
	4年度までに	320回	
	6年度までに	320回	
子育て支援事業 /公民館 【再掲】6-1-4、8-1-1、 12-1-2、13-2-3	令和元年度 実績		
	子どもの発達段階に応じた学習と家庭同士の交流と仲間づくり等を目的として、乳幼児親子事業や父親の育児支援事業など11事業実施し、延べ692名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子どもの発達に応じた家庭教育の講座や家庭同士の交流、父親の育児参加など、家庭のニーズに応じて様々な面から子育て支援の充実を図ります。		
	参考指標		
子育て支援事業への参加者数	H30年度	1,001人	
	4年度までに	1,025人	
	6年度までに	1,050人	
地域社会と連携した幼稚園づくりの推進 /保育幼稚園課	令和元年度 実績		
	子育てすこやか広場を開催するなど、子育て支援を充実し、地域の幼児教育のセンターとしての役割を果たしてきました。 さらに、地域の代表を学校関係者評価委員に任命するなど、地域の様々な資源を園内に取り入れ、保育内容の充実を図ってきました。		
	今後の方向性		
	地域社会と連携した幼稚園づくりの推進については、今後も、地域の自然、人材、行事や公共施設など、その資源を積極的に活用し、幼児が豊かな生活体験を得られるよう努めてまいります。		
	参考指標		
***	H30年度	***	
	4年度までに	***	

		6年度までに	***
--	--	--------	-----

第13節 こどもが元気に成長できる環境を整える

13-1 こどもの健やかな成長を支える

13-1-1 健康づくりの推進

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
体力向上推進事業 /保健体育安全課 【再掲】 3-1-1	体力向上推進校として小学校4校、中学校2校を指定しました。このことにより、平成22年度から継続してきた本事業について、市内全ての小・中学校の指定をすることができました。各学校がそれぞれの体力向上推進計画に沿った取り組みを実施しましたが、推進校との情報共有を行うことで、さらに指導法の工夫改善に努めることができました。		
	今後の方向性		
	体力向上推進事業については、引き続き体力向上推進校の指定を行い、学校体育に係る研究を推進して、各学校間の情報共有を密にし、各小・中学校の児童生徒の一層の体力の向上を図ります。		
	参考指標		
	新体力テストにおける、各種目の全国平均を上回る割合（達成率） （小学校学年数6、中学校学年数3、男女別、種目数8）	H30年度 4年度までに 6年度までに	小45.8% 中54.1% 小60.0% 中60.0% 小80.0% 中80.0%
部活動推進事業 /保健体育安全課 【再掲】 2-2-1、3-1-1、6-1-1	令和元年度 実績		
	部活動指導者186名のうち、一般社会人指導者を小学校10校に37名、中学校9校に77名派遣することにより、児童生徒の技能の向上を図ることができました。		
	今後の方向性		
	部活動推進事業については、心豊かでたくましい児童生徒を育成するため、市民スポーツ課やスポーツ関係団体と連携して外部指導員の確保に努めるなど、部活動の強化を図ります。 また、平成30年度に策定した「安全で適切な部活動運営の指針（改訂版）」をもとに、今後の部活動の在り方及び学校職員としての部活動指導員の導入について検討を進めます。		
	参考指標		
部活動指導者派遣事業等の実施継続	H30年度 4年度までに 6年度までに	実施中 継続 継続	

就学時健康診断事業 /保健体育安全課	令和元年度 実績		
	市内小学校及び教育委員会にて就学時健康診断を実施し、就学前児童の心身の健康状態を把握するとともに、学校や家庭と入学前の準備及び連携の促進を行いました。		
	今後の方向性		
	就学予定者の心身の状況を把握し、保健上必要な勧告・助言を行うとともに、適切な就学を図るために、引き続き実施していきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	
児童生徒健康診断事業 /保健体育安全課	令和元年度 実績		
	市内小・中学校の児童生徒健康診断を実施し、児童生徒の健康状態を把握するとともに、状況に応じた健康管理や二次検査等を行いました。		
	今後の方向性		
	学校における健康管理は、児童生徒の健康保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するものであることから、児童生徒の健康維持増進のため、引き続き実施していきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	

13-1-2 障がい児の地域生活や自立の支援

事業名・担当部署	
まなびサポート事業の推進 /教育研究センター・学務課 【再掲】1-3-1、4-2-2	令和元年度 実績 【教育研究センター】 ・まなびサポートチーム員（医師2名、スーパーバイザー1名、指導主事等4名、臨床心理士4名、言語聴覚士2名、理学療法士、作業療法士、特別支援教育指導員各1名）により、学校・保護者からの相談や、特別な教育的支援が必要な子どもの就学に関する相談・助言を行いました。 ・令和元年度の保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校等の保護者からの個別相談は223件。その内、就学に向けた相談は、126件でした。また、園・学校等への訪問による相談は、493件実施しました。 ・学校支援として、特別支援教育の体制整備、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成や活用、合理的配慮の提供に向けた相談など、一人一人の教育的ニーズに応じた支援が実施できるよう学校への指導・助言を行いました。 ・教職員育成として、全校体制で取り組む特別支援教育の実現に向けてのそ

	<p>それぞれの役割やニーズに応じた研修会を（24 回）実施し、専門性や指導力の向上を図りました。また、心身障がい児支援員を 16 名配置し、「障がいや子どもの状態に応じた支援について」心身障がい児補助教員と合同の研修会を行い、効果的な支援の充実を図りました。さらに、「どの子どもわかる授業づくり」や「どの子ども安心して居場所のある学級づくり」、「計画的な交流及び共同学習」ができるよう指導・助言を行うとともに「実践マニュアル」等を作成し学校への周知を図りました。</p> <p>・市立小・中学校に在籍する医療的ケアを必要とする子ども 2 名に対し、市の委託を受けた訪問看護ステーションの看護師が巡回訪問をしてケアを実施しました。</p> <p>【学務課】</p> <p>延べ 122 名の心身障がい児補助教員を全小・中学校に配置し、特別支援教育を推進しました。</p> <p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <p>【教育研究センター】</p> <p>特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握し、能力や可能性を最大限に伸ばせるよう個に応じた適切で多様な学びの場の充実を図ります。</p> <p>令和 2 年度には特別支援学級全校設置に向け、未設置校の内 1 校に特別支援学級を開級します。通級指導教室では巡回による指導の拡充に向け、巡回校をさらに 1 校増やします。</p> <p>特別支援教育に関する専門性を育成するための研修会を新たに実施します。また、連続した切れ目ない支援の充実を図るため、こども発達センターと計画的に打ち合わせを行い、教育と福祉の連携に努めます。</p> <p>【学務課】</p> <p>個に応じた指導の一層の充実のため、令和 2 年度に心身障がい児補助教員の役割等を見直し、令和 3 年度より、新たな枠組みで実施していきます。</p> <p style="text-align: center;">参考指標</p> <table border="1" data-bbox="510 1500 1508 1646"> <tr> <td data-bbox="510 1500 1098 1646" rowspan="3">個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成率</td> <td data-bbox="1098 1500 1329 1552">現状</td> <td data-bbox="1329 1500 1508 1552">96%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1098 1552 1329 1603">4 年度までに</td> <td data-bbox="1329 1552 1508 1603">100%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1098 1603 1329 1646">6 年度までに</td> <td data-bbox="1329 1603 1508 1646">100%</td> </tr> </table>	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成率	現状	96%	4 年度までに	100%	6 年度までに	100%
個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成率	現状		96%					
	4 年度までに		100%					
	6 年度までに	100%						
<p>特別支援学級等整備事業 /教育研究センター 【再掲】 6-3-2</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度 実績</p> <p>一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場の充実を図るため、市内全中学校に特別支援学級を設置しました。現在、小学校は 17 校中 12 校に特別支援学級を設置し、令和 2 年度に小学校 1 校に特別支援学級を開設するための準備を進めました。今後、全小学校への特別支援学級の整備を計画的に進めていきます。</p> <p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <p>令和 2 年度には特別支援学級全校設置に向け、未設置校の内 1 校に特別支援学級を開級します。通級指導教室では巡回による指導の拡充に向け、巡回</p>							

	校をさらに1校増やします。また、県立特別支援学校の「センター的機能」を活用した通級指導やサテライト教室で行われる指導を継続して受けたりできるように整備を進めていきます。		
	参考指標		
	特別支援学級の整備状況 (小17校、中9校中)	H30年度	小12校 中9校
		4年度までに	小一 中一
6年度までに		小17校 中9校	
特別支援学級児童生徒就学奨励事業 /学務課	令和元年度 実績		
	特別支援学級及び通常学級に通う児童66名、生徒25名に就学のため必要な経費(学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費、通学費等)について一部負担し、通級指導教室に通う児童3名の通学費を支給して保護者の負担軽減を図りました。		
	今後の方向性		
	国の基準をもとに検証し、市独自でできることを検討し、事業の拡充を図っていきます。		
	参考指標		
	***	H30年度	***
	4年度までに	***	
	6年度までに	***	

13-1-3 こどもの安全を守る環境の整備

事業名・担当部署	
学校防犯対策の充実 /保健体育安全課・ 市民安全課・保育幼稚園課・ 青少年課 【再掲】6-1-3	令和元年度 実績
	【保健体育安全課】 警備員を全小学校17校に各1名配置しました。全小中学校26校に設置された防犯カメラを活用し、学校警備の強化を図りました。新1年生全員に防犯ブザーを配布するとともに新入生対象防犯教室を17回実施しました。
	【市民安全課】 警察と連携し、園児・児童を対象に「連れ去り防止教室」を25回、また、小学校・幼稚園・保育園等を対象に「不審者対応訓練」を27回、「防犯講話」を4回、「防犯教室」を1回実施しました。
	【保育幼稚園課】 市立幼稚園・認定子ども園14園において、防犯カメラの活用などにより防犯対策を図りました。
	【青少年課】 各児童育成クラブにおいて、防犯訓練を実施しました。

	今後の方向性		
	<p>【保健体育安全課】</p> <p>学校防犯対策の充実については、次年度以降も、引き続き小学校への警備員の配置や防犯カメラによる敷地内への侵入者の監視を行うとともに、児童生徒の防犯意識向上のために警察と連携した防犯訓練や防犯教室などの防犯教育の充実を図ります。</p> <p>また、学校、家庭、地域及び関係機関とより一層の連携を図り、防犯体制の強化に努めます。</p> <p>【市民安全課】</p> <p>警察と連携した、「連れ去り防止教室」や「不審者侵入対応訓練」「防犯講話」を引き続き実施し、子どもたちの防犯行動力の向上を図るとともに、教職員等の防犯意識高揚と防犯体制の強化を図ります。</p> <p>【保育幼稚園課】</p> <p>学校防犯対策の充実については、防犯カメラの活用などにより、引き続き防犯対策を図っていきます。</p> <p>【青少年課】</p> <p>児童育成クラブにおける防犯対策の充実を図るため、引き続き防犯訓練を行い、防犯体制の強化に努めます。</p>		
	参考指標		
	園・学校で実施した防犯教室の実施回数	H30年度	68回
		4年度までに	70回
6年度までに		72回	
警備員配置や防犯カメラの設置、防犯ブザー無償配布の継続	H30年度	実施中	
	4年度までに	継続	
	6年度までに	継続	

交通事故防止対策の充実 /保健体育安全課 【再掲】 3-1-2、6-1-3	令和元年度 実績	
	<p>交通整理員を通学路の交差点9か所に14名配置しました。小学校1年生対象の交通安全教室を17回、小学校3年生対象の自転車交通安全教室を17回実施しました。通学路の安全確保のため、通学路検討会を2回実施しました。</p> <p>また、小学校新1年生に黄色いワッペン及びランドセルカバーを配付し、交通事故の防止を図りました。</p>	
	今後の方向性	
<p>交通事故防止対策の充実については、通学路の安全対策として、引き続き、交通安全上配慮を要する交差点に交通整理員を配置するとともに、市関係各課等による通学路検討会及び合同安全点検を実施し、通学路上の改善を要する個所について状況に応じ安全対策を講じていきます。</p> <p>また、警察や浦安交通安全協会等の関係機関と連携した交通安全教室や自転車交通安全教室を開催し、交通安全教育の充実を図ります。</p>		

	参考指標		
	「小・中学生生活実態調査」で「交通安全のルールについて家族で話し合っている」と答えた児童生徒の割合	H30年度	26.6%
		4年度までに	28%
		6年度までに	30%
交通整理員の配置	H30年度	9か所 14名	
	4年度までに	道路状況の変化等に応じた配置を行う	
	6年度までに		
防災教育の推進 /保健体育安全課・指導課・教育研究センター 【再掲】3-1-3、6-1-3	令和元年度 実績		
	【保健体育安全課、指導課】 児童生徒が浦安市の災害の特性に触れることができるよう、本市の災害の様子や復興への道のりの記録等の危機管理課が作成した東日本大震災の資料等を素材として取り上げている「防災教育指導資料」の活用について周知するとともに、学校区合同避難訓練・引き渡し訓練などの実践的行動に結びつく防災教育を各学校で実施しました。		
	【教育研究センター】 医療的ケアが必要な児童生徒については、学校で「緊急時対応マニュアル」を作成するよう指導し、救急への連絡体制や職員の動き等のシミュレーション訓練を実施しました。 また、避難訓練時においては、避難する際の安全確保等について確認しました。		
	今後の方向性		
	【保健体育安全課、指導課、教育研究センター】 防災教育の推進については、「防災教育指導資料」の改訂に向けて見直しを行うとともに、資料を活用した授業や各学校で実施されている火災や地震を想定した避難訓練の実施の徹底を図ることにより、実践的行動に結びつく防災教育を推進します。		
	参考指標		
「小・中学生生活実態調査」で「地震や火災が起こった時の安全な行動について家庭で話し合っている」に「きちんとしている」「まあまあしている」と回答した児童生徒の割合	H30年度	小 48.4% 中 50.6%	
	4年度までに	小 70% 中 70%	
	6年度までに	小 80% 中 80%	

13-2 豊かな心を育む

13-2-1 心を育む遊び環境の整備

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
放課後うらっこクラブ運営事業 /青少年課 【再掲】4-2-2、8-2-1	放課後や週末などに子どもたちが安全な環境の中で、多様な活動ができるよう、全ての小学校において、児童育成クラブと放課後子ども教室を統合し、「放課後うらっこクラブ」として、一体的な運営を行いました。令和元年度の延べ利用人数は8,557名となっています。		
	今後の方向性		
	放課後うらっこクラブ運営事業については、利用者ニーズや国の動向等をもとに、学校や地域と連携し、両事業の活動内容の充実を図るとともに、放課後の安全な居場所づくりに取り組み、児童の健全育成を図ります。		
	参考指標		
	放課後子ども教室の利用率 (1日当たりの放課後子ども教室利用者数 /全校児童数)	H30年度	5.8%
		4年度までに	10%
6年度までに		15%	

13-2-2 こどもを育む親力・地域力の向上

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
家庭教育学級 /公民館 【再掲】6-1-4、8-1-1	家庭教育力の向上を図るため、保護者を対象に、子育てミーティングや講師による講演など、一年を通して実施しました。保育園・認定こども園6学級、小学校4学級、中学校3学級、延べ1,943名が参加しました。		
	今後の方向性		
	家庭教育の重要性に鑑み、家庭における教育力の向上を図るため、幼児や小・中学生の保護者を対象にした家庭教育のさらなる充実に努めます。		
	参考指標		
	家庭教育学級の開設数	H30年度	園6学級 小4学級 中3学級
4年度までに		園10学級 小10学級 中6学級	
6年度までに		園14学級 小17学級 中9学級	
家庭教育講演会 /公民館 【再掲】6-1-4、8-1-1	令和元年度 実績		
	家庭内のコミュニケーションや基本的な生活習慣作りなど、家庭教育に関する講演会を実施し、64名の参加がありました。		

	今後の方向性		
	引き続き子育て世代を対象に、子育てや家庭のあり方などについての講演会を開催し、家庭教育の重要性について啓発に努めます。		
	参考指標		
	家庭教育講演会の募集人数に対する参加者の割合	H30 年度	47%
		4 年度までに	70%
6 年度までに		100%	
家庭教育に関する情報収集と資料の提供 /公民館 【再掲】8-1-1	令和元年度 実績		
	家庭教育の重要性を深めるため、家庭教育学級の活動記録や家庭教育の概要をまとめた冊子を発行しました。(3月発行、400冊)		
	今後の方向性		
	家庭教育の充実を図るため、関係各課と連携し家庭教育や子育て支援に関する情報の収集及び啓発事業に取り組んでいきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	

13-2-3 幼児期の学びの環境の整備

事業名・担当部署			
市立幼稚園・認定こども園3年保育の推進 /保育幼稚園課	令和元年度 実績		
	幼児期の学び環境を充実するため、市立幼稚園及び認定こども園全14園で実施し、入園者(令和元年5月1日時点)は326名となりました。		
	今後の方向性		
	市立幼稚園・認定こども園3年保育の推進については、3歳児保育の重要性について全園で情報を共有し、さらなる保育内容の充実を図っていきます。		
	参考指標		
	***	H30 年度	***
4 年度までに		***	
6 年度までに		***	
就学前保育・教育指針推進事業 /保育幼稚園課・指導課	令和元年度 実績		
	【保育幼稚園課、指導課】 市内すべての保育・教育施設が質の高い保育・教育を提供していくことができるよう、就学前保育・教育指針を平成21年度に策定しました。さらに、平成28年度、指導課から「浦安市幼・保・小連携アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」が示されました。これらをすべて踏まえ、各園が日々の保育を実践しています。 今年度は、令和2年度に予定している本指針の改訂作業に向けて、事前検		

	<p>討会を4回開催し、アドバイザー（学識経験者）からも助言・指導を受けながら、新たな改訂の内容について検討を行いました。</p>		
	<p>今後の方向性</p>		
	<p>【保育幼稚園課、指導課】</p> <p>昨年度の事前検討会でまとめられた改訂の内容、平成30年度に全面実施となっている新保育所保育指針、新幼稚園教育要領の内容を踏まえ、保育園、幼稚園・認定こども園、小学校等から委員を選出し、3回目の改訂作業を進めていきますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止とし、令和3年度より進めていきます。</p>		
	<p>参考指標</p>		
	<p>指導計画（保育計画）に活用している園 （幼稚園・認定こども園14園、保育園7園 計21園）</p>	<p>H30年度</p> <p>4年度までに</p> <p>6年度までに</p>	<p><u>21園</u></p> <p><u>21園</u></p> <p><u>21園</u></p>
<p>子育てすこやか広場事業 /保育幼稚園課 【再掲】6-1-4、8-1-2、 12-2-1</p>	<p>令和元年度 実績</p>		
	<p>親子・幼児同士の遊びや生活の指導、保育カウンセラーの子育てに関する相談を通して、家庭の教育力の向上を図りました。全園合わせて307回開催し、未就園児の親子延べ5,743組が利用しました。保育相談は延べ2,040件の利用がありました。</p>		
	<p>今後の方向性</p>		
	<p>子育てすこやか広場事業については、各園と十分に調整を図りながら、今後も地域の子育てを支援し、幼児間・保護者間の交流を図る場として、保育内容の充実を図るとともに事業のPR活動に努めていきます。</p>		
	<p>参考指標</p>		
	<p>実施数</p>	<p>H30年度</p> <p>4年度までに</p> <p>6年度までに</p>	<p>321回</p> <p>—</p> <p>320回</p>
<p>認定こども園保育事業 /保育幼稚園課 【再掲】12-1-2</p>	<p>令和元年度 実績</p>		
	<p>子ども・子育て支援新制度の実施に伴い、市内9園が認定こども園に移行しています。令和元年度は、他2園が認定こども園に移行し、11園が認定こども園に移行しました。</p>		
	<p>今後の方向性</p>		
	<p>認定こども園保育事業については、子どもの健やかな成長と保護者に対する子育て支援の充実や、保育園の待機児童の解消を目指し整備してきましたが、令和元年度には一時預かり保育事業が併設されている3園を除いた他11園すべてが認定こども園となりました。今後も、教育時間内の保育を踏まえ、教育時間の終了後等に行う教育活動についても、内容の充実を図っていきます。</p>		
	<p>参考指標</p>		
<p>***</p>	<p>H30年度</p>	<p>***</p>	

		4年度までに	***
		6年度までに	***
子育て支援事業 /公民館 【再掲】6-1-4、8-1-1、 12-1-2、12-2-1	令和元年度 実績		
	子どもの発達段階に応じた学習と家庭同士の交流と仲間づくり等を目的として、乳幼児親子事業や父親の育児支援事業など 11 事業実施し、延べ 692 名の参加がありました。		
	今後の方向性		
	子どもの発達に応じた家庭教育の講座や家庭同士の交流、父親の育児参加など、家庭のニーズに応じて様々な面から子育て支援の充実を図ります。		
	参考指標		
	子育て支援事業への参加者数	H30 年度	1,001 人
4年度までに		1,025 人	
6年度までに		1,050 人	

13-2-4 自分を大切にできる気持ちを育てる

事業名・担当部署	令和元年度 実績		
教育相談推進事業 /指導課 【再掲】1-3-2、2-1-2	全小・中学校に 26 名のスクールライフカウンセラーを配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見や相談に対応し、健やかな学校生活がおくれるように支援しました。		
	小学校では、スクールライフカウンセラーが週に 4 日間、全中学校と小学校 2 校では、スクールライフカウンセラーに加え、県が配置しているスクールカウンセラーが週 1 日勤務しています。そのため、9 校では、カウンセラーが常駐している状態となっています。		
	相談件数は、小学校で 9,185 件、中学校では 3,770 件でした。小学校では、性格・身体問題についての悩みが最も多く、3,239 件、次いで対人関係が 1,862 件、不登校が 1,166 件、家庭・親子問題が 1,034 件、学業・進路が 805 件でした。小学校での好転解消件数は、6,210 件でした。		
	中学校では、性格・身体問題についての悩みが最も多く、1,611 件、不登校が 735 件、対人関係が 400 件、家庭・親子問題が 337 件、学業・進路が 277 件でした。また、中学校での好転解消件数は 953 件でした。		
	きめ細かく相談できる学校環境にすることで、虐待の早期発見、いじめや不登校についての対策・未然防止にも役立っています。特に、家庭環境との関連が深い相談に対しては、こども家庭支援センターやいちょう学級、スクールソーシャルワーカー等と連携し対応しています。		
	今後の方向性		
	教育相談推進事業については、スクールライフカウンセラーを全小・中学校に各 1 名配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見、相談、解消のために適切な援助・助言を継続していきます。また、児童生徒や家庭の悩みについて		

	の保護者からの相談に対しても、カウンセリングを継続していきます。		
	参考指標		
	「浦安市小・中学生生活実態調査」の「学校に行くのは楽しいですか」の質問に対する否定的な回答の割合	H30 年度	小 9.8% 中 8.3%
		4 年度までに	小 9 % 中 7.9%
		6 年度までに	小 8.8% 中 7.7%
生徒指導推進事業 /指導課 【再掲】 2-1-2	令和元年度 実績		
	<p>各小・中学校の生徒指導担当教諭を対象に年間3回の研修会を実施し、いじめに対する対応や、具体的な事例をもとに問題点を検証する等、生徒指導体制の充実を図りました。</p> <p>また、各学校における生徒指導状況を毎月確認し、いじめの早期認知を含む、生徒指導上の諸問題の把握と早期解消に向けた取り組みを推進しました。</p>		
	今後の方向性		
	<p>生徒指導推進事業については、各学校における生徒指導状況を的確に把握するとともに、いじめの早期認知を含む、生徒指導上の諸問題の早期解消に向けた取り組みをさらに推進します。</p> <p>また、生徒指導の機能を重視した「わかる授業」の展開や、どの子も安心していられる「居場所づくり」と互いに認め合える「絆づくり」等の積極的な生徒指導を、総合的かつ効果的に推進することで、いじめや生徒指導上の諸問題の未然防止に努めます。</p> <p>その他、浦安市いちょう学級の活用を推進し、不登校対策や教育相談活動の充実を図ります。さらに、児童生徒個々の課題に応じて、こども家庭支援センターや浦安警察署生活安全課との連携を図り、情報共有と指導体制の確立を行い、問題行動等の早期解消、児童虐待の防止・早期発見に努めます。</p>		
	参考指標		
	生徒指導対策会議の実施中学校区数 (9 中学校区中)	H30 年度	4 中学校区
		4 年度までに	7 中学校区
6 年度までに		9 中学校区	
いじめの解消率 (年度末)	H30 年度	73.7%	
	4 年度までに	80%	
	6 年度までに	85%	

※ 本報告書に記載の「小・中学校」とは、「市内公立小学校・中学校」を表します。

令和元年度浦安市教育委員会点検・評価報告書に係る意見書

氏名：越村 康 英

1. 全体の講評

〔総括的な意見〕

- 「平成31年（2019年）度教育施策」と照らし合わせながら「令和元年度浦安市教育委員会点検・評価報告書」（第3節「施策の実施状況等」）を確認するとともに、有識者懇談会において施策の実施状況等について意見交換を行いました。その結果、令和元年度においても、教育委員会の権限に属する事務が適切に管理・執行されていることを確認いたしました。また、教育施策に沿って各事業が進められ、多くの事業において着実な成果が現れていることも分かりました。関係者各位の御尽力に対して深く敬意を表します。

- 浦安市教育委員会では、学校教育・社会教育の双方で、総じて充実した施策・事業が展開されています。また、様々な教育課題に的確に対応していくため、市独自の取り組みが積極的に実施されている点も、高く評価できます。

- 令和元年度末、新たに「浦安市教育振興基本計画」「浦安市学校教育推進計画」「第2次浦安市生涯学習推進計画」「浦安市生涯スポーツ推進計画」が策定されました。令和2年度以降、これらの諸計画に基づいて、教育行政がより体系的に推進され、施策・事業のさらなる充実が図られていくことを期待します。一方、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受けて、市民生活や社会の在りようも大きく変容していることから、（策定されたばかりの計画ではありますが）必要に応じて見直しを図っていくことも求められると考えます。

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受けて、令和元年度末より学校の休校が決定され、つづけて社会教育施設も休館となりました。それに伴い、令和元年度の施策・事業においても少なからず影響が出ているものと思われれます。現在（令和2年7月末）は、「新しい生活様式」をふまえ、感染防止に細心の注意を払いながら、学校・社会教育施設とも再開しておりますが、コロナ禍の以前とはまったく異なる厳しい状況が続いております。したがって、令和2年度の施策・事業に、きわめて大きな影響が生じることは明らかです。「コロナ禍において、児童・生徒はもとより、すべての市民の生涯にわたる学習を支えていくために大切なことは何か」を最優先に考え、当初の施策・事業を臨機応変に組み替えたり、必要となる新たな施策・

事業を構想していくことも重要だと考えます。

[点検・評価の在り方に関する意見]

- 令和元年度の「点検・評価報告書」（本報告書）より、各事業の「参考指標」が新たに明記されるようになりました。このことは、各事業において達成したい（すべき）ことを明確化するとともに、点検・評価の客観性を担保していく上でも重要なことだと考えます。
- 「評価指標」ではなく「参考指標」として位置づけられていることにも十分留意しておくことが必要だと考えます。ほぼすべての事業において、数値化された定量的指標が設定されており、そのこと自体を否定するものではありませんが、ごく一部の事業を除き、その成果・課題は、ひとつの定量的指標だけをもって把握することはできません。また、数値化された定量的指標が与えるインパクトは大きく、設定された数値をクリアすることだけが目的化され、数値には表れない取り組み（努力）が巧みに回避されてしまう恐れもあります。こうしたことも念頭に置きながら、あくまで「参考指標」としてとらえ、その指標を基軸としながらも、より多角的・総合的な観点から事業の成果・課題を把握していくことが大切ではないかと思えます。
- 「参考指標」は、「浦安市教育振興基本計画」等の諸計画において設定されたものが記載されておりますが、必要に応じて指標の見直しを行っていく必要もあると考えます。私の個人的な印象ではありますが、あまり適切ではない指標の設定も一部に見られるように思います。「2. 施策・事業ごとの講評」において、その点も指摘をさせていただきます。また、諸計画において指標の設定がなされていないことから、「参考指標」の記載がない事業も散見されますが、今後も事業を継続していくのであれば、その目的をふまえ、何らかの指標を設定していくことが必要ではないでしょうか。

2. 施策・事業ごとの講評

第1節 確かな学力（知）

- 「情報教育推進事業」及び「I C T環境の整備及び効果的な活用」については、コロナ禍において児童・生徒に豊かな学習の機会を保障していくためにも、その重要性が格段に高まっています。文部科学省「G I G Aスクール構想」は、「Society 5.0」の実現を目指して打ち出されたものですが、その早期実現も目指されているところであり、政策の動向も注視しながら、これらの事業の抜本的な見直しと大幅な拡充を図っていくことが期待されます。また、今後の感染状況によっては再び休校を余儀なくされ、タブレット端末を貸し出すような形での遠隔授業・自宅学習の実施が求められる

状況になることも予想されますが、各家庭のインターネット環境は様々であり、そのことによって学習上の不利益を被る児童・生徒を出ないための方策についてもしっかりと検討しておくことが必要だと考えます。

- 「青少年自立支援未来塾」は、教育上の格差を解消することにも結び付いていく公共性の高い事業であり、英語教室が新設されるなど、拡充が図られていることを心強く感じます。また、「今後の方向性」として、「生徒や家庭の困り感に寄り添った放課後の学習支援」を打ち出していることにも強く賛同します。今後は、各中学校との連携強化はもとより、ケースワーカー、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等との連携も視野に入れながら、本事業が発展的に継続されていくことを期待します。
- 【参考指標に関する意見】「教育相談推進事業」の「参考指標」として、「浦安市小・中学生生活実態調査」の「『学校に行くのは楽しいですか』の質問に対する否定的な回答の割合」が設定され、その割合を、令和6年度までに、小学校で1.0%、中学校で0.6%減少させることが目指されています。過去の調査結果の推移を把握した上で設定された数値かとは思いますが、0.6%～1.0%程度の数値は、特別な要因がなくとも年度ごとに変動することはないのでしょうか。本事業は、スクールカウンセラーとスクールライフカウンセラーの配置に関するものです。令和元年度では、9校でカウンセラーが常駐する状況が実現しているとのことですが、将来的にすべての小・中学校にカウンセラーが常駐する体制を目指して、そのための「参考指標」（数値）を設定することの方が重要だと考えます。

第2節 豊かな心（徳）

- 【参考指標に関する意見】「生徒指導推進事業」の「参考指標」に「いじめの解消率」が設定され、数値の漸進的な向上が目指されています。その方向性には賛同しますが、いじめの被害を受けている児童・生徒や保護者の立場に立てば、その数値が現実的であるか否かは別としても、常に100%の解消率を目指してほしいと願っているのではないのでしょうか。その切実な願いも受け止めながら、「参考指標」の打ち出し方について再検討が必要だと考えます。

第3節 健やかな体（体）

- 【参考指標に関する意見】「保健教育の充実」の「参考指標」として「学校保健委員会を実施している小・中学校数」が設定されています。委員会の実施が重要であることは言うまでもありませんが、すでに平成30年度の時点ですべての小・中学校において実施されていることから、この指標はあまり意味をなさないと思われれます。他に

も現状の維持を目標に掲げた事業がいくつかありますが、何らかの手立てを講じなければ現状の維持が困難な事業を除いては、指標の再設定が必要ではないでしょうか。

- 【参考指標に関する意見】「防災体験講座の開催」の「参考指標」として「募集人数に対する参加者数の割合」（定員充足率）が設定され、令和6年度までに100%をめざすとされています。大地震が高い確率で発生すると予測され、台風や豪雨による災害も頻発しているなかで、防災学習の機会を充実させ、より多くの市民に参加していただけるように工夫を凝らしていくことが求められます。ならば、よりストレートに講座の実施数（回数）や参加者の総数を「参考指標」に設定した方が有効です。本事業と同じように、公民館では定員充足率を「参考指標」に設定した事業が複数ありますが、定員充足率は定員数を絞ることによって容易に操作可能でもあり、指標の見直しが必要だと考えます。

第4節 豊かなかかわり（参画・交流）

- 「地域とともに歩む学校づくり推進事業」は、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた中心的な事業であり、児童・生徒への効果とともに、地域への効果（地域教育力の向上）も期待されるものです。小・中学校に配置された学校支援コーディネーターを中心に、令和元年度には延べ27,000人もの市民が地域学校協働活動（学校支援活動）に参画したとの実績が示されており、本事業が発展的に定着してきたことを感じています。今後、本事業をさらに充実させていくためにも、学校教育と社会教育の連携を強化していくことは不可欠です。「学校の教職員」「学校支援コーディネーター」「公民館職員」の三者が日常的に意見交換・情報共有できるような仕組みが構築されることを期待します。
- 「地域とともに歩む学校づくり推進事業」の「今後の方向性」には、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について検討を進めていくことが示されています。コミュニティ・スクールの設置は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第47条の5）において努力義務化されており、地域とともに歩む学校づくりを大きく前進させる可能性があります。だからこそ、導入ありきで拙速な議論を進めるのではなく、これまでの学校評議員制度についてもしっかりと検証するとともに、幅広い関係者の参画を得て「これからの学校と地域の在り方」について丁寧に議論し、ビジョンを共有していくプロセスが大切にされるべきだと考えます。

第6節 教育環境の整備・充実の推進

- 現在の日本社会では「約6人に1人が相対的貧困の状態にある」と言われています。

こうした状況のなかで、家庭の経済状況によって教育の機会が制限されないようにするためにも、「浦安市奨学金制度」の重要性は極めて高いと考えます。コロナ禍において家計が急変してしまい、進学・修学を断念する学生も増えていることから、本制度のさらなる拡充を期待します。

第7節 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実

- 公民館における「障がい者のための学習支援事業」は、ここ数年、少しずつ充実してきたと感じますが、「令和元年度 実績」を見ても、まだ十分とは言えません。「今後の方向性」に記載されているように、手話通訳者の設置など、合理的配慮を進め、障がいの有無に関わらず誰もが参加できるユニバーサルな公民館事業の実現を期待します。また、本事業を発展させ、障がい者だけでなく、外国籍住民、認知症患者やその家族、自立に困難を抱える若者なども視野に入れながら、その切実な生活課題や学習ニーズに応えるような事業も積極的に構想してほしいと願っています。その蓄積が、インクルーシブな地域づくりに結び付いていくはずです。
- 「就労支援事業」については、その必要性を考慮すると、「令和元年度 実績」に記載された取り組みだけでは不十分であると言わざるを得ません。本事業を抜本的に拡充させていくためにも、「参考指標」を具体的に設定し、公民館として本腰を入れて取り組みを進めていくことを期待します。
- 「公民館運営事業」の「今後の方向性」として、社会教育主事を全公民館に配置できるようにするということが記載されています。このことは、公民館をさらに発展させていくための最も有効な方策になると考えます。全館配置に向けた努力がなされていることは承知しておりますが、一方で、なかなか配置が進んでいないのが現状です。「参考指標」として具体的な数値（目標とする配置人数）を設定し、計画的に配置が進められていくことを期待します。

第8節 ライフステージに応じた学習機会の提供

- 【参考指標に関する意見】「いじめ対策事業」の「参考指標」として「相談件数」が設定され、令和6年度までに（7件増加させ）30件とすることが目指されています。「少しでも相談件数を増やし、いじめの解消を図りたい」との考えによるものであることは理解できます。しかし、「相談件数が多い／少ない（増えた／減った）」ではなく、相談を必要としているすべての児童・生徒にしっかりと対応していくことが基本であり、そのために取り組むべきことを「参考指標」として設定することが大切だと思います。

第11節 地域に生きる生涯学習活動の支援

○公民館は、単なる教養施設ではなく、住民の「学習」を核としながら、よりよい生活と地域を創造していくための拠点となる施設です。そのために取り組まれる各種の事業は、当然、公民館という「館」の中だけで完結するものではありません。地域の多様な主体と連携しながら事業を展開していくことが不可欠となります。ただし、連携は「目的」ではなく「手段」です。「地域連携事業」という枠組みのもとで推進していくのではなく、すべての公民館事業を構想する際に、「何のために／何処と／どのように連携することが必要なのか」を検討していくべきではないでしょうか。そのことが、地域をフィールドとした、よりダイナミックで魅力的な公民館事業の実現につながると考えます。

令和元年度浦安市教育委員会点検・評価報告書に係る意見書

氏名：高橋光法

1. 全体の講評

点検・評価にあたり、「浦安市教育委員会点検評価報告書（平成30年度）」、「平成31年度教育施策」、「令和元年度浦安市教育委員会点検評価報告書」から、事業ごとに、「今後の方向性」（30年度）－「取組概要」（31年度）－「実績」－「今後の方向性」とを関連づけて確認をし、各事業がPDCAサイクルを有効に機能させて実施されているのか、また、教育委員会の自己評価が適切に点検・評価されているのかを観ていきました。その際、事務局から配布された関連資料や、実績（値）の増減などにも着目して作業を進めました。

その結果、ほとんどの事業が計画どおりに実施されていること、事業の目標から鑑みて一定の実績（値）・成果が収められていること一なかには、見込み数（値）よりも大きな実績（値）・成果を上げている事業もある一などを確認しました。

先に「ほとんどの事業」と書きました。台風の影響で「浦安スポーツフェア」（浦安スポーツフェア事業）が中止、新型コロナウイルス流行の影響で「防災体験講座」（防災体験講座の開催事業）と「令和元年度第7回うらやす文化市場〜きて！みて！体験！〜」（文化振興事業）とが中止となっています。また、これらの影響で、実績値（開催講座数、参加人数など）が減少している事業もいくつか見られました。このような理由から、「ほとんどの事業」としました。

以上のことから、令和元年度の浦安市教育委員会の権限に属する事務が適正に管理・執行されていると認めることができます。また、その状況についての教育委員会の点検・評価が公正・適正に行われ、その結果内容が「浦安市教育委員会点検・評価報告書（令和元年度）」としてまとめられていることを確認しました。

なお、「取組概要」から観て、その「実績」が収められているのかが判断できないため、点検・評価が困難な事業がありました。これらの事業については、「2. 施策・事業ごとの講評」で触れることにします。

昨年度の懇談会では「事業目標の明確化」「成果指標（評価指標）の設置」が必要であるとの意見が出されましたが、「令和元年度浦安市教育委員会点検・評価報告書」では、この意見を踏まえて、様式に大きな変更が見られました。一つは、各事業ごとに「参考指標」が設定されていることです。いま一つが、各事業ごとに「実績」－「今後の方向性」－「参考指標」との順に記載され、大変に見やすくなっていることです。

「参考指標」の適切さなど、課題はまだありますが、PDCAマネジメントサイクルを有効に機能させて各事業を点検・評価するには必要な取組です。教育委員会の真摯な対応に敬意を表するとともに、今後の取組に期待します。

2. 施策・事業ごとの講評

「教育ビジョン策定事業」、「第2次生涯学習推進計画策定事業」です。

「教育ビジョン策定事業」では、「国の『第3期教育振興基本計画』を参酌するとともに、令和2年度を始期とする『浦安市総合計画』と整合を図りながら、学校教育分野と生涯学習分野、生涯スポーツ分野を包含した計画として、『浦安市教育振興基本計画』を策定し、今後10年間を見据えた浦安市における教育のあり方や基本理念及び施策の方向性等を示しました」とあります。

「浦安市教育振興基本計画」により、令和2年度より様々な施策が展開されていくこととなりますが、「今後の方向性」にもあるとおり、「具体的な指標設定の確認や見直し等を行い、取り組みの進捗管理及び評価をし、PDCAサイクルの下、必要な修正を行うことで、施策をより実りあるものとしていきます」とあります。

実りある施策を実施するには、「今後の方向性」にあるとおり、PDCAサイクルを有効に機能させ、各事業の目標と課題、方向性を明らかにして、取組状況の点検・評価を適切に実施することが重要です。

「第2次浦安市生涯学習推進計画」と「浦安市生涯スポーツ推進計画」の策定にあたり、生涯学習推進計画策定委員会や生涯学習推進計画策定懇談会等での議論を経た上で、パブリックコメントを行って策定していることを高く評価します。

パブリックコメントでは提出意見はなかったようですが、寄せられた意見数ではなく、パブリックコメントを行うこと自体が重要です。適切な進行管理の下、実りある諸施策が実施されることを期待します。

第1節 確かな学力（知）

1-1 学びの連続性を重視した教育の推進

多くの教育委員会においても、「小中一貫教育」や「幼・保・小の連携」を施策の柱に掲げ、事業が展開されています。本市においても、「小中連携・一貫教育の推進」事業、「幼・保・小・中連携教育の推進」事業として、様々な取組が行われています。

「幼・保・小・中連携教育の推進」とあるように、就学前から義務教育9年間を通した学びの連続性を重視した教育を推進しているところに、本市の特徴があります。

「実績」には、「『うらやす幼・保・小・中連携の日』をはじめとする各中学校区の研修を支援し、重点目標、取り組み状況、成果の把握を行いました」や、「中学校区において、園児と児童、生徒との交流や教師間の情報交換を行いました」などの記述が見られます。就学前から義務教育9年間を通した学びの連続性を重視した教育が着実に推進されていることを高く評価します。

なお、幼から中までを学びの連続性として捉えることは、本市の特徴であると同時に、本市の利点でもあるとの視点が大切です。「今後の方向性」には、「中学校区ごとの幼稚

園・認定こども園・保育園・小学校・中学校の連携をさらに推進する」とあります。

本市の特徴と利点を生かした連携教育を推進することにより、「学力向上や自尊感情の育成、不登校やいじめの解消等」が図られることを期待します。

今後の課題点です。

「実績」には、「令和元年度『小中連携』についての自己評価」として、「A（十分に成果が見られた）5校」「B（成果が見られた）21校」「C（成果があまり見られなかった）0校」「D（成果が見られなかった）0校」とあります。実績（成果）として掲載する調査結果としては不十分な情報であると考えます。少なくとも、何をもって成果と捉えているのかなど、成果の具体的な内容がわかるように示す必要があります。

1-2 学ぶ意欲の育成と確かな学力の形成

「青少年自立支援未来塾」事業は、「学習の遅れがちな中学生に対して、学習習慣の確立や基礎的な学力を身につけさせるなど、学力の向上を図ることを目的」として、地域住民の協力を得て学習支援を行う事業であると紹介されています。

令和元年度では、英語教室（延べ12回、延べ262人が参加）と、数学教室（延べ180回、延べ1,808人が参加）とが開かれ、生徒や家庭の実態に即したきめ細かな学習支援が行われています。

「青少年自立支援未来塾」事業は、学ぶ意欲の育成と確かな学力の形成に資するのみでなく、生徒指導対策、貧困対策としても有効な支援策であり、高く評価できます。

「今後の方向性」には、「生徒の実態や学習課題等の把握に努め、生徒や家庭の困り感に寄り添った放課後の学習支援を行う」、「各中学校との連携をより強化し、個別の学習支援を必要とする生徒に学習機会を確実に提供する」とあります。アウトリーチ策を検討していただき、取組の深化に期待します。

1-3 多様な教育的ニーズに応じた支援の充実

不登校児童・生徒への支援策として、「教育相談推進事業」、「適応指導教室における教育機能の充実」事業があります。

浦安市ではいち早く全市立小中学校にスクールライフカウンセラーを配置し、児童・生徒の精神的な悩みの発見や相談に対応し、健やかな学校生活がおくれるように支援してきました。また、適応指導教室も2教室開設し、不登校やひきこもり傾向の児童・生徒に対し、個に応じたきめ細かな指導・援助が行われています。

ともすれば、生徒指導上の課題として取り上げられることが多い不登校児童・生徒やひきこもり傾向のある児童生徒への支援事業を、浦安市では「多様な教育的ニーズに応じた支援の充実」策に位置づけているところに、浦安教育のあたたかい視点を感じます。

「すべての子どもが将来の浦安、世界を担う大切な人である」「不登校やひきこもりなどは誰にでも起こりうる問題である」「誰一人として置き去りにしない」—これが、浦安教育の基本的な立ち位置であると、私は感じています。そして、このことは、「特

別支援教育の推進」事業はじめ、諸事業にも当てはまります。

「多様な教育的ニーズに応じた支援の充実」の諸施策は、いずれも高く評価できるものであり、各事業の充実・発展、そして深化を期待します。

なお、「教育相談推進事業」の「実績」の相談内容ですが、平成 30 年度では「小学校では、性格・身体問題が 1,961 件、対人関係が 1,672 件、学業・進路が 600 件、家庭・親子問題が 516 件」（中学校省略）で、令和元年度では「小学校では、性格・身体問題が 3,239 件、対人関係が 1,862 件、不登校が 1,166 件、家庭・親子問題が 1,034 件、学業・進路が 805 件」となっています。令和元年度になって「不登校」がいきなり登場します。相談件数や相談内容は基本的なデータとなります。分類やカウントの仕方を変更したのであれば、注釈を書き加えるなどの工夫が必要です。

1-4 今日的な教育課題に対応する教育の推進

「今日的な教育課題に対応する教育の推進」では、「理科教育推進教員配置事業」、「英語教育推進事業」を取り上げます。

2000 年代に入り学校現場では、学級崩壊とともに、算数・数学、理科嫌いに象徴されるような勉強嫌いの傾向、学力低下が深刻な問題となっています。

「理科教育推進教員配置事業」では、理科教育の推進と授業の質的向上を図るため、市立全小学校に 1 名の理科支援ティーチャー（市費非常勤職員）を配置しています。この事業は、まさに“今日的な教育課題”に対応した事業であると評価できます。また、『全国学力・学習状況調査』の児童生徒質問紙で、『理科の観察・実験が好き』の質問に『あてはまる』と回答した児童の割合」を参考指標にしている点も評価できます。「今後の方向性」にもありますが、学校による評価の実施や事業効果の検証を進めて、事業の推進、充実がなされることを期待します。

「英語教育推進事業」では、ALT の派遣をはじめ、浦安市独自の取組として、外国語活動等研究員を派遣したり、教育課程特例校指定を受けたりして、英語教育の充実を進めていることを評価します。

第 2 節 豊かな心（徳）

2-1 豊かな心の育成

「生徒指導推進事業」ですが、「取組概要」には次のようにあります。

「・生徒指導体制充実のため小・中学校担当者会議を年間 3 回開催し、教員の資質能力向上を図る。

・浦安市いじめ防止基本方針を踏まえ、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処のための対策を総合的かつ効果的に推進する。

・メールによるいじめ相談の周知を図る。」

とあります。

これに対応した「実績」は次のようになっています。

「各小中学校の生徒指導担当教諭を対象に年間3回の研修会を実施し、いじめに対する対応や、具体的な事例をもとに問題点を検証する等、生徒指導体制の充実を図りました。また、各学校における生徒指導状況を毎月確認し、いじめの早期認知を含む、生徒指導上の諸問題の把握と早期発見に向けた取り組みを推進しました」とあります。

上記の「取組概要」と「実績」の内容を見比べる限りでは、「取組概要」で掲げた諸事項が、どのように実施され、どんな成果や課題があったのかがわかりません。例えば、「浦安市いじめ防止基本方針を踏まえて、どのような対策が行われたのか」や、「メールによるいじめ相談の周知をどのように図ったのか」などについて、具体的に実施した内容を実績として掲載する必要があります。同様の事例が他の事業でもありました。

各事業の点検・評価にあつては、「取組概要」と「実績」の整合性が大切となります。

第3節 健やかな体（体）

3-1 体力の向上と健康・安全教育の推進

子どもたちの体力低下の問題が叫ばれてかなりの時が経過しています。調査項目によって程度の差はあるものの、低下の傾向は続いているようです。

浦安市では「体力向上推進事業」として、体力向上推進校を指定し、学校教育研究活動の活性化と教職員指導力の向上を図り、体力向上に一定の効果を上げています。もちろん、体力の向上は短期日の間に成果が出るものではありませんが、今後とも着実な取り組みを期待します。

その際、幼・保・小・中連携が浦安市の特徴でもあり、利点でもあります。“体力の向上”についても、連携カリキュラムの大きな柱として位置付けて、取り組みを進めることが重要であると考えます。

また、参考指標には「新体力テストにおける各種目の全国平均を上回る割合（達成率）」を取り上げています。この指標も必要ですが、低下傾向にある全国平均との比較で成果と観るだけでは十分とはいえません。全国平均との比較とともに、各年代の経年変化をみていくことが必要であると考えます。

第4節 豊かなかかわり（参画・交流）

4-2 豊かなかかわりとコミュニケーション能力の向上

「豊かなかかわりとコミュニケーション能力の向上」の事業としては、「異年齢交流活動の充実」事業、「豊かな人間関係づくりの推進」事業、「浦安市子ども読書活動推進事業」、「幼・保・小・中連携教育の推進」事業、「中・高連携教育の推進」事業、「小中連携・一貫教育の推進」事業、「道徳教育・人権教育の推進」事業、「福祉教育の推進」事業、「まなびサポート事業の推進」事業、「地域とともに歩む学校づくり推進事業」、

「青少年交流活動センター管理運営事業」、「青少年館管理運営事業」、「青少年交流施設管理運営事業」、「少年の広場管理運営事業」、「こどもの広場運営事業」、「放課後うらっこクラブ運営事業」、「児童育成クラブ管理運営事業」、「少年親善スポーツ大会」事業と、実に多くの事業が展開されています。

これらの事業の中には浦安市独自の取組も多く、“コミュニケーション不全”が憂慮される中、市をあげて、“人と人との豊かなかかわり”や、“人と自然との豊かなかかわり”の創出に取り組んでいることを高く評価します。

いずれの事業も有効な施策ですが、ここでは「放課後うらっこクラブ運営事業」を取り上げます。この事業は、これまでの「放課後異年齢児交流促進事業」と「児童育成クラブ管理運営事業」を統合し、一体的な運営を進めたもので、放課後や週末などに子どもたちが安全な環境の中で、多様な活動ができるようにしたものです。子どもたちが安心・安全に過ごせる環境の提供であり、また、豊かなかかわりのある環境の提供でもあり、高く評価をします。今後の事業の推進・充実に期待します。

第5節 郷土愛（誇り）

5-1-3 平和教育の推進

平和教育の推進では、「平和学習青少年派遣事業」、「被爆体験講和事業」、「非核平和パネル展の実施」事業、「親子平和バスツアーの実施」事業があります。いずれの事業も所管課は地域振興課となっています。当然、事業の実施にあたっては、小・中学校との連携が十分図られており、成果もあげていて、この点は大いに評価できます。

ただ、「平和教育」は教育委員会が担う重要な事業の一つであり、教育委員会の主体的な取り組みが必要であると考えます。

また、平和の教育の推進にあたっては、当然“核廃絶の問題”は最も重要ですが、戦後75年が経過し戦争体験の風化が叫ばれる中、“戦争時の浦安”との視点も大切であると考えます。

第6節 教育環境の整備・充実の推進

6-2-3 教員が子どもと向き合う環境の整備

教員が行っている広範囲にわたる業務の役割分担の見直しや適正化など、教員の長時間労働の要因を見直し、教員が本来の業務に専念できる勤務環境の整備が求められます。環境整備として、浦安市では、こどもの成長の記録提供システムの導入・活用、全小中学校への市費学校事務非常勤職員の配置、相談員（臨床心理士資格を有する）による教職員のメンタルヘルスカウンセリングの実施などが進められています。これ以外にも、部活動指導者の派遣もなされています。

これらの事業の実施によって、確実に環境整備が進められていると評価します。今後

も、これらの事業を着実に推進することを期待します。教員が心身共に健康で働くことができるようにすることは、教員一人一人が誇りとやりがいを持って日々子どもたちに向き合うことにつながり、教育効果を最大限に高めることとなります。

6-3-2 教育施設等の整備充実

浦安市では、子どもたちが学校で安全・安心して過ごせる環境整備、また、快適に学習できる環境整備が順次進められています。今後も首長部局と連携し、さらなる環境の整備を望みます。

第7節 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実

浦安市では、市民の生涯にわたる読書環境整備のため、数多くの施策が展開されています。ソフト・ハード両面での充実した読書環境の整備が進められていることは、浦安市の優れた特徴の一つであり、高く評価できます。

「子ども図書館」の整備も予定されています。大変に素晴らしい事業です。今後とも、市民の読書環境の充実を望みます。

第8節 ライフステージに応じた学習機会の提供

8-1 家庭教育の支援

家庭教育は、時間的にも空間的にも教育の原点に位置づくものであると言われていています。浦安市では、家庭教育をはじめ、市民のライフステージに応じた学習機会の提供が数多くなされ、また、相談体制も整備されており、高く評価できます。

一方で、様々な課題を抱える家庭の増加に伴い、子どもたちへの教育力の低下が問題となっていますが、課題を抱える家庭ほど、市が提供する家庭教育の支援事業を利用・活用していないのが実情ではないでしょうか。

家庭教育は教育の原点であることを踏まえ、福祉や学校との連携を深め、課題を抱える家庭にも利用・活用される支援策のあり方を、今後一層追求していただきたい。

第9節 生涯スポーツの振興と健康づくりの推進

スポーツの振興策、健康づくりの施策が多角的に展開されています。台風のため中止となった「浦安スポーツフェア」事業を除き、予定していた事業が計画通りに進められています。「実績欄」や「今後の方向性」から検討を加えると、前年度よりも工夫された内容となっている事業も少なくありません。各事業ごとにPDCAマネジメントサイクルが着実に実行されている結果です。今後も事業の推進、充実、深化に努めていただきたい。

令和元年度浦安市教育委員会点検・評価報告書に係る意見書

氏名：須田 哲史

1. 全体の講評

令和元年度の浦安市教育委員会点検・評価報告書につきましては、昨年度までに行ってきた有識者懇談会の論点であった、点検と評価軸、整理方法の考え方や、数値化できる一部の指標の導入等の検討が進んだこともあり、報告書として、より改善・整備され、各々の方針と実行策・実施運営状況が分かりやすく、かつ成果や今後の課題も、読みやすく整理されていることを確認することができました。

令和元年度浦安市教育委員会点検・評価報告書に係る意見書をまとめるにあたり、「浦安市基本計画」「浦安市教育ビジョン」「浦安市生涯学習推進計画」「平成31年度教育施策」「令和元年度浦安市教育委員会点検・評価報告書案」と、平成29年度・平成30年度の同点検・評価報告書、各事業の公開されている報告書等を参考にして、事業活動の経過状況を確認、意見書としてまとめました。

全体を通して、浦安市のまちづくりの基本目標「人が輝き躍動するまち・浦安」、教育目標である「未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子」の育成、「自ら学びともに高め合い 地域に生きる 生涯学習」の実現に向けて、市民と行政サービスが、その方針に従い、着実に実施運営していることを確認することができました。

ただし、年明け1月から、新型コロナウイルス感染拡大が始まり、市内の小中学校では、3月に休校。節目の行事は、ことごとく中止となり、非常事態のまま、年度末を終了。そのまま今年度を迎えている状況にあります。

100年に1度と言われる疫病感染の拡大という非常事態における意見書のコメントは、従来のPDCAサイクルによる分析結果報告では、当然、十分な役割を果しえぬ点があります。そこで、新型コロナウイルス感染拡大の中で急激な変化対応を求められている新生活様式やパラダイムシフト等についても触れる必要があると考え、付記として、記載させて頂きました。

新型コロナウイルス感染拡大の中で、日本社会全体のデジタル化の遅れに関して指摘される事態が起こり、それまで、ほとんど行われていなかった民間企業の在宅ワークも一気に広がりました。一方で、行政サービス・教育・医療介護といった公的なサービスの多くは、デジタル化の遅れで、矢面に立たされました。その原因の多くは、これらの公的なサービスが、今まで、向き合うユーザーに対して、ユーザーファーストを貫いていたからこそその結果であり、常に、対面主義が最良のものと言う前提があったから、つまりは、日本国民にとって、最も満足度が高いサービスであったからです。

これが、新型コロナの感染拡大によって、対面が、むしろユーザーにとっては、対面ではない状態にしたい（せざるをえない）というニーズに変わってしまったことで、困った事態になっている……。教育に至っては、従来の授業方式は、3密（密閉、密集、

密接)の塊であるがゆえに、学校関係者は、大きな混乱の中に巻き込まれてしまったということです。

ですが、ウィズコロナ、アフターコロナの時代では、対面に加え、デジタル化の中でも、オンラインという選択肢を持つておくことは重要です。すでに、大学の授業は、大学へ通わせることなく、オンラインで授業を行っていることから、私たちは、使命を持って公的な分野へのオンライン化を社会全体で進めていくことが重要な時代に入っています。

すべてをデジタル化・オンライン化に移行すればよいというものではなく、対面には対面の良いところ、オンラインにはオンラインの便利さもあるので、大事なことは、選択肢を広げ、教育に取り入れ、普及に努めるという点です。

政府は、骨太の方針「デジタル化」の中で、今後一年間を、デジタル化の集中改革期間として設定して、オンライン化、ネットワーク化、AI化等を進める方針です。社会全体で、遠隔教育、オンライン診療、テレワークの普及を進めるとしていますので、根っことなる教育施策への注力に期待します。

2. 施策・事業ごとの講評

第1節 確かな学力(知)

令和元年度の小中連携については、現場の自己評価が非常に高い点でも、着実に結果を出している事が伝わってきます。中学校に進級する際に、授業交流や部活交流、個人の学びに対する取り組み姿勢や学校生活状況の情報の交換がなされ、クラス編成や、その後の指導に役立っている様子を拝見するにつけ、学びの連続性のための様々な施策が実行され、中学校区ごとに、様々なチャレンジができる体制が構築されつつあることを実感します。

こうした環境の下、児童生徒一人ひとりの個性と得意な学力・能力を、さらに向上、磨きがかかる教育を実践すると同時に、いじめ・不登校等のナイーブな問題に対する素早い対応のできる体制を、今後とも、維持継続、発展できるよう期待しています。

(付記)

義務教育段階の不登校児童生徒については、学びに対する懸命の努力を適切に判断し、自宅においてもICT等を活用した学習活動を行った場合でも、指導要録上の出欠の取扱いにできることは、聴覚障がい、対人関係上の課題をお持ちの方々に、合理的配慮としての観点から、学習支援システムの導入の検討を始めてみてはどうかと考えます。

「児童生徒が学校に来る＝児童生徒を学校に来させる」という点も、重要な教育的観点ではありますが、障がいの内容によっては、集団では、たくさんの声を拾ってしまい、学習効果をあがることができない方々も、一定数、いらっしゃいます。自宅での動画教材による学習後、Web面談でフォローしていくことなど、検討段階に入っていると考えます。

第2節 豊かな心（徳）

人権問題の大多数は、知らない事、知ろうとしない事、無視する事で、起こっていることである点をおさえますと、どれだけ様々な機会を通して、人権問題と向き合い、話し合い、その多様な意見、主義・主張を、学校教育だけではなく、家庭や職場で、理解し合っているのかという事に、すべては、かかっています。とりわけ、浦安市の教育現場で、「人権・公民ノート」を利用して、深く考え、意見交換をする場・機会がある事は、とても重要なことと考えます。「人権作文・ポスター」といった応募接点や発表の機会があることは、とても重要であり、ぜひ、多くの方々に、考え、知っていただく機会の継続をお願いいたします。

（付記）

新型コロナウイルス感染拡大の中で、感染者、医療・介護従事者に対する誹謗中傷、差別事象が多発し、今も続いていることや、今後、予測される経済悪化による貧困格差問題などに対しては、十分な人権配慮が重要になってくる点から、各事業単位での新たな人権問題の学習や体制づくりの検討を、お願いいたします。

ボランティア活動推進事業では、児童生徒が、地域のイベントに積極的に活動に参加、成果を出している様子が伺えます。ある意味で、大人が用意した地域参加型ボランティアでもありますが、児童・生徒たちが、社会問題に関心を持った際に、自ら手を挙げて、課題解決していけるようなボランティア活動も、実行できるような風土・素地作りも期待しています。

障がい者福祉推進事業として、発行している「わたしたちにできることがあります～うらやすこころのバリアフリーハンドブック～」の配布事業は、障がい者理解につながる、とても素晴らしい事業です。浦安市自立支援協議会がまとめたハンドブックの内容は、小学生だけでなく、障がい者差別解消法を十分に、理解していない、また、こうした教育を受けたことのない方々にとっても、とても分かりやすい内容になっています。主たる公共施設は、勿論のこと、市内の法人企業（事業主・人権推進者）や家庭配布も、検討してほしい1冊です。障がいを理由とした不当な差別的取り扱いの無い社会、合理的配慮が、すぐに、実行できる共生社会づくりに最適なハンドブックだと高く評価します。

第3節 健やかな体（体）

浦安スポーツフェアは、台風19号の影響のため、中止となりましたが、東京ベイ浦安シティマラソンは、多くの市民が参加し、愛されるマラソン大会として定着しました。総合公園には、たくさんの方々が、朝早くから、夜遅くまでランニング・ジョギングしており、海辺の環境を活かしたランニング環境整備の成果が表れているように感じます。

学校教育の中で、「いのちの教育」、アレルギー対応研修の実施、食育の推進、交通事

故防止対策（交通安全・自転車指導教室、交通整理員配置）が、年間の中できちんと計画され、学校関係者や地域ボランティア等の協力もあって、着実に成果を上げていることが確認できました。防災教育についても、学校全体での避難訓練の実施とともに、小学校の成果発表会等で、児童自身の手で防災対応の研究発表をしている学校もあり、意識の高さを感じさせました。

（付記）

今までの防犯・防災対策に加えて、新型コロナウイルス感染拡大阻止のための教育（インフルエンザ対策も含む）や、外来害虫や野生動物に対する問題も、対策の必要性を感じています。市内の小中学校の教室や校庭で確認された毒性のある害虫セアカゴケグモや、市内で捕獲されたハクビシン、目撃情報が多いアライグマといった野生動物の出現も話題になりました。過去には、市として、鳥インフルエンザ対策を求められた年もありました。

学校教育の中でも、公衆衛生学的見地から、疫病対策、害虫、野生動物への対応等の必要性を感じます。新たな課題を、身近に起こりうる問題として、関連部署とともに、事故が起こらぬように、対策指導の検討と周辺教育の実施を盛り込んでいただければと願っております。

第4節 豊かなかわり（参画・交流）

ふるさとやす立志塾、ジュニアリーダー研修会、少年少女洋上研修、浦安市学生防犯委員V5など、若者を中心にリーダーシップを高める教育や実践行動を発揮できる機会が多い点が、浦安市の際立った特徴です。

異学年交流プログラムも、上級生、下級生の交流の中で、役割意識が芽生え、行動規範の重要性が、自然な形で身についていく点は、高く評価できます。少子化で、一人っ子世帯が多い中、継続して発展させていって頂きたいプログラムだと思います。

また、環境に目を向けた学習活動も多く用意されており、水辺に囲まれた浦安らしい環境教育推進事業が行われました。特に、6月2日開館した「三番瀬環境観察館」は、市民団体との連携も功を奏し、干潟と、そこに生息する生物観察、野鳥観察活動に、年間15,000人来館と、素晴らしいスタートを切りました。

残念だった点は、本来の趣旨をはき違え、この施設の目の前の浅瀬で、貝の乱獲を行う人が出てきたようで、こうした方々への正しいマナー教育も含めて、子ども達と市民の環境教育の学びの場として、末永く維持していただきたく願います。

地域とともに歩む学校づくり推進事業にあって、とりわけ目を引いたのは、富岡公民館で開催されたランニング講座「美走塾」（富岡小学校119名、見明川小学校110名）と、男女共同参画センターと公民館が共催し、行った人権講演会（LGBT, ジェンダー）です。性別問題で悩んでいる子どもたちに寄り添う内容で、まさに、地域にある団体・行政・学校の点と点をつないで、地域活動としての面に仕上げていった活動として、意義のある試みだったと思います。広がりこうした取り組みの進化を期待します。

第5節 郷土愛（誇り）

郷土博物館を軸とした多数の学習活動や作品展が行われ、市民や児童生徒の学びと理解につながっていることがよく理解できます。学芸員の方々も、市民の声に耳を傾け、時に、現場に足を運んで、情報提供や学習会を開くなど、浦安市らしい丁寧な活動が多々見られ、益々の充実に期待しています。

国際理解教育では、教育現場にて、外国語指導助手（ALT）を中心に、文化理解等を通して、グローバル社会にふさわしい教育が、はかられていることを確認できました。

一方で、オリンピック・パラリンピック開催に合わせて、世界の国々との交流を通しての理解が深まるはずだったのですが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。この影響もあって、大国間の対立や民族間の争いの再燃等の影響が深刻化し、互いの歴史や地政学的理解・文化の理解がないまま、対立感情だけが進むという新たな危機が生まれています。

そこで、国際理解教育も、英語以外の言語や、英語圏以外の文化圏の理解、開発教育の考え方なども視野に入れ、「SDGs（持続可能な開発目標）」の視点で、公正で持続可能な地球社会づくりに参加できうる人材づくりに広げていくことも大切だと考えます。

また、浦安市は、非核平和都市宣言の都市として、平和教育の一環である平和展記念展示資料館・昭和館への平和教育学習バスツアーや長崎の被爆者講和等を継続して行っており、大変素晴らしいことと思います。

さらに、発展的に、これらの事業に加えて、浦安市も、第2次世界大戦中に、空爆の脅威にさらされ、多数回にわたる空爆によって、尊い命を失っており、戦後、移り住んできた大半の市民にとっても、とりわけ次世代の児童生徒にとっても、語り部のいる間に、戦争の悲惨さを語り継いでいく活動を広げることが、重要かと考えます。身近なところからも、平和教育を進めてみては、いかがでしょうか。

第6節 教育環境の整備・充実の推進

路上で犯罪にあう、もしくは、あいそうになった場合に避難できる場所として、「防犯かけこみ110番の店＝店舗中心」（市民安全課）がありますが、子どもたちが、同様な被害にあった場合に緊急避難できる「いちょう110番＝民家、マンション管理事務所、公共施設、店舗」（浦安市青少年健全育成連絡会主体・青少年課）もあります。防犯体制の強化（避難場所の拡大、市民や学校関係者・児童生徒への周知、協力企業・団体・個人への犯罪情報の提供、定期更新等）の意味でも、本来の犯罪抑止の最大化の点で、名称の統一や、協力体制を図った方がよいと考えます。

うらやすスタイル（平成31年4月第37号）に、児童生徒の携帯電話（スマートフォン）の所有率の2年ごとの経年変化がグラフ化されています。それによりますと、右肩上がりで所有率が増え、平成30年度で、小学3年生で、約6割、中学生で、約8割所持していることが報告されています。また、こうした背景の中で、起こっている新しい課題「SNSによるいじめ問題」への対策として「いじめメール相談」のサービスについ

でも紹介され、いじめ対策の教育委員会の素早い対策が打たれている状況が、確認できました。

「SNSによるいじめ問題」は、ネット詐欺問題と合わせて、若年層の大きな社会問題になっています。しかし、このような背景とは裏腹に、保護者・教育関係者が、何をすべきかの認識が弱く、被害が起こった後に対応しているケースが大半です。携帯電話事業者自身が、異口同音に、警鐘を鳴らすのが、「事件が起きぬように保護者が、最初に必要なことは、子どもに、携帯電話（スマートフォン）を渡す前に、必ず、フィルタリングをかけること。大半の大きな問題は、解決する」と指摘していますが、一向に進んでいないのが現状です。他市に、先駆けて、家庭教育力の向上の一環として「小中学生が携帯・スマホを持つ時は、必ず、フィルタリングするのが、当たり前」というメッセージを、保護者に発信し続け、必ず、フィルタリングをかける社会環境づくりを、業界や教育団体とともに、行ってほしいと願います。

（付記）

プロジェクターの充実、タブレット機拡充等、情報教育環境整備が計画的に進められてきました。ここにきて、文部科学省が推進するギガスクール構想が、新型コロナウイルス感染拡大を契機に、一気に前倒しされて、令和2年度には、1人1台児童生徒用タブレットが配布される動きも現実視されています。民間企業の大半も、在宅ワークでWebミーティングの活用や大学のオンライン授業も、実は、ほとんどが、始まったばかりで、試行錯誤の中での取組みが続いています。学校関係者にとっては、Wi-Fi環境整備やセキュリティ課題への対策といった、授業の効率化とは別の問題や課題も生み出されることとなりますが、教育の継続性の観点で、避けては通れぬ状況であることを踏まえ、整備・充実をはかってください。

教員向けの情報セキュリティを、eラーニング研修で行うようですが、教員に求められる他の座学的な内容の研修は、eラーニング研修化して、講座を充実させていくことも、環境整備につながります。新型コロナウイルス感染拡大の中、多くの民間企業は、集合研修から、独自のeラーニング研修、Webセミナーに切り替えて対応しているのが現状です。教職員は、一人一台パソコンを持ち、履修状況も履歴化できれば、大幅な時間短縮も可能で、児童・生徒と向き合う時間も増えることと考えます。

第7節 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実

リニューアルし、さらに充実した中央図書館をはじめ、ネットや各種サービスを駆使した利便性の高い図書館事業は、さらに子ども図書館も検討段階に入り、浦安市の図書館事業への熱意が、市の内外に伝わることと思います。公民館や地域施設を活用した子育て支援、家庭教育事業も多くの方に活用いただいていることが分かりました。

公民館が行う就労支援事業については、目的・対象・必要な学習プログラムをきちんと整備し、就労に困難を抱えている方々にとって、実践できる形に整備するか、専門機関との連携を図って、次のステージにいきやすいものにブラッシュアップさせていた

だければと思います。

第8節 ライフステージに応じた学習機会の提供

(付記)

「人生100年時代構想会議」による「人づくり革命 基本構想」のとりまとめが発表され、100年を生き抜いていくための幼児から高齢者まで、それぞれの世代の環境整備の方向性が示されました。浦安市の場合は、ライフステージに応じた学習機会の場が、整備充実しており、推進しやすい環境にあると理解できました。新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、在宅ワークが進んだことで、市内で過ごす時間の増加に伴い、それぞれの生涯学習のテーマごとにアクセスの機会も増えていくことは間違いありません。事業ごとの広報活動の充実と、特に公民館の場合は、館内はもとより、市内外の団体と連携し、活動目的と時代のニーズに合った活動の展開を期待します。

第9節 生涯スポーツの振興と健康づくりの推進

軽スポーツから、本格的なスポーツまで、市内に施設が整っており、市民の健康増進や体力づくりに大きく貢献しています。また、多くの指導者やボランティアに支えられながら、それぞれのスポーツ大会が、地域の季節イベントとして、愛され、育まれているのが、印象的です。

報告書には、記載はありませんが、浦安市が、ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地に決定し、大会中に、浦安市でキャンプを行ったことは、大きな話題となりました。「シティドレッシング」(横断幕掲示)を新浦安駅、浦安駅周辺で行い、地元のNTTコミュニケーションズシャイニングアークスの選手が、大会の機運醸成のために、朝夕の通勤・通学の市民にアピールしていたのが、印象的でした。優勝した南アフリカ共和国、3位のニュージーランド、ベスト8のオーストラリアといずれのチームも、大会の話題をさらったチームであったことで、最後の最後まで市民の目を引き付けておりました。こうした「見るスポーツ」(ブリオベッカ浦安、バルドラール浦安)への環境整備も、市民の理解と共に進めることができればと思います。

第10節 ふるさと浦安の芸術・文化の振興

展示リニューアル事業に、これまでの常設展示であった、漁師町の時代の浦安の歴史に加え、埋め立て事業以降の歴史や文化、まちの発展を伝える展示を加えるためのリニューアルの基本設計・実施設計が行われたことで、新たに発展をする浦安を次世代に伝えていく機会が増えました。方向性にも、新たなニーズの取り込みが示されていますが、ぜひたくさんの方の市民や、児童生徒の意見や声を反映させて、これからの浦安を考える際の一助となる展示事業を、毎年、開催してほしいと期待しています。

第11節 地域に生きる生涯学習活動の支援

地域の学びを支える博物館、スポーツ施設、公民館（たくさんのサークル・団体）で生涯学習活動が行われていることは、100年ライフの観点からも、たくさんの選択肢があるという点で、好ましいことだと思います。

一方で、サークル・団体活動の中には、環境の変化やメンバーの高齢化が進んだことで、マンネリ化、活動そのものが弱体化しているグループも少なからず見受けられます。このような団体に対して、活動の活性化に役立つ、参加メンバーのリクルーティング機会や、同様の目的を持つ団体との交流の機会の創出、公民館利用者研修会の開催などを通して、継続サポートを期待します。また、一方で、性善説で、無理をして継続の努力をしている、もしくは、役割を終えたと思われるサークル・団体には、これまでの長年の成果を表彰し、一区切りするなど、地域としての生涯学習活動全体としての事業継続性を図っていく視点も持つておきたいと思います。

第12節 浦安で産み育てたい環境を整える

幼児教育・保育の無償化により、保護者の経済的負担が減り、また、小学生を持つご家庭も、児童育成クラブが1年生から4年生までの受け入れだったものが、6年生まで拡充できたことは、子育てと仕事の両立支援に、とてもプラスに働いていることと思います。

幼児・保育から低学年の保護者は、子育ての上の課題で、最も悩む時期でもあり、一番、同じ悩みを持つ地域の身近な友人や仲間を求めている時でもあります。いわば地域デビューの機会でもあるので、横連携で青少年団体とつながり、協力して、これらのネットワークを強化し、各団体を紹介していくことも大事な活動であると考えます。

第13節 こどもが元気に成長できる環境を整える

浦安市特別支援教育の在り方検討報告書（令和2年4月）によりますと、特別支援学校設置に関して、保護者の声として、「市外の高等部へ通わせるには、通学負担が大きい」「浦安市に、小学部から高等部まである学校を誘致できないか」もしくは、「浦安市内に高等部を誘致し、中学校までは、通常の学級の子どもと触れ合う機会を持たせ、その誘致した高等部に通わせたい」といった声が強いことが報告されています。しっかりと耳を傾け、合理的配慮のある議論を進めていけることを願っています。